

第75回国民体育大会冬季大会
スケート競技会・アイスホッケー競技会
報告書



氷都新時代！八戸国体

2020年1月29日(水)～2月2日(日)

会場／青森県八戸市・三沢市・南部町

主催：公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・青森県・公益財団法人日本スケート連盟・公益財団法人日本アイスホッケー連盟・八戸市

シンボルマーク



青森県で開催される冬季国体を表現するため、県の形をスケートの靴に見立て、アイスホッケーのスティックと国体マークを会場地に配置しています。

また、美しい自然に溢れる青森県を青と緑、大会での熱い闘いを赤と黄色で表現しています。

テーマ

「氷都新時代！八戸国体」

これまで数多くの素晴らしいレースが展開されてきた歴史と伝統のある屋外リンクから、新たに整備された国内3番目の屋内リンクに闘いのバトンが引き継がれ、「氷都八戸」は新たなステージを迎えます。

新しい元号となって最初の冬季国体であり、新時代にふさわしい熱い闘いが、ここ氷都八戸で繰り広げられるようにとの願いが込められています。

スローガン

「銀盤に きたる新風 いま氷都に」

氷のひかり輝いている様子を「銀盤」、平成から新しい元号に変わり初めての冬季国体であり、新しい屋内スケートリンクで初めて開催される国体であることから、新しい氷都の歴史が始まる様子を、選手の一生懸命な姿、フェアプレーによる爽やかさに重ね、「新風」と表現しています。

また、今回しかない特別な意味のある大会という思いを「いま」に込めています。

参加章



【デザイン説明】

大会のシンボルマークを中央に配置し、背景は、熱い闘いが繰りひろげられる氷上をイメージしたほか、主会場地である八戸市にちなんで八角形にしています。「氷都新時代!八戸国体」が、新たな歴史のスタートにふさわしい大会となるよう願いを込めたデザインとしました。

【規格】

大きさ：縦横 35mm

厚 さ：1.5mm

材 質：真ちゅう製

目 次

開始式

開始宣言、日本スポーツ協会あいさつ	3
スポーツ庁、中央競技団体あいさつ	4
歓迎のことば（県議会議長、八戸市長）	5
選手代表宣誓	6

表彰式

中央競技団体あいさつ	6
会場地あいさつ、終了宣言	7

写真

開始式	8
スピード競技	10
ショートトラック競技	12
フィギュア競技	14
アイスホッケー競技	16
表彰式	18
スナップ	20
競技会日程及び会場一覧、諸会議一覧	22

式典

開始式・表彰式次第	24
開始式・表彰式参加にあたっての留意事項	25
開始式座席エリア図	26
表彰式座席エリア図	27
開始式出演者等一覧	28

競技会場

会場案内図	30
スピード競技会場図	31
ショートトラック競技会場図	32
フィギュア競技会場図	33
アイスホッケー競技会場図（3施設）	34

競技記録

都道府県別総合成績一覧表	38
--------------------	----

スケート競技会

スケート競技会総合成績一覧表	40
スピード競技日程	42
スピード競技入賞者	44
気象公式記録	46
ショートトラック競技日程	48
ショートトラック競技入賞者	50
フィギュア競技日程	51
フィギュア競技入賞者	52

アイスホッケー競技会

アイスホッケー競技会総合成績一覧表	54
アイスホッケー競技最終結果（成年）	55
アイスホッケー競技得点表（成年）	56
アイスホッケー競技最終結果（少年）	58
アイスホッケー競技得点表（少年）	59

役員

招待者の範囲	62
大会役員	63
大会役員編成基準	66
スケート競技会役員	67
スケート競技会役員編成基準	69
アイスホッケー競技会役員	70
アイスホッケー競技会役員編成基準	72
スピード競技役員	73
ショートトラック競技役員	74
フィギュア競技役員	75
アイスホッケー競技役員	76

資料

参加人員一覧表	80
大会参加者数	82
開催基本方針	84
青森県実行委員会委員名簿	85
青森県実行委員会会則	87
青森県実行委員会事務局規程	90
青森県実行委員会事務局組織図	93
八戸市・三沢市・南部町実行委員会委員名簿	94
八戸市実行委員会会則	95
八戸市実行委員会事務局規程	97
八戸市実行委員会事務局組織図	100
標章等使用取扱規程	101
宿泊要項	105
配宿・弁当調達実績	109
輸送交通要項	110
輸送交通実績	112
医療救護要項	113
医療救護実績	114
開催経過概要	115

開始式

開始宣言

青森県知事 三村 申吾

第75回国民体育大会冬季大会「氷都新時代！八戸国体」に御参加の皆様、ようこそ青森県にお越しくださいました。県民を代表して心から歓迎申し上げます。

令和という新たな時代が幕を開けた中、全国各地から、選り抜かれた氷の精鋭達を、スケート国体発祥の地、氷都八戸市にお迎えし、このように開始式を開催できますことを大変嬉しく思います。

選手の皆様におかれましては、「銀盤にきたる 新風 いま氷都に」のスローガンのもと、栄えある郷土の代表として、新時代にふさわしい熱い闘いを繰り広げられ、青森県民、そして、全国の方々に、大きな夢と感動を与えてくれることを期待し、ここに第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開始を宣言します。

日本スポーツ協会あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会会長 伊藤 雅俊

はじめに、昨年10月に発生した台風等の災害により、亡くなられた方々の、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

「第75回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会」が、種差海岸や白神山地などの雄大な自然に囲まれ、昭和22年第1回冬季大会の開催をはじめ、氷上スポーツの長い歴史を有する、ここ青森県において、令和初となる冬季国体が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

青森県における冬季国体の開催は、平成23年の第66回大会以来、9年ぶり、15回目となります。

今大会は、数多くの大会開催経験を持つ、青森県の皆さんが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を目前に控え、本大会を通じて、スポーツの力を発信し、地元青森県はもとより、我が国におけるスポーツ機運の醸成に資する国体になりたいという思いで、準備に万全を尽くされた大会です。

栄えある郷土の代表として参加された選手の皆さんには、フェアプレー精神のもと、日頃鍛えた力と技を、存分に発揮いただき、このたび新設されたY Sアリーナ八戸をはじめとする各会場の銀盤に新たな歴史を刻まれるとともに、多くの国民の皆さんの心に、スポーツの力、ウインタースポーツの魅力が伝わることを願っております。

また、地元青森県、八戸市、三沢市、南部町の皆さんとの交流の輪を広げられ、実り多い大会とされるよう切望いたします。

結びに、冬季国体の開催地選定が難しい状況の中、開催を快くお引き受けくださり、今日まで諸準備にご尽力をいただきました青森県はもとより、競技会会場地である八戸市、三沢市、南部町並びに施設の改修・整備などに多大なご支援を賜りました日本スポーツ振興センターをはじめとする多くのご関係の方々のご理解とご尽力に対しまして、心から感謝の意を表し、併せて大会の成功を祈念申し上げ、あいさつといたします。

スポーツ庁あいさつ

スポーツ庁長官 鈴木 大地

白神山地や種差海岸をはじめ、山と海が織りなす自然の魅力が溢れるここ青森県において、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会並びにアイスホッケー競技会「氷都新時代！八戸国体」が開催されるにあたり、一言御挨拶申し上げます。

国民体育大会は、これまで競技力の向上はもとより、広く国民にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図るとともに、地域スポーツの推進と地域文化の発展に寄与することを目的として開催され、明るく豊かで活力に満ちた国民生活の構築に貢献してまいりました。とりわけ冬季大会は、我が国におけるウインタースポーツの普及・発展に大きな役割を果たしてきました。

本大会が、「銀盤に きたる新風 いま氷都に」のスローガンのもと、国民に夢と感動を与えるとともに、ウインタースポーツの魅力を全国に発信し、スケート競技・アイスホッケー競技の更なる発展に寄与するものと確信しております。

選手の皆様におかれましては、これまで積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮されとともに、全国の仲間や青森県の皆さんとの親睦を深められ、本大会が皆様方にとって心に残る大会となるよう願っております。

さて、いよいよ今年は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。スポーツ庁としましては、東京大会が、世界中の人々に夢と感動を届ける大会となり、2020年以降も全ての人々がスポーツに親しめる「1億総スポーツ社会」の実現を目指してまいりたいと考えております。引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、大会開催にあたり御尽力いただきました地元青森県並びに八戸市・三沢市・南部町をはじめ関係の皆様方の御支援・御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、挨拶といたします。

中央競技団体あいさつ

公益財団法人日本スケート連盟会長 長 島 昭 久

開始式にあたりまして、競技団体を代表し、一言ご挨拶申し上げます。

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が「氷都新時代！八戸国体」をテーマに「銀盤に きたる新風 いま氷都に」のスローガンのもと青森県八戸市を中心に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

ここ八戸市は、昭和22年の第1回冬季大会の開催地で、前回の第66回大会以来9年ぶり13回目、「令和」の元号になって初めての開催となります。

そして、開始式やスピードスケート競技が行われるここ「YSアリーナ八戸」は、国内で3箇所目の国際大会に対応した屋内スピードスケート場をコンセプトに、昨年9月にオープンしたばかりの多目的アリーナであります。

このような素晴らしい環境の中で冬季大会が開催できますのは、地元の皆様のスケート競技や国体に対するご理解とご協力があるものと深く感謝申し上げます。

いよいよ7月には、東京オリンピック・パラリンピックが開幕となります。今大会を通じてオリンピックムーブメントが推進されることは国体開催の趣旨にある「スポーツ活動の振興の促進」に繋がるものであると考えております。

本連盟としても、スケート競技を通じて国民に夢と希望を与えられるよう一層努力していく所存であります。

本大会に参加する選手のみなさんにおかれましては、日頃の鍛錬の成果を十分発揮し自己記録の更新を目指して郷土の代表として健闘されますことをご期待申し上げます。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり多大なる尽力を賜りました青森県、八戸市、三沢市、南部町、青森県スケート連盟はじめ関係者のみなさまに改めて深く感謝申し上げます。

ここに冬季大会開始式にあたりましてのご挨拶といたします。

歓迎のことば

青森県議会議長 森内 之保留

本日、全国各地から多数の選手、役員の皆様をお迎えして、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が八戸市を中心に開催されますことは、誠に喜ばしいことであり、県議会を代表いたしまして、心から歓迎いたします。

本大会は、青森県においては、平成23年の第66回大会以来、13回目の開催となります。特に八戸市は、昭和22年の第1回目の国民体育大会冬季大会スケート競技会以来、国内外の各種競技会を開催するなど、スケート、アイスホッケー競技に大きな足跡を残してきたところであります。

また、昨年9月には、国内3番目の屋内スピードスケートリンクである、ここ「YSアリーナ八戸」がオープンし、令和時代の幕開けとともに新たなステージを迎えております。

このように県民、市民がスケート・アイスホッケー競技に親しみ、大きな関心を寄せる中、「水都新時代！八戸国体」をテーマにした本大会が、「銀盤に きたる新風 いま氷都に」のスローガンのもとに開催されますことは誠に意義深いものがあります。

全国から参加された選手の皆様には、日ごろ鍛えた力と技を遺憾なく発揮し、栄誉と栄光を目指して奮闘されるとともに、競技を通じて友情と交流の輪を広げる思い出深い大会になることを希望いたします。

結びに、本大会の開催に当たり、多大なる御支援、御尽力をいただいた関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば

八戸市長 小林 眞

全国各地から多くの選手・役員、大会関係者の皆様をお迎えし、「水都新時代！八戸国体」のテーマのもと、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が、ここ八戸市をはじめ、三沢市、南部町を会場に開催されますことは、誠に喜ばしい限りであり、会場地を代表いたしまして、心より歓迎申し上げます。

当市での冬季国体の開催は、平成23年の第66回大会以来9年ぶりとなり、昭和22年の第1回スケート国体の開催から通算して、競技会場地としては全国最多の13回目となります。これは、「氷都」を標榜する当市にとりまして、誠に意義深いものであり、市民とともに誇れる歴史であります。

「氷都八戸」の歴史の中で、第1回大会より数々の熱戦が繰り広げられてきた「長根リンク」が昨年、その役目を終えました。今大会の式典及びスピードスケートの競技会場は、国際大会を開催できる国内3番目の施設として昨年オープンしたばかりのこの屋内スケート場であります。

このリンクは、八戸市民にとって悲願といえる施設であり、完成のシーズンに、そして令和となってから最初の冬季国体を開催できますことは、誠に光栄であり、当地域において新たな冬季スポーツ文化が花開いていくものと期待しております。

郷土の代表として参加される皆様には、「銀盤に きたる新風 いま氷都に」のスローガンのもと、この新しいリンクで新たな歴史を刻んでほしいと願っております。

また、競技を通じてお互いの親睦、交流の輪を深められますとともに、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、この大会が充実した、思い出深い大会となりますことをご期待申し上げます。

ここ八戸市は、新鮮な海産物・農産物に恵まれ、多彩な料理も自慢でありますので、この機会に、郷土料理をはじめとした食文化にも触れていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大な御支援、御協力を賜りました多くの関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘を心から祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

選手代表宣誓

宣誓、50年の年月に渡り親しまれた屋外スケート場が閉業し、昨年9月に、新時代「令和」とともに屋内スケート場「YSアリーナ八戸」へと生まれ変わりました。

新たな時代「令和」が始まり、記念すべき初の冬季国体をここ「氷都八戸」で開催することに感謝と誇りをもち、出場できる喜びを噛みしめています。

「銀盤に きたる新風 いま氷都に」のスローガンのもと、新しいスケートリンクで新しい「氷都八戸」の歴史を私たちが築き、フェアプレイに徹し、ここ八戸の地から全国に新風を吹かせ、スポーツのもつ魅力・希望・感動を届けるべく全身全霊で戦い抜くことを誓います。

令和2年1月29日

選手代表 青森県 山本大史
澤尻 磨里英



表彰式

中央競技団体あいさつ

公益財団法人日本アイスホッケー連盟会長 水野明久

新たな元号「令和」となり、初めての国体であります第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が「氷都新時代！八戸国体」をテーマに、また、「銀盤に きたる新風 いま氷都に」のスローガンのもと、全国から多くの選手がここ八戸に集い成功裡のうちに無事終了されましたことを心から感謝申し上げます。

また、総合成績で優秀な成績をあげられました選手団の皆様、誠におめでとうございます。選手の皆様には、郷土の代表として5日間にわたり、熱い闘いを繰り広げていただきました。

一方で全国の仲間たちとの親交を深め、たくさんのボランティアのみなさまの温かいおもてなしにより、八戸の文化・自然を存分に満喫し、楽しい思い出をつくられたものと思っております。大変お疲れさまでした。

さて、すがすがしいエピソードを一つ紹介させてください。先般のローザンヌユースオリンピックで金メダルをとりました女子アイスホッケー日本代表の立ち振る舞いについてであります。

現地の方からJOCに一通のメールが届き、JOCのニュースレターの中で内容が紹介されております。それは、選手たちの得点した時のお互いを称賛するお辞儀、そして、相手選手、レフリーに敬意を払う態度など、そのチームスピリットはオリンピック精神を体現するものであり、素晴らしいという内容でありました。JOCの山下会長もこのエピソードを役員の方に紹介されたと聞いております。

まさに、私たちが目指すフェアプレイ&リスペクトの精神を示してくれたということで、私も大変嬉しく思います。

最後になりますが、本大会の開催にあたり多大なるご尽力を賜りました公益財団法人日本スポーツ協会、青森県、八戸市並びに関係者の皆様に心から御礼を申し上げますとともに選手のみなさまの御健闘とボランティアの方々に深く敬意を表しまして私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

会場地あいさつ

八戸市長 小林 眞

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の閉会にあたり、開催地を代表いたしまして一言ご挨拶を申し上げます。

まずもって、全国各地からおいでいただきました選手、役員の皆様、5日間にわたり大変お疲れさまでした。おかげさまでもちまして、大成功のうちに今大会が閉じられようとしております。

また、先ほど表彰を受けられました各都道府県の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げますとともに、これまで頑張ってきたことに敬意を表します。あわせて、今大会に出場されたすべての選手の皆様の、今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。

さて、5日間にわたり各会場で熱戦が繰り広げられました。競技に臨む選手の姿勢、懸命な頑張りは、観客の皆様はもとより、「水都八戸」の未来を担う子供たちに夢と感動を与えていただきました。

令和最初の冬季国体がここY Sアリーナ八戸で開催され、数多くの大会記録が出ました。本当に嬉しい限りであります。

これからも様々な大会が予定されております。今月中旬には、スピードスケートのジャパンカップが、来年2月には世界ジュニアスピード選手権大会、ジュニアワールドカップ、更には5年後、第80回国民スポーツ大会が本県で開催されることになっております。様々な大会が開催され、多くの皆様においでいただくことを大変楽しみにしております。

先ほど、ボランティアというお話がございました。今大会は、実に多くの皆様に支えていただきました。競技団体関係の方々をはじめ、高校、中学校の60名の先生方には、主に式典運営を担っていただきました。

オープニングアトラクションでは、青森県立八戸東高校表現科とBlue Tokyoの皆さんに素晴らしい演技をご披露いただきました。

開始式では、ブラスバンド、合唱、プラカード、会場案内・接遇・設営など370名の高校生に協力いただきました。ご来賓の皆様をはじめ多くの方々から「笑顔で礼儀正しい案内をしてもらった」との評価をいただきましたので、高校生の皆さんにもお伝えしたいと思います。

結びに、この大会の開催にあたって、準備・運営にあたられたすべての関係の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、今後とも選手の皆様が世界に向かって飛躍することを心から祈念して、開催地を代表してのあいさつといたします。

終了宣言

公益財団法人青森県スポーツ協会会長 佐々木 郁夫

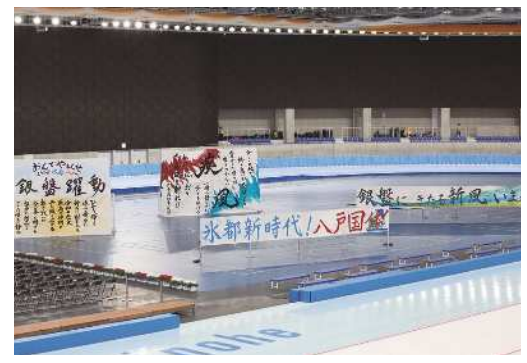
「銀盤に きたる新風 いま水都に」のスローガンのもと、5日間にわたり開催されました「水都新時代！八戸国体」は、郷土の代表として出場された選手の皆さんの果敢に挑戦する姿、闘志あふれる熱戦により、大きな盛り上がりで感動を残し、本日、滞りなく終了することができました。

役員及び関係各位の絶大なる御協力に対し、心から感謝申し上げますとともに、選手の皆さんには、国内大会のみならず、世界選手権、さらには、2022年の北京オリンピック出場を目指しての更なる努力・躍進を期待いたしまして、ここに、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の終了を宣言いたします。



開始式





◆スピード競技







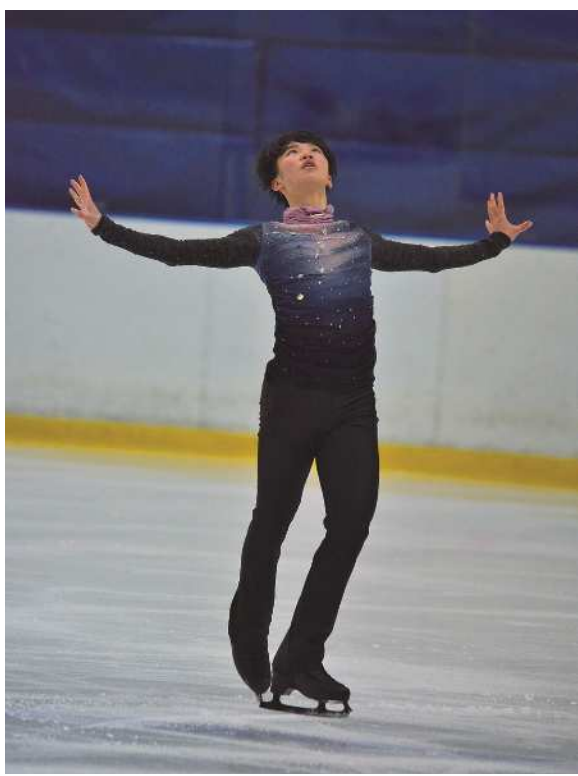
ショートトラック競技

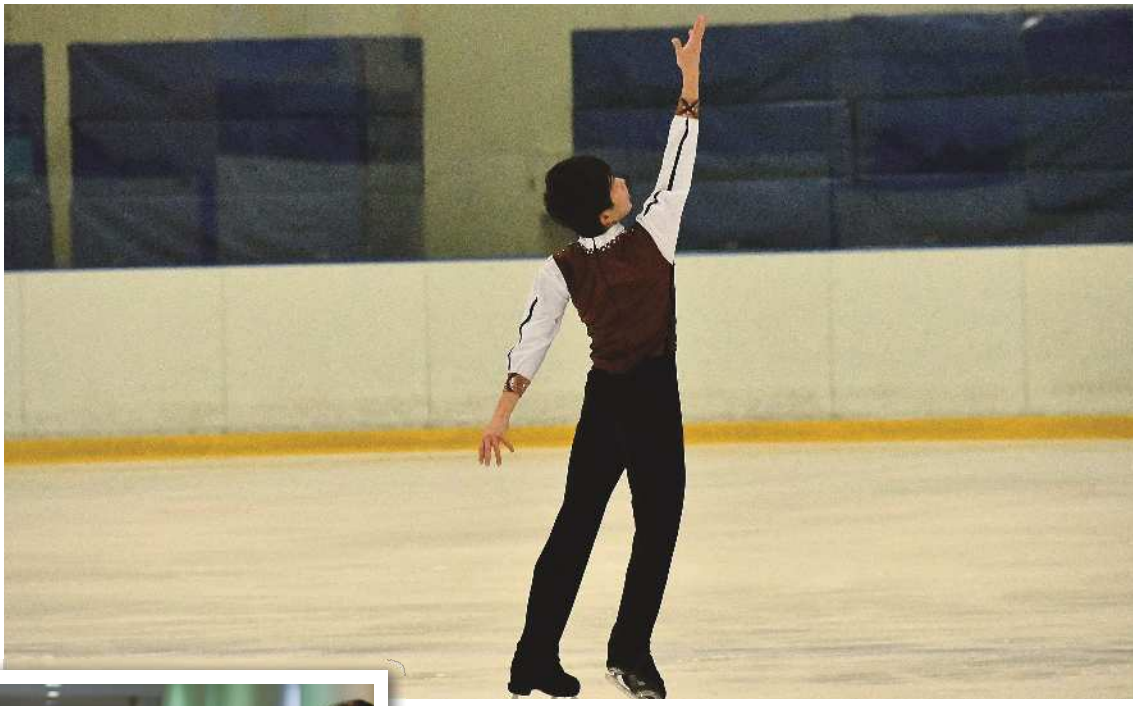






フィギュア競技







アイスホッケー競技







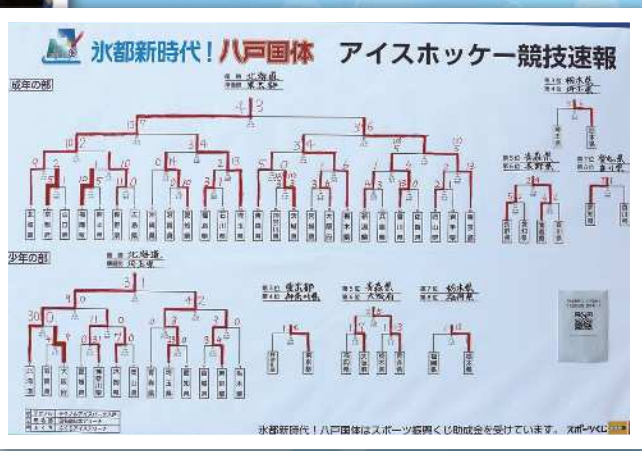
表彰式





◆ スナッポ





競技会日程・会場一覧

正式競技：スケート、アイスホッケー

会場地	式典・競技		日 程					会 場	所 在 地
			2020年 1 月			2 月			
			29 (水)	30 (木)	31 (金)	1 (土)	2 (日)		
八戸市	開 始 式		午前 ◎					Y S アリーナ八戸 (八戸市長根屋内スケート場)	八戸市大字売市 字興遊下3
	表 彰 式						午後 ◎		
八戸市	ス ケ ー ト	ス ピ ー ド		○	○	○	○	Y S アリーナ八戸 (八戸市長根屋内スケート場)	八戸市大字売市 字興遊下3
三沢市		フィギュア	○	○	○	午前 ○		三沢アイスアリーナ	三沢市南山三丁目116-5
		シ ョ ー ト ト ラ ッ ク				午後 ○	○		
八戸市	アイスホッケー		○	○	○	○	○	テクノルアイスパーク八戸 (八戸市新井田インドアリンク)	八戸市新井田西四丁目1-1
			○	○	○	○	○	田名部記念アリーナ	八戸市大字河原本 字蝦夷館4-3
南部町			○	○	○	○		ふくちアイスアリーナ	南部町大字苦米地字 上根岸73-1

(凡例) ◎：開始式・表彰式、○：競技日

諸会議日程

会議名	競技名	日 時	会 場
全 国 代 表 者 会 議		2020年1月28日(火) 13:00～	八 戸 グ ラ ン ド ホ テ ル
全 国 報 道 員 会 議		2020年1月28日(火) 15:00～	八 戸 グ ラ ン ド ホ テ ル
大会主催者連絡会議		2020年1月28日(火) 18:00～	八 戸 グ ラ ン ド ホ テ ル
監 督 会 議	ス ピ ー ド	2020年1月29日(水) 15:00～	八 戸 プ ラ ザ ホ テ ル
	ショートトラック	2020年1月31日(金) 14:00～	三沢市国際交流教育センター
	フ ィ ギ ュ ア	2020年1月28日(火) 14:00～	三沢市国際交流教育センター
	アイスホッケー	2020年1月28日(火) 17:00～	八 戸 プ ラ ザ ホ テ ル
競 技 役 員 会 議 (審 判 員 会 議)	ス ピ ー ド	2020年1月29日(水) 17:00～	Y S ア リ ー ナ 八 戸
	ショートトラック	2020年1月31日(金) 15:00～	三沢市国際交流教育センター
	フ ィ ギ ュ ア	2020年1月28日(火) 12:00～	三沢市国際交流教育センター
抽 選 会	ス ピ ー ド	2020年1月11日(土) 14:30～	Y S ア リ ー ナ 八 戸
	ショートトラック	2020年1月11日(土) 13:00～	Y S ア リ ー ナ 八 戸
	アイスホッケー	2020年1月10日(金) 14:00～	JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE



スケート競技会・アイスホッケー競技会

開始式・表彰式 次第

【開 始 式】

期 日 2020年1月29日（水）

場 所 Y S アリーナ八戸
（八戸市長根屋内スケート場）

順	次 第	時刻
1	開場	8：45
2	役員・選手団集合開始	9：15
3	役員・選手団着席完了	9：40
4	歓迎アトラクション	9：45
5	参加都道府県旗入場・選手団紹介	10：05
6	開式通告	10：30
7	競技会開始宣言	10：31
8	国旗儀礼	10：34
9	大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗儀礼	10：36
10	大会会長トロフィー返還	10：38
11	日本スポーツ協会あいさつ	10：42
12	スポーツ庁あいさつ	10：45
13	中央競技団体あいさつ	10：48
14	歓迎のことば	10：51
15	選手代表宣誓	10：57
16	閉式通告	11：00
17	役員・選手団解散	11：01

【表 彰 式】

期 日 2020年2月2日（日）

場 所 Y S アリーナ八戸
（八戸市長根屋内スケート場）

順	次 第	時刻
1	開場	15：00
2	役員・選手団集合開始	15：30
3	役員・選手団着席完了	15：59
4	開式通告	16：00
5	成績発表	16：01
6	スケート競技会表彰状授与	16：09
7	スケート競技会大会会長トロフィー授与	16：25
8	アイスホッケー競技会表彰状授与	16：28
9	アイスホッケー競技会大会会長トロフィー授与	16：36
10	中央競技団体あいさつ	16：39
11	会場地あいさつ	16：42
12	国旗儀礼	16：48
13	競技会終了宣言	16：50
14	閉式通告	16：51
15	役員・選手団解散	16：52

開始式・表彰式参加にあたっての留意事項

【開始式】

1 会場

開始式は、八戸市長根屋内スケート場「Y S アリーナ八戸」で行います。

2 参加都道府県選手団について

(1) 受付

ア 9時15分から1階ロビーにある「選手団受付」で、選手団の受付を行います。

イ 選手団の代表者は、9時35分までに受付を済ませてください。その際選手団の代表者は、都道府県名、開始式参加人数（旗手、大会会長トロフィー返還者を除き5名以内）を報告してください。

ウ 受付終了後、9時40分までに、指定された選手団席（アリーナ中地）に着席してください。

エ 旗手はプラカードとともに行進を行います。9時40分までに都道府県旗手・プラカード集合場所（1階ロビー左側選手ラウンジ）に集合してください。旗手行進要領を説明します。

オ 大会会長トロフィー返還者には、それぞれの座席（アリーナ中地右側前席）において9時25分に係員が返還方法の説明を行います。

(2) 入場方法

ア 行進は、プラカードと旗手のみとし、沖縄県を先頭に南の都道府県から順に行い、最後に青森県が入場します。

イ 係員の指示に従い、プラカード、旗手の順に入場します。

ウ 「〇〇〇選手団、団長〇〇〇〇、旗手〇〇〇〇」と紹介されたら、当該選手団はその場に起立し、周囲に軽く手を振り、会釈をして着席してください。以下、これに続けてください。

エ 旗手は、式典ステージ奥側通路（ステージ奥側角付近）で都道府県旗を係員に渡してください。

オ 入場の終わった旗手は、旗手席に着席してください。

(3) 選手代表宣誓時の旗手

各都道府県旗手の集合は行いません。宣誓台へ集合する旗手は青森県旗手のみです。

(4) 式終了後は、係員の指示に従い退場してください。

【表彰式】

1 会場

表彰式は、八戸市長根屋内スケート場「Y S アリーナ八戸」で行います。

2 参加都道府県選手団について

(1) 受付

ア 15時30分から1階ロビーにある「選手団受付」で、選手団の受付を行います。

イ 都道府県の代表者は、15時55分までに受付を済ませ、受付終了後、各選手団は15時59分までに選手団席（1階アリーナ内中地）に着席してください。

ウ 受付の際、各都道府県の代表者は、都道府県名、人数を報告してください。

(2) 表彰状・会長トロフィー受賞

表彰状（スケート競技会男女総合第1位～第8位、女子総合第1位～第8位、アイスホッケー競技会総合1位～8位の都道府県）及び大会会長トロフィー（各競技会総合第1位の都道府県）の受賞者は、15時40分までに係員の指示に従って受賞者席（1階アリーナ内中地中央部前側）に着席してください。係員が受賞方法の説明を行います。

【その他】

1 開始式の際、都道府県旗は、持参する必要はありません。

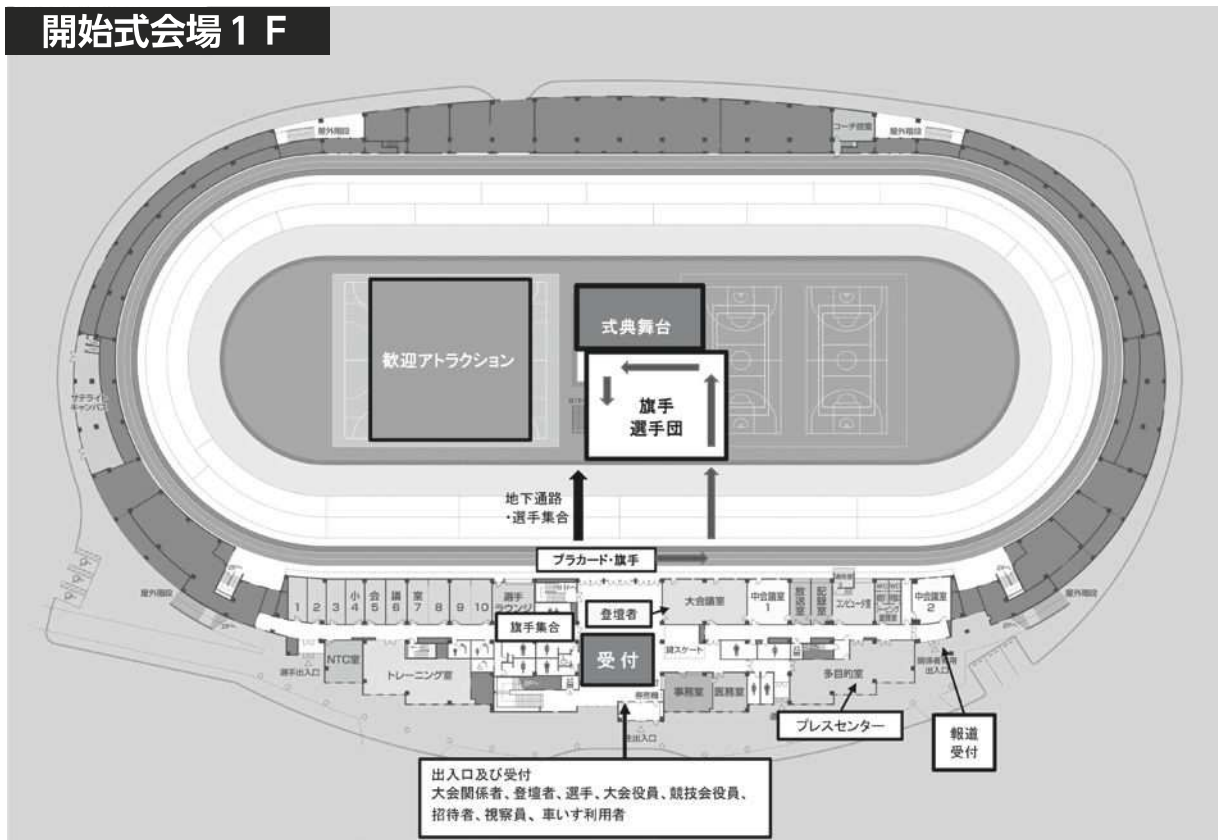
2 開始式・表彰式とも、昼食の斡旋は行いません。

3 開始式・表彰式とも、手荷物は各自で保管してください。

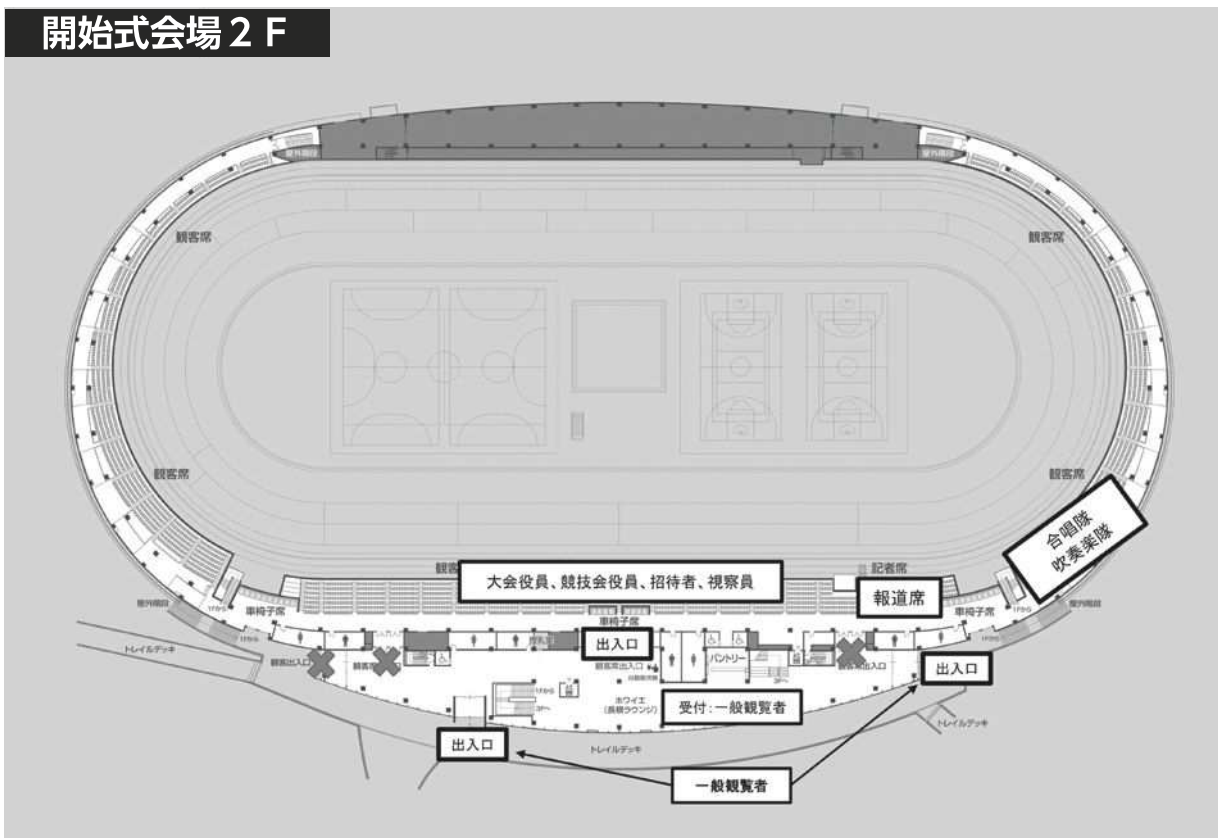
4 開始式・表彰式とも、会場周辺は駐車スペースに限りがあります。式典シャトルバスの運行は、大会ホームページを御覧ください。

開始式座席エリア図

開始式会場 1 F

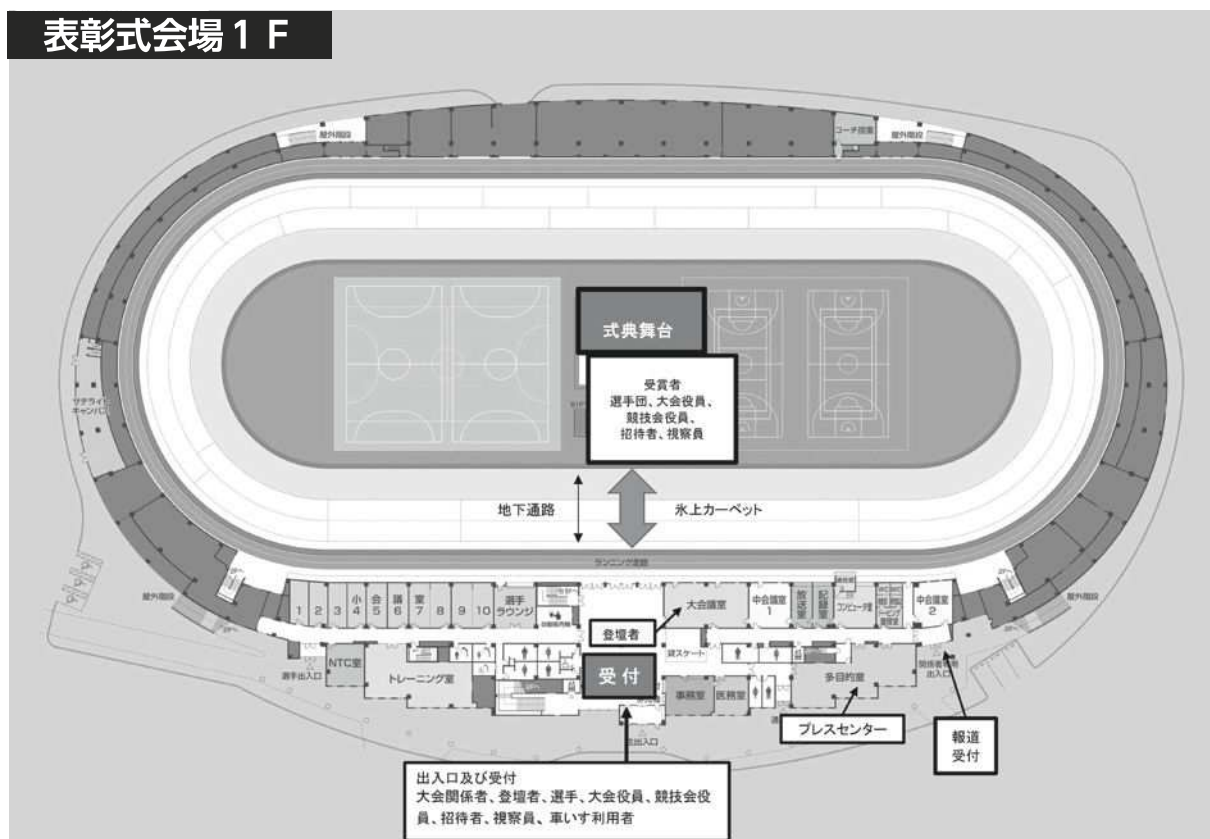


開始式会場 2 F

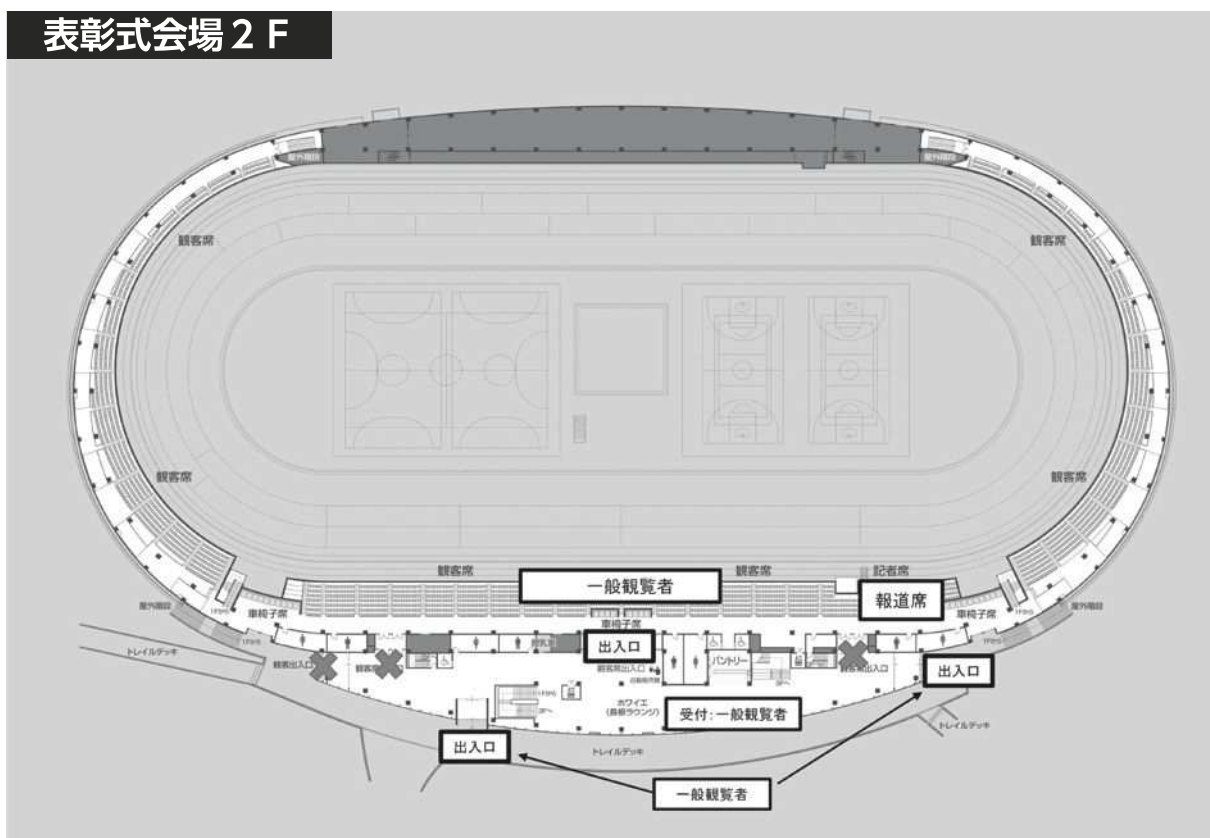


表彰式座席エリア図

表彰式会場 1 F



表彰式会場 2 F



開始式出演者等一覧

1 歓迎アトラクション

青森県立八戸東高等学校（表現科1・2年生）

BLUE TOKYO

2 音楽隊

青森県立八戸高等学校

青森県立八戸北高等学校

青森県立八戸西高等学校

青森県立八戸工業高等学校

青森県立八戸商業高等学校

八戸聖ウルスラ学院高等学校

八戸工業大学第一高等学校

八戸学院光星高等学校

3 合唱隊

青森県立八戸東高等学校（合唱部・表現科）

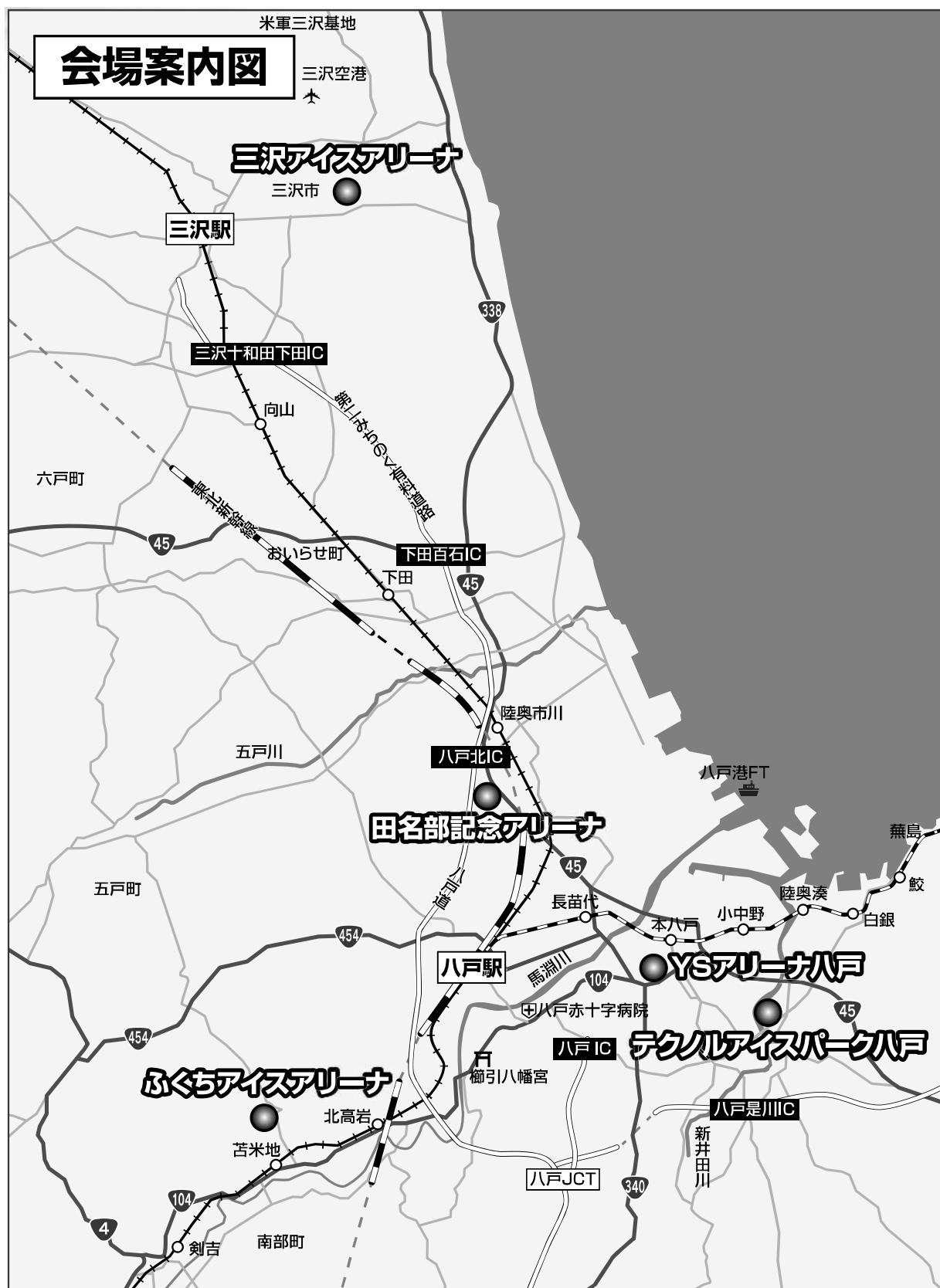
4 補助員等

プラカードー 八戸聖ウルスラ学院高等学校

接遇 千葉学園高等学校

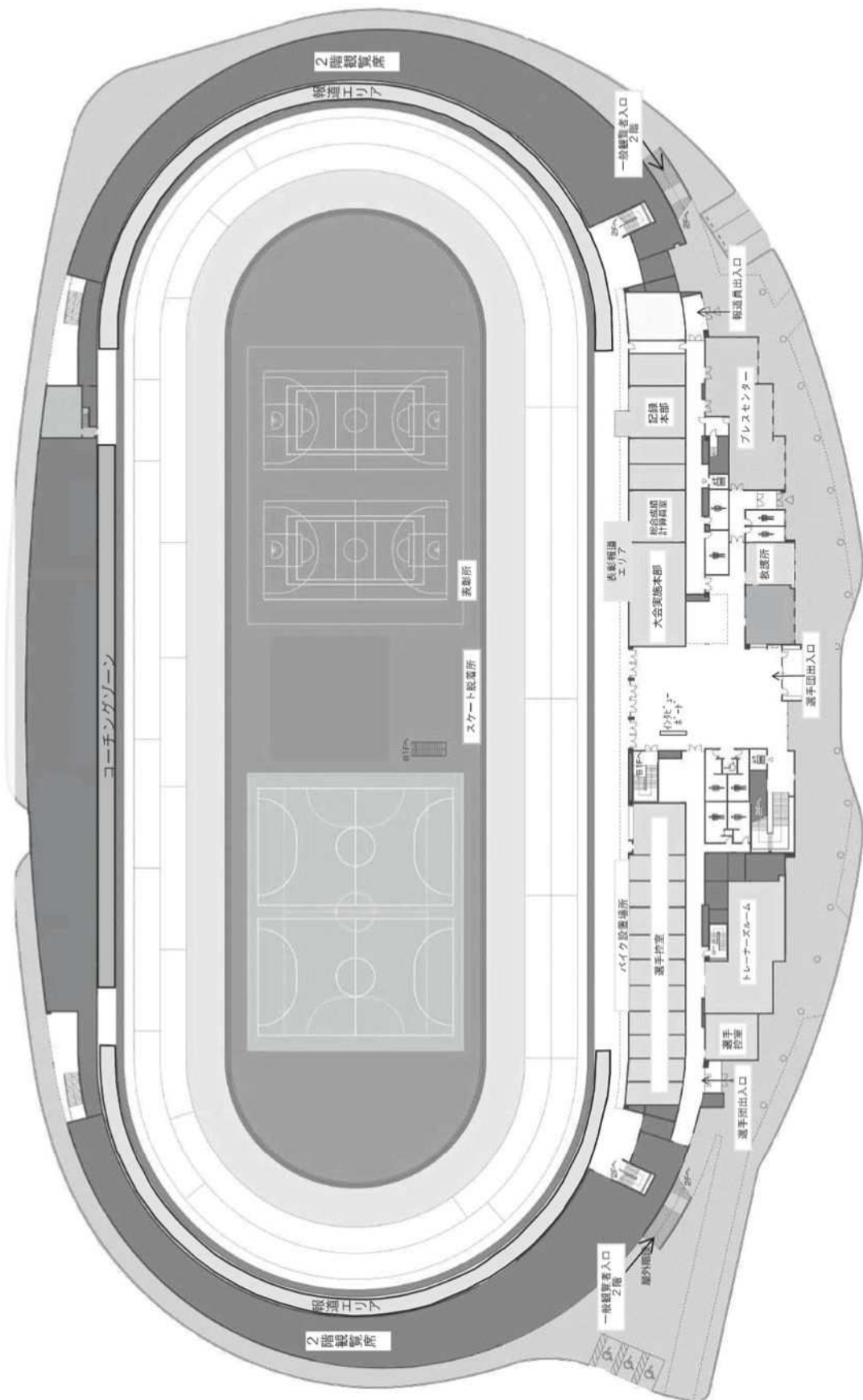
会場設営 青森県立八戸西高等学校（スポーツ科学科）



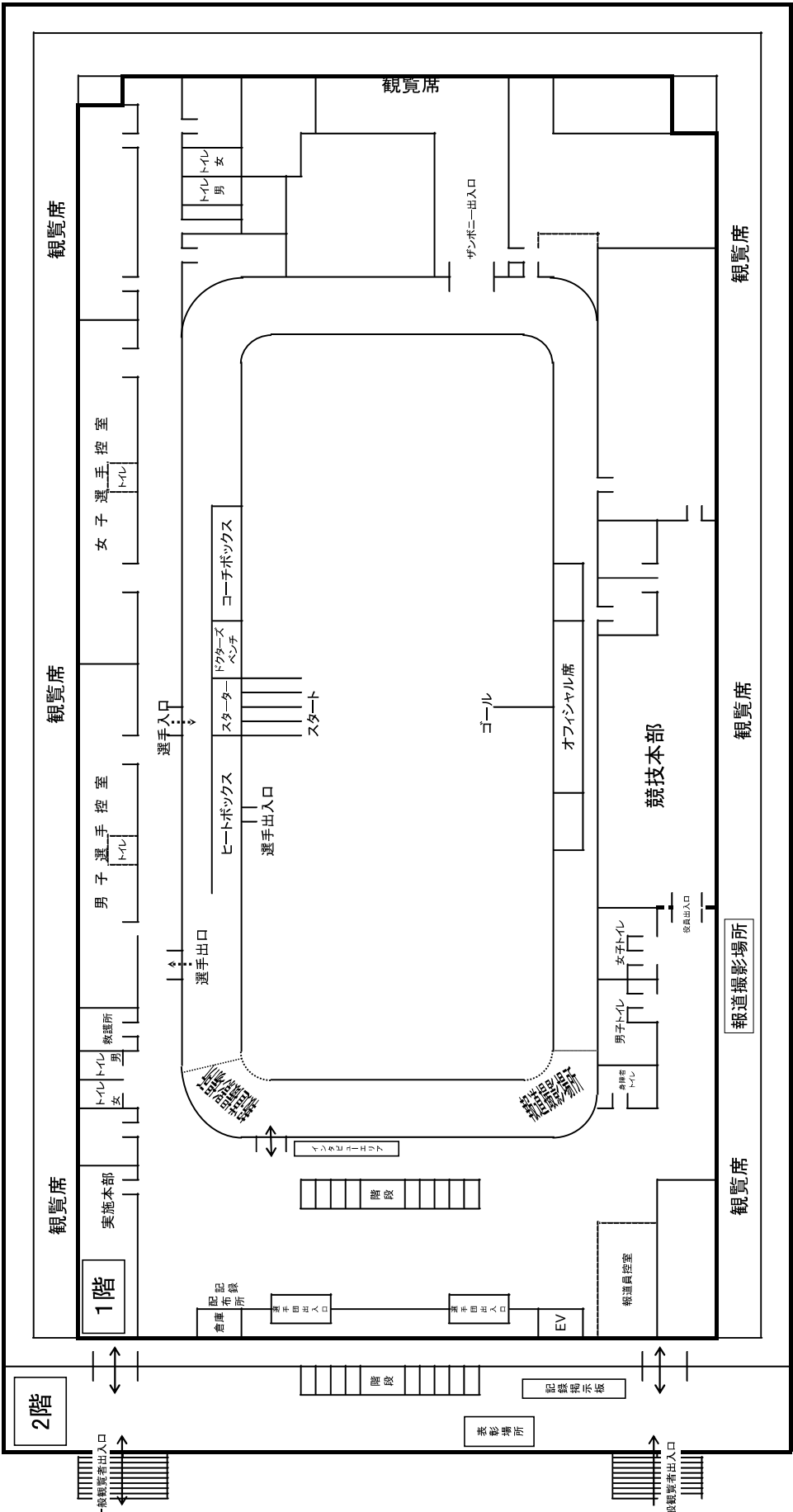


スピード競技会場図

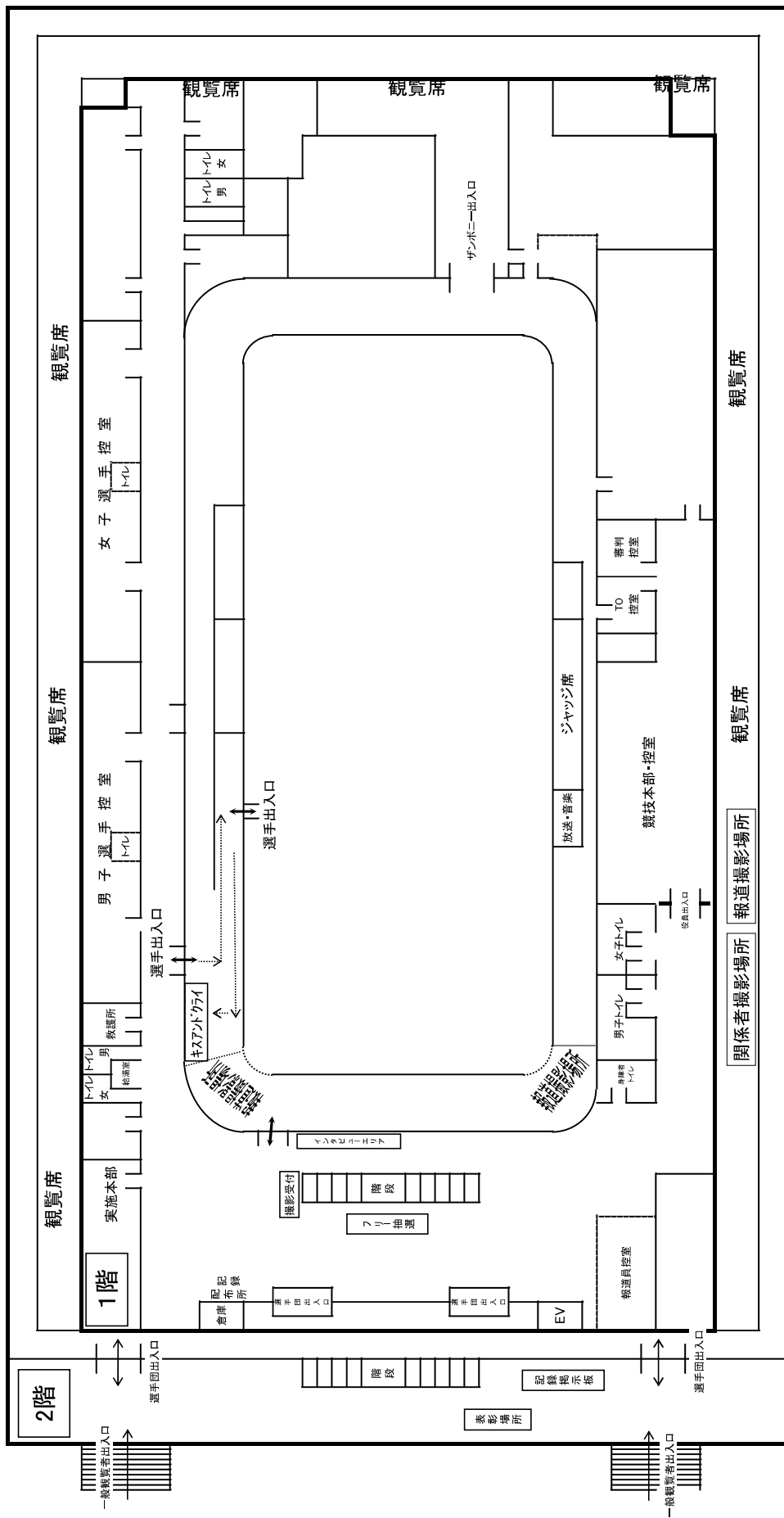
YSアリーナ八戸



三沢アイスアリーナ

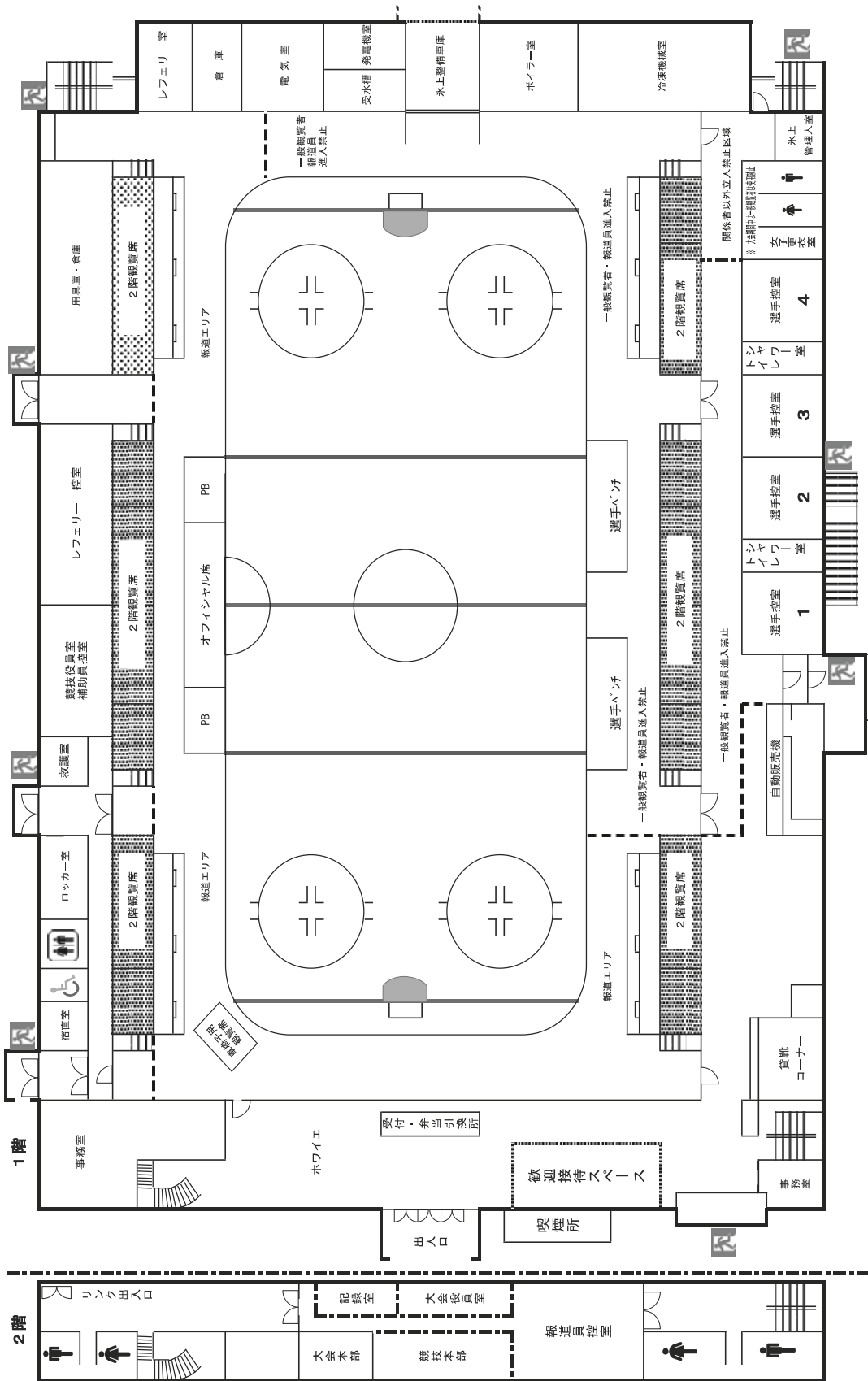


ファイギュア競技会場図



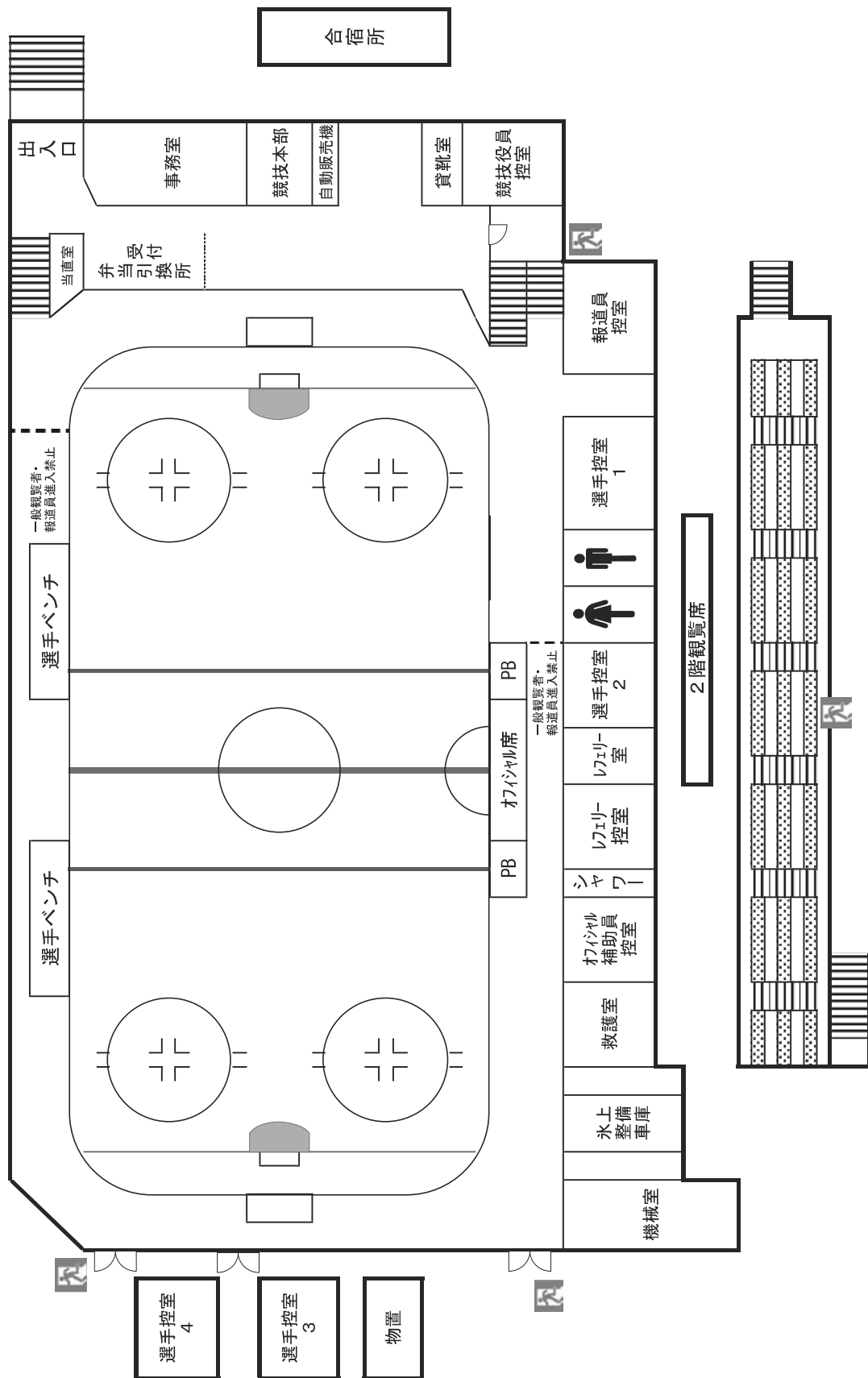
アイスホッケー競技会場図

テクノルアイスパーク八戸



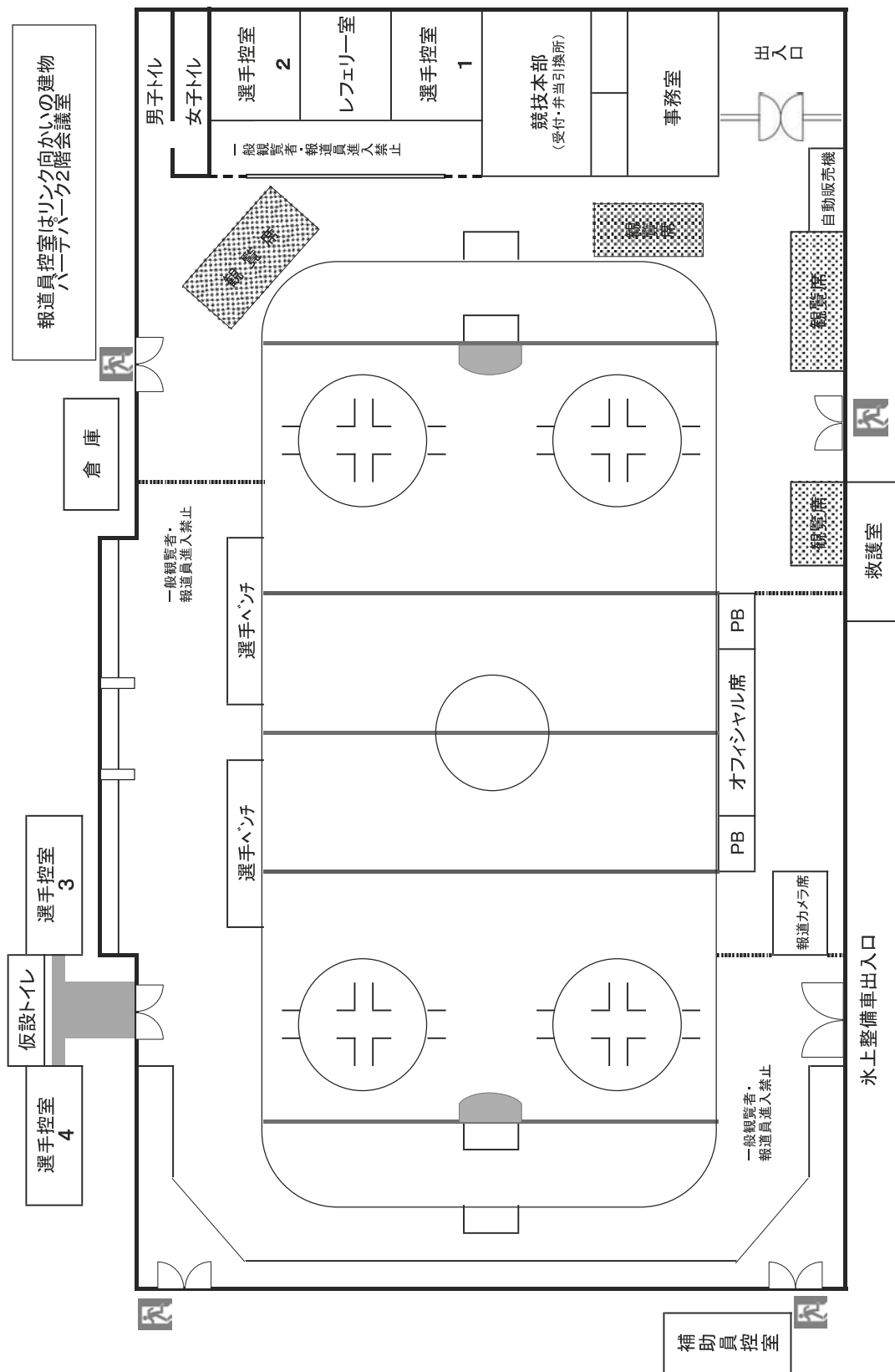
アイスホッケー競技会場図

田名部記念アリーナ



アイスホッケー競技会場図

ふくちアイスアリーナ





第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

都道府県別総合成績一覧表

令和2年2月2日現在

No.	都道府県	男女総合成績（天皇杯）								女子総合成績（皇后杯）			
		得点 合計	順 位	スケート			アイスホッケー			得点 合計	順 位	スケート	
				競 技 得 点	参 加 得 点	合 計	競 技 得 点	参 加 得 点	合 計			競 技 得 点	参 加 得 点
1	北海道	283	1	183	10	193	80	10	90	70	3	60	10
2	青森県	131	5	71	10	81	40	10	50	43	11	33	10
3	岩手県	61	15	41	10	51		10	10	42	12	32	10
4	宮城県	21	31	1	10	11		10	10	10	25		10
5	秋田県	20	33		10	10		10	10	10	25		10
6	山形県	143	4	123	10	133		10	10	78	2	68	10
7	福島県	30	26	10	10	20		10	10	20	21	10	10
8	茨城県	38	21	18	10	28		10	10	28	16	18	10
9	栃木県	74	14	14	10	24	40	10	50	10	25		10
10	群馬県	112	9	92	10	102		10	10	59	4	49	10
11	埼玉県	126	6	46	10	56	60	10	70	20	21	10	10
12	千葉県	38	21	18	10	28		10	10	25	17	15	10
13	東京都	145	3	60	10	70	65	10	75	52	6	42	10
14	神奈川県	113	8	68	10	78	25	10	35	51	7	41	10
15	山梨県	58	16	38	10	48		10	10	31	14	21	10
16	新潟県	26	28	6	10	16		10	10	10	25		10
17	長野県	228	2	193	10	203	15	10	25	105	1	95	10
18	富山県	48	18	28	10	38		10	10	25	17	15	10
19	石川県	20	33		10	10		10	10	0			
20	福井県	31	25	11	10	21		10	10	10	25		10
21	静岡県	21	31	1	10	11		10	10	11	24	1	10
22	愛知県	107	10	77	10	87	10	10	20	58	5	48	10
23	三重県	30	26	10	10	20		10	10	0			
24	岐阜県	33	24	13	10	23		10	10	10	25		10
25	滋賀県	44	19	24	10	34		10	10	22	19	12	10
26	京都府	57	17	37	10	47		10	10	29	15	19	10
27	大阪府	102	11	67	10	77	15	10	25	42	12	32	10
28	兵庫県	119	7	99	10	109		10	10	46	8	36	10
29	奈良県	20	33		10	10		10	10	10	25		10
30	和歌山県	10	43					10	10	0			
31	鳥取県	20	33		10	10		10	10	10	25		10
32	島根県	20	33		10	10		10	10	10	25		10
33	岡山県	78	13	58	10	68		10	10	44	9	34	10
34	広島県	36	23	16	10	26		10	10	20	21	10	10
35	山口県	10	43					10	10	0			
36	香川県	15	42				5	10	15	0			
37	徳島県	25	30	5	10	15		10	10	0			
38	愛媛県	40	20	20	10	30		10	10	22	19	12	10
39	高知県	10	43					10	10	0			
40	福岡県	102	11	77	10	87	5	10	15	44	9	34	10
41	佐賀県	20	33		10	10		10	10	0			
42	長崎県	10	43					10	10	0			
43	熊本県	20	33		10	10		10	10	10	25		10
44	大分県	20	33		10	10		10	10	0			
45	宮崎県	10	43					10	10	0			
46	鹿児島県	26	28	6	10	16		10	10	0			
47	沖縄県	20	33		10	10		10	10	10	25		10



第75回国民体育大会冬季大会

No.	区分 都道府県	男														子																	
		ス ピ ー ド												ショートトラック				フィギュア			小 計 (A)												
		成 年						少 年						成 年				少 年				成 年 計	少 年 計	小 計									
		5 0 0 m	1 0 0 0 m	1 5 0 0 m	5 0 0 0 m	2 0 0 0 m R	小 計	5 0 0 m	1 0 0 0 m	1 5 0 0 m	5 0 0 0 m	1 0 0 0 m	2 0 0 0 m R	小 計	5 0 0 m	1 0 0 0 m	5 0 0 0 m R	小 計	5 0 0 m	1 0 0 0 m					小 計								
1	北海道	9	15	8	8	8	48	7	15	13	12	8	8	63								12		12	123								
2	青森県	1		9	6	5	21	5		3		4	5	17											38		7						
3	岩手県					1	1						3	3	5		5								9	11	1						
4	宮城県							1						1											1								
5	秋田県																																
6	山形県		1			6	7		9	13	9	11	6	48											55								
7	福島県																																
8	茨城県																								5	8							
9	栃木県	8					8								6		6								14								
10	群馬県			6			6	10	4		3	5		22	3		4	7	5	3	8				43	5	9						
11	埼玉県	6	2	3		7	18														3	15	18	36									
12	千葉県					3	3																	3									
13	東京都																				9	9	18	18									
14	神奈川県														1		7	8	7	6	13	6		6	27	7	6						
15	山梨県	2					2			4	5		2	11			3	3	1		1				17	2							
16	新潟県															6		6							6								
17	長野県	7		1	4		12	13	8	3	7	8	7	46	8	12	8	28	6	6	12				98	6							
18	富山県			7	6		13																		13								
19	石川県																																
20	福井県		9	2			11																		11								
21	静岡県																																
22	愛知県														7	7		14				15		15	29								
23	三重県	3	3			4	10																		10								
24	岐阜県				7	2	9						4	4											13								
25	滋賀県																					12	12	12									
26	京都府																					18	18	18									
27	大阪府															3	5	8				24	3	27	35								
28	兵庫県														2	5		7	6	8	14	21	21	42	63								
29	奈良県																																
30	和歌山県																																
31	鳥取県																																
32	島根県																																
33	岡山県																					24	24	24									
34	広島県																					6	6	6									
35	山口県																																
36	香川県																																
37	徳島県				5		5																		5								
38	愛媛県																		3	5	8				8		5						
39	高知県																																
40	福岡県														4		6	10	8	7	15	18		18	43								
41	佐賀県																																
42	長崎県																																
43	熊本県																																
44	大分県																																
45	宮崎県																																
46	鹿児島県		6				6																		6								
47	沖縄県																																

スケート競技会 総合成績一覧表

青森県（八戸市） 2020.1.29～2.2

女 子										総 合 成 績																		
ス ピ ード					ショ ー ト ト ラ ッ ク					フ ィ ギ ュ ア			小 計 (B)	男 女 総 合 成 績 (天 皇 杯 得 点)				女 子 総 合 成 績 (皇 后 杯 得 点)										
年		少 年			成 年		少 年			成 年	少 年	小 計		競 技 得 点 (C)	参 加 得 点 (D)	合 計 (C+D)	順 位	競 技 得 点 (B)	参 加 得 点 (E)	合 計 (B+E)	順 位							
1500m	3000m	2000mR	小 計	500m	1000m	1500m	3000m	2000mR	小 計													500m	1000m	小 計				
	1	6	7	14	10	5	13	6	48			2	2				3	3	60	183	10	193	2	60	10	70	3	
7	6	7	27		1	2	1	2	6										33	71	10	81	8	33	10	43	11	
		8	20	4			3	5	12										32	41	10	51	14	32	10	42	12	
																				1	10	11	31	0	10	10	25	
																				0	10	10	33	0	10	10	25	
4	10	4	18	12	12	9	9	8	50										68	123	10	133	3	68	10	78	2	
						5	2	3	10										10	10	10	20	26	10	10	20	21	
	5		18																18	18	10	28	20	18	10	28	16	
																				14	10	24	23	0	10	10	25	
5	4		23	1				4	5			3	3	8	10	18			49	92	10	102	5	49	10	59	4	
		3	3		2				2	5			5						10	46	10	56	13	10	10	20	21	
															15	15			15	18	10	28	20	15	10	25	17	
															21	21	42		42	60	10	70	11	42	10	52	6	
		5	18							2	5		7	7	3	10	6		6	41	68	10	78	9	41	10	51	7
5			7					1	1	1	4	5	10				3		3	21	38	10	48	15	21	10	31	14
																				6	10	16	28	0	10	10	25	
8	10		24	5	11	15	8	7	46	11	6	8	25						95	193	10	203	1	95	10	105	1	
										7	8		15						15	28	10	38	17	15	10	25	17	
																				0	10	10	33	0	0			
																				11	10	21	25	0	10	10	25	
														1	1			1	1	10	11	31	1	10	11	24		
										6			6				18	24	42	48	77	10	87	6	48	10	58	5
																				10	10	20	26	0	0			
																				13	10	23	24	0	10	10	25	
															12		12	12	24	10	34	18	12	10	22	19		
											4	4		9	6	15	19	37	10	47	16	19	10	29	15			
											6	6	7	12	12	32	67	10	77	10	32	10	42	12				
										4	7	7	18	1	2	3	15		15	36	99	10	109	4	36	10	46	8
																				0	10	10	33	0	10	10	25	
																				0	0			0	0			
																				0	10	10	33	0	10	10	25	
																				0	10	10	33	0	10	10	25	
																				0	0			0	0			
																				0	10	15	30	0	0			
7			12																12	20	10	30	19	12	10	22	19	
																				0	0			0	0			
											1	1					24	9	33	34	77	10	87	6	34	10	44	9
																				0	10	10	33	0	0			
																				0	0			0	0			
																				0	10	10	33	0	10	10	25	
																				0	10	10	33	0	0			
																				0	0			0	0			
																				6	10	16	28	0	0			
																				0	10	10	33	0	10	10	25	

第75回国民体育大会冬季大会 スケート競技会 スピード競技 タイムテーブル

Y S アリーナ八戸

第1日目 1月30日(木) 選手等開場 7:00

内容(種目)	時 間	組数	整 氷	備 考
公式練習	8:00 ~ 8:40		8:40~8:50(10)	都道府県区分なし
	8:50 ~ 9:30		9:30~10:00(全面/30)	
少年女子 500m予選	10:00 ~	6		
少年男子 500m予選	10:15 ~	4		
成年女子 500m予選	10:25 ~	4	10:35~10:55(20)	
成年男子 500m予選	10:55 ~	8	11:15~11:35(20)	
少年男子 10000m予選	11:35 ~	2	12:10~12:40(全面/30)	
少年女子 1500m予選	12:40 ~	4		
少年男子 1500m予選	12:55 ~	4	13:10~13:30(20)	
成年女子 1500m予選	13:30 ~	4		
成年男子 1500m予選	13:45 ~	6	14:10~14:40(全面/30)	
少年女子 500m準決勝	14:40 ~	2		
少年男子 500m準決勝	14:45 ~	2		
成年女子 500m準決勝	14:50 ~	2		
成年男子 500m準決勝	14:55 ~	4	終了後(20)	
公式練習	競技終了・整氷後60分			都道府県区分なし

第2日目 1月31日(金) 選手等開場 7:00

内容(種目)	時 間	組数	整 氷	備 考
公式練習	8:00 ~ 8:40		8:40~8:50(10)	都道府県区分なし
	8:50 ~ 9:30		9:30~10:00(全面/30)	
少年男子 1000m予選	10:00 ~	4		
成年男子 1000m予選	10:15 ~	6	10:35~10:55(20)	
少年女子 1000m予選	10:55 ~	4		
成年女子 1000m予選	11:10 ~	4	11:25~11:55(全面/30)	
少年男子 10000m決勝	11:55 ~	1	12:15~12:35(20)	
少年女子 3000m予選	12:35 ~	2		
成年女子 3000m予選	12:50 ~	2	13:05~13:25(20)	
成年男子 1500m準決勝	13:25 ~	2	13:35~14:05(全面/30)	
少年女子 500m決勝B/A	14:05 ~	2		
成年女子 500m決勝B/A	14:10 ~	2		
少年男子 500m決勝B/A	14:15 ~	2		
成年男子 500m決勝B/A	14:20 ~	2		
表彰式(少年男子10000m、少年・成年女子500m、少年・成年男子500m)			競技終了後、全面(30)	
公式練習	競技終了・整氷後20分			都道府県区分なし
公式練習(少年)	30分間		①女子②男子	各15分
公式練習(成年)	45分間		①女子②男子1~2組③男子3~4組	各15分

第3日目 2月1日(土) 選手等開場 7:00

内容(種目)	時 間	組数	整 水	備 考
公式練習	8:00 ~ 8:40		8:40~8:50(10)	都道府県区分なし
	8:50 ~ 9:30		9:30~10:00(全面/30)	
少年男子 1500m決勝	10:00 ~	1		
成年男子 1500m決勝	10:05 ~	1		
少年女子 1500m決勝	10:10 ~	1		
成年女子 1500m決勝	10:15 ~	1	10:20~10:40(20)	
成年男子 1000m準決勝	10:50 ~	2	11:00~11:20(20)	
少年男子 5000m予選	11:30 ~	2	11:50~12:10(20)	
成年男子 5000m予選	12:10 ~	4	12:50~13:20(全面/30)	
少年女子 2000m R 予選	13:20 ~	2		
成年女子 2000m R 予選	13:30 ~	2	13:40~14:00(20)	
少年男子 2000m R 予選	14:00 ~	2		
成年男子 2000m R 予選	14:10 ~	4		
表彰式(4種目/少年・成年男子1500m、少年・成年女子1500m)			競技終了後、全面(30)	
公式練習	整水後60分			都道府県区分なし

第4日目 2月2日(日) 選手等開場 7:00

内容（種目）	時 間	組数	整 氷	備 考
公式練習	8：00 ～ 8：40		8：40～8：50(10)	都道府県区分なし
	8：50 ～ 9：30		9：30～10：00(全面/30)	
少年女子 1000m決勝	10：00 ～	1		
成年女子 1000m決勝	10：05 ～	1		
少年男子 1000m決勝	10：10 ～	1		
成年男子 1000m決勝	10：15 ～	1	10：20～10：40(20)	
少年女子 3000m決勝	10：40 ～	1		
成年女子 3000m決勝	10：47 ～	1	10：55～11：15(20)	
少年男子 5000m決勝	11：15 ～	1		
成年男子 5000m決勝	11：25 ～	1	11：35～12：05(全面/30)	
少年女子 2000m R 決勝	12：05 ～	2		
成年女子 2000m R 決勝	12：25 ～	2		
少年男子 2000m R 決勝	12：40 ～	2		
成年男子 2000m R 決勝	12：55 ～	2		
表彰式	少年・成年女子1000m、少年・成年男子1000m			
	少年・成年女子3000m、少年・成年男子5000m			
	少年・成年女子2000m R、少年・成年男子2000m R			

スピード競技入賞者

成年男子500m

大会記録 35秒50 羽賀 亮平(長野県)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	川 目 拓 磨	栃 木 県	35.73	
2	羽 賀 亮 平	長 野 県	35.78	
3	松 井 堇 也	埼 玉 県	36.11	
4	榊 原 一 輝	北 海 道	36.58	
5	石 川 斗 来	北 海 道	35.76	
6	坂 本 永 吉	三 重 県	35.97	
7	岡 田 峻	山 梨 県	36.04	
8	赤 坂 仁	青 森 県	36.13	

成年男子1000m

大会記録 1分10秒05 松津 秀太(埼玉県)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	藤 野 裕 人	北 海 道	1:10.32	C R
2	中 村 隼 人	北 海 道	1:11.42	
3	小 林 寛 和	鹿児島県	1:12.07	
4	池 田 崇 将	福 井 県		
5	小 坂 龍	福 井 県		
6	松 井 友 汰	三 重 県		
7	松 津 秀 太	埼 玉 県		
8	椿 尚 大	山 形 県		

成年男子1500m

大会記録 1分47秒12 渡辺 知也(岩手県)2017年第72回大会(長野)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	中 村 奨 太	北 海 道	1:47.46	
2	林 莉 輝	富 山 県	1:48.19	
3	小 原 憂 雅	群 馬 県	1:48.59	
4	山 本 大 史	青 森 県	1:48.91	
5	毛 利 信太郎	青 森 県	1:51.03	
6	松 津 秀 太	埼 玉 県		
7	小 坂 龍	福 井 県		
8	伊 藤 誠 悟	長 野 県		

成年男子5000m

大会記録 6分22秒49 渡辺 知也(岩手県)2017年第72回大会(長野)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	堀 川 翼	北 海 道	6:22.58	
2	遠 藤 二千翔	岐 阜 県	6:23.32	
3	林 莉 輝	富 山 県	6:38.81	
4	新 山 強	徳 島 県	6:46.85	
5	竹 中 誠 也	青 森 県		
6	伊 藤 貴 裕	長 野 県		
7	山 本 大 史	青 森 県		
8	杉 田 駿 介	長 野 県		

成年男子2000mR

大会記録 2分20秒88 北海道(榊原・石川・中村・藤野)2020年第75回大会(八戸)

順位	都道府県名	タ イ ム	備考
1	北 海 道	2:22.64	
2	埼 玉 県	2:23.61	
3	山 形 県	2:23.69	
4	青 森 県	2:26.74	
5	三 重 県	2:21.94	
6	千 葉 県	2:27.51	
7	岐 阜 県	2:29.61	
8	岩 手 県	2:29.95	

成年女子500m

大会記録 38秒37 郷 亜里砂(愛媛県)2017年第72回大会(長野)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	熊 谷 萌	岩 手 県	39.88	
2	加 藤 梨 乃	神奈川県	40.10	
3	上鹿渡 双 葉	長 野 県	50.55	
4	山 根 佳 子	茨 城 県	51.26	
5	樋 沙 織	群 馬 県	39.45(4)	
6	松 澤 優花里	岩 手 県	39.45(9)	
7	持 田 あかり	山 梨 県	39.59	
8	千 葉 捺 美	群 馬 県	39.64	

成年女子1000m

大会記録 1分16秒74 郷 亜里砂(愛媛県)2017年第72回大会(長野)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	山 根 佳 子	茨 城 県	1:17.18	
2	千 葉 捺 美	群 馬 県	1:20.16	
3	加 藤 梨 乃	神奈川県	1:21.80	
4	川 村 聖 亜	愛 媛 県		
5	鬼 頭 琴 音	青 森 県		
6	大 岩 未奈美	青 森 県		
7	樋 沙 織	群 馬 県		
8	松 澤 優花里	岩 手 県		

成年女子1500m

大会記録 1分57秒91 辻本 有沙(長野県)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	辻 本 有 沙	長 野 県	1:57.91	C R
2	川 村 聖 亜	愛 媛 県	2:00.86	
3	澤 尻 磨里英	青 森 県	2:01.21	
4	阿 部 友 香	群 馬 県	2:05.13	
5	ウイリアムソン レミ	山 形 県		
6	長 崎 叶和子	山 梨 県		
7	小佐野 梓	山 梨 県		
8	前 中 香 澄	青 森 県		

成年女子3000m

大会記録 4分00秒10 辻本 有沙(長野県)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	辻 本 有 沙	長 野 県	4:00.10	C R
2	ウイリアムソン レミ	山 形 県	4:02.51	C R
3	澤 尻 磨里英	青 森 県	4:03.51	C R
4	富 田 裕 香	茨 城 県	4:07.03	
5	阿 部 友 香	群 馬 県	4:19.17	
6	鈴 木 杏 菜	山 形 県		
7	小 山 香 月	長 野 県		
8	瀧 上 つくし	北 海 道		

成年女子2000mR

大会記録 2分36秒93 長野県(大菅小・大菅淳・加治木・外ノ池)2003年第58回大会(伊香保)

順位	都道府県名	タ イ ム	備考
1	岩 手 県	2:38.80	
2	青 森 県	2:44.96	
3	北 海 道	2:38.55	
4	神 奈 川 県	2:38.74	
5	山 形 県	2:39.54	
6	埼 玉 県	2:47.11	

少年男子500m

大会記録 35秒98 倉坪 克拓(長野県)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	倉 坪 克 拓	長 野 県	35.98	C R
2	山 本 悠 乃	北 海 道	36.00	C R
3	土 屋 慶 介	群 馬 県	36.88	
4	高見澤 匠 冴	長 野 県	50.38	
5	本 間 新之助	群 馬 県	37.30	
6	木 村 祐 大	青 森 県	38.61	
7	佐々木 快 彰	青 森 県	38.75	
8	小 山 晃 生	宮 城 県	38.81	

少年男子1000m

大会記録 1分11秒13 野々村太陽(北海道)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	野々村 太 陽	北 海 道	1:11.13	C R
2	時 安 清 貴	北 海 道	1:28.65	
3	倉 坪 克 拓	長 野 県	1:41.82	
4	櫻 井 俊太郎	山 形 県		
5	福 田 響	山 形 県		
6	狩 野 亜 間	群 馬 県		
7	原 純 夢	長 野 県		
8	本 間 新之助	群 馬 県		

少年男子1500m

大会記録 1分50秒71 櫻井俊太郎(山形県)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	櫻 井 俊太郎	山 形 県	1:50.71	C R
2	野々村 太 陽	北 海 道	1:50.79	C R
3	竹 澤 直 輝	北 海 道	1:53.62	
4	福 田 響	山 形 県		
5	佐 藤 天 海	山 梨 県		
6	橋 本 芳 彦	青 森 県		
7	笛 木 陽 空	長 野 県		
8	三 井 晃 太	長 野 県		

少年男子5000m

大会記録 6分29秒30 蟻戸 一永(北海道)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	蟻 戸 一 永	北 海 道	6:29.30	C R
2	森 野 太 陽	山 形 県	6:42.04	
3	三 井 晃 太	長 野 県		
4	佐 藤 天 海	山 梨 県		
5	山 田 和 哉	北 海 道		
6	干 川 脩 太	群 馬 県		
7	關 口 佳 弘	山 形 県		
8	笛 木 陽 空	長 野 県		

少年男子10000m

大会記録 13分00秒06 蟻戸 一永(北海道)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	蟻 戸 一 永	北 海 道	13:00.06	C R
2	森 野 太 陽	山 形 県	13:01.07	C R
3	吉 澤 柊 威	長 野 県		
4	干 川 脩 太	群 馬 県		
5	關 口 佳 弘	山 形 県		
6	竹 中 裕 馬	青 森 県		
7	今 井 寛 人	長 野 県		
8	大 崎 公 暉	青 森 県		

少年男子2000mR

大会記録 2分21秒59 北海道(山本・大島・竹澤・野々村)2020年第75回大会(八戸)

順位	都道府県名	タ イ ム	備考
1	北 海 道	2:21.59	C R
2	長 野 県	2:21.63	C R
3	山 形 県	2:27.91	
4	青 森 県	2:30.80	
5	岐 阜 県	2:31.83	
6	岩 手 県	2:36.26	
7	山 梨 県	3:04.09	

少年女子500m

大会記録 39秒61 熊谷 萌(岩手県)2017年第72回大会(長野)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	佐々木 成 果	北 海 道	40.10	
2	古 川 幸 希	山 形 県	40.20	
3	軍 司 愛 梨	北 海 道	41.14	
4	真 野 美 咲	山 形 県	59.55	
5	吉 田 雪 乃	岩 手 県	40.54	
6	清 水 叶 華	長 野 県	40.69	
7	上 條 真 綺	長 野 県	40.81	
8	本 多 優	群 馬 県	41.08	

少年女子1000m

大会記録 1分19秒36 宮川 鈴佳(長野県)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	宮 川 鈴 佳	長 野 県	1:19.36	C R
2	高 橋 侑 花	山 形 県	1:20.28	
3	軍 司 愛 梨	北 海 道	1:24.23	
4	真 野 美 咲	山 形 県		
5	水 戸 咲 良	北 海 道		
6	福 岡 歩 里	長 野 県		
7	飯 田 風 音	埼 玉 県		
8	高 山 愛 子	青 森 県		

少年女子1500m

大会記録 2分00秒85 小竹 琉湖(山形県)2017年第72回大会(長野)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	福 岡 歩 里	長 野 県	2:06.43	
2	宮 川 鈴 佳	長 野 県	2:06.59	
3	高 橋 侑 花	山 形 県	2:07.10	
4	森 野 こころ	北 海 道	2:07.47	
5	安 田 彩 夏	福 島 県	2:07.87	
6	小 坂 凜	山 形 県		
7	下 村 璃 々	青 森 県		
8	清 水 凜	福 島 県		

少年女子3000m

大会記録 4分08秒84 花岡 瑚徒(長野県)2020年第75回大会(八戸)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	花 岡 瑚 徒	長 野 県	4:08.84	C R
2	堀 川 桃 香	北 海 道	4:09.20	
3	森 野 こころ	北 海 道	4:09.21	
4	小 坂 凜	山 形 県	4:09.44	
5	福 田 琴 音	山 形 県	4:22.36	
6	沢 野 心 想	岩 手 県	4:41.69	
7	安 田 彩 夏	福 島 県		
8	上 野 恵理子	青 森 県		

少年女子2000mR

大会記録 2分39秒55 長野県(上條・藤森・小林・松本)2017年第72回大会(長野)

順位	都道府県名	タ イ ム	備考
1	山 形 県	2:40.25	
2	長 野 県	2:40.34	
3	北 海 道	2:40.34	
4	岩 手 県	2:51.44	
5	群 馬 県	2:48.82	
6	福 島 県	2:48.90	
7	青 森 県	2:49.00	
8	山 梨 県	2:52.41	

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・スピードスケート競技

気 象 公 式 記 録

1月30日（木）			競技開始時刻	室温	氷温	湿度	気 圧
少 年 女 子	500	（予 選）	10：00	13.9℃	-6.3℃	40.8%	1008hPa
少 年 男 子	500	（予 選）	10：15	13.9℃	-6.3℃	40.8%	1008hPa
成 年 女 子	500	（予 選）	10：28	13.9℃	-6.3℃	40.8%	1008hPa
成 年 男 子	500	（予 選）	10：55	14.4℃	-6.5℃	41.2%	1007hPa
少 年 男 子	10000	（予 選）	11：35	14.5℃	-6.4℃	40.7%	1006hPa
少 年 女 子	1500	（予 選）	12：40	14.5℃	-6.8℃	41.3%	1005hPa
少 年 男 子	1500	（予 選）	12：55	14.5℃	-6.8℃	41.3%	1005hPa
成 年 女 子	1500	（予 選）	13：30	14.6℃	-6.8℃	41.9%	1005hPa
成 年 男 子	1500	（予 選）	13：45	14.6℃	-6.8℃	41.9%	1005hPa
少 年 女 子	500	（準決勝）	14：40	14.7℃	-7.0℃	42.2%	1004hPa
少 年 男 子	500	（準決勝）	14：45	14.7℃	-7.0℃	42.2%	1004hPa
成 年 女 子	500	（準決勝）	14：50	14.7℃	-7.0℃	42.2%	1004hPa
成 年 男 子	500	（準決勝）	14：55	14.7℃	-7.0℃	42.2%	1004hPa

1月31日（金）			競技開始時刻	室温	氷温	湿度	気 圧
少 年 男 子	1000	（予 選）	10：00	13.9℃	-6.3℃	38.7%	1007hPa
成 年 男 子	1000	（予 選）	10：15	13.9℃	-6.3℃	38.7%	1007hPa
少 年 女 子	1000	（予 選）	10：55	14.7℃	-5.9℃	42.4%	1007hPa
成 年 女 子	1000	（予 選）	11：10	14.7℃	-5.9℃	42.4%	1007hPa
少 年 男 子	10000	（決 勝）	11：55	14.8℃	-6.7℃	42.7%	1007hPa
少 年 女 子	3000	（予 選）	12：35	14.8℃	-6.3℃	41.6%	1007hPa
成 年 女 子	3000	（予 選）	12：50	14.8℃	-6.3℃	41.6%	1007hPa
成 年 男 子	1500	（準決勝）	13：25	14.8℃	-6.2℃	39.8%	1007hPa
少 年 女 子	500	（決 勝）	14：05	14.9℃	-6.4℃	42.6%	1007hPa
成 年 女 子	500	（決 勝）	14：10	14.9℃	-6.4℃	42.6%	1007hPa
少 年 男 子	500	（決 勝）	14：20	14.9℃	-6.4℃	42.6%	1007hPa
成 年 男 子	500	（決 勝）	14：25	14.9℃	-6.4℃	42.6%	1007hPa

2月1日（土）			競技開始時刻	室温	水温	湿度	気 圧
少年男子	1500	（決 勝）	10：00	14.2℃	-6.2℃	39.8%	1021hPa
成年男子	1500	（決 勝）	10：05	14.2℃	-6.2℃	39.8%	1021hPa
少年女子	1500	（決 勝）	10：10	14.2℃	-6.2℃	39.8%	1021hPa
成年女子	1500	（決 勝）	10：15	14.2℃	-6.2℃	39.8%	1021hPa
成年男子	1000	（準決勝）	10：50	14.6℃	-6.6℃	41.9%	1021hPa
少年男子	5000	（予 選）	11：30	15.0℃	-3.9℃	42.9%	1021hPa
成年男子	5000	（予 選）	12：10	14.9℃	-6.2℃	41.2%	1021hPa
少年女子	2000R	（予 選）	13：20	14.9℃	-6.6℃	40.4%	1021hPa
成年女子	2000R	（予 選）	13：30	14.9℃	-6.6℃	40.4%	1021hPa
少年男子	2000R	（予 選）	14：00	14.9℃	-6.6℃	40.4%	1021hPa
成年男子	2000R	（予 選）	14：10	14.9℃	-7.7℃	40.7%	1021hPa

2月2日（日）			競技開始時刻	室温	水温	湿度	気 圧
少年女子	1000	（決 勝）	10：00	13.9℃	-6.1℃	37.1%	1029hPa
成年女子	1000	（決 勝）	10：05	13.9℃	-6.1℃	37.1%	1029hPa
少年男子	1000	（決 勝）	10：10	13.9℃	-6.1℃	37.1%	1029hPa
成年男子	1000	（決 勝）	10：15	13.9℃	-6.1℃	37.1%	1029hPa
少年女子	3000	（決 勝）	10：40	14.3℃	-6.0℃	36.7%	1029hPa
成年女子	3000	（決 勝）	10：47	14.3℃	-6.0℃	36.7%	1029hPa
少年男子	5000	（決 勝）	11：15	14.3℃	-6.1℃	36.7%	1029hPa
成年男子	5000	（決 勝）	11：25	14.3℃	-6.1℃	36.7%	1029hPa
少年女子	2000R	（決 勝）	12：05	14.8℃	-5.9℃	38.1%	1028hPa
成年女子	2000R	（決 勝）	12：25	14.8℃	-5.9℃	38.1%	1028hPa
少年男子	2000R	（決 勝）	12：40	14.8℃	-5.9℃	38.1%	1028hPa
成年男子	2000R	（決 勝）	12：55	14.8℃	-5.9℃	38.1%	1028hPa

ショートトラック競技日程

三沢アイスアリーナ

□第1日目／2月1日(土)

時 間	種 目	組	備 考
13:30 13:40	公式練習		成年男子 1000m 1組～2組 リレーのみ出場者
13:40 13:50	公式練習		成年男子 1000m 3組～8組 1000m補欠(34)
13:50 14:00	整 氷		●男子3000m Rオーダー締め切り(14:10)
14:00 14:10	公式練習		成年女子 1000m全員 (37)
14:10 14:20	公式練習		少年女子 1000m全員 (24)
14:20 14:30	公式練習		少年男子 1000m全員 (23)
	整 氷 (20分)		
14:50～15:11	1 成年男子 3000mリレー準々決勝	3	各組1・2位+2チーム
15:11～15:21	整 氷 (10分)		
15:21～15:45	2 成年女子 1000m予選	6	各組1・2位+各ブロック2名
15:45～15:55	整 氷 (10分)		
15:55～16:27	3 成年男子 1000m予選	8	各組1・2位
16:27～16:37	整 氷 (10分)		
16:37～17:01	4 少年女子 1000m予選	6	各組1・2位+各ブロック2名
17:01～17:11	整 氷 (10分)		
17:11～17:35	5 少年男子 1000m予選	6	各組1・2位+各ブロック2名
17:35～17:50	整 氷 (15分)		
17:50～18:06	6 成年女子 1000m準々決勝	4	各組1・2位
18:06～18:22	7 成年男子 1000m準々決勝	4	各組1・2位
18:22～18:22			
18:22～18:38	8 少年女子 1000m準々決勝	4	各組1・2位
18:38～18:54	9 少年男子 1000m準々決勝	4	各組1・2位
18:54～19:04	整 氷 (10分)		
19:04～19:12	10 成年女子 1000m準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
19:12～19:20	11 成年男子 1000m準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
19:20～19:28	12 少年女子 1000m準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
19:28～19:36	13 少年男子 1000m準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
19:36～19:46	公式練習		成年女子3000mリレーのみの出場者(10分間)
19:46～19:56	整 氷 (10分)		●男女3000m Rオーダー締め切り(14番の開始前まで)
19:56～20:00	14 成年女子 1000m B決勝	1	
20:00～20:04	15 成年女子 1000m A決勝	1	
20:04～20:08	16 成年男子 1000m B決勝	1	
20:08～20:12	17 成年男子 1000m A決勝	1	
20:12～20:16	18 少年女子 1000m B決勝	1	
20:16～20:20	19 少年女子 1000m A決勝	1	
20:20～20:24	20 少年男子 1000m B決勝	1	
20:24～20:28	21 少年男子 1000m A決勝	1	
	整 氷 (10分)		
20:38～20:52	22 成年女子 3000mリレー準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
20:52～21:06	23 成年男子 3000mリレー準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
※競技開始時間 以降の時間につ いては競技進行 状況により変更 があります。	競技終了後 少年女子・男子	成年女子・男子	1000mの表彰

□第2日目／2月2日（日）

時 間	種 目	組	備 考
8 : 00 8 : 10	公式練習		成年女子 500m全員 (36)
8 : 10 8 : 20	公式練習		成年男子 500m 1 組～3 組 500m補欠(23)
8 : 20 8 : 30	公式練習		成年男子 500m 4 組～8 組 (20)
8 : 30 8 : 40	整 氷		
8 : 40 8 : 50	公式練習		少年女子 500m全員 (24)
8 : 50 9 : 00	公式練習		少年男子 500m全員 (23)
	整 氷 (20分)		
9 : 20～9 : 35	24 成年女子 500m予選	6	各組 1・2 位 + 各ブロック 2 名
9 : 35～9 : 35			
9 : 35～9 : 55	25 成年男子 500m予選	8	各組 1・2 位
9 : 55～10 : 10	整 氷 (15分)		
10 : 10～10 : 25	26 少年女子 500m予選	6	各組 1・2 位 + 各ブロック 2 名
10 : 25～10 : 25			
10 : 25～10 : 40	27 少年男子 500m予選	6	各組 1・2 位 + 各ブロック 2 名
10 : 40～10 : 55	整 氷 (15分)		
10 : 55～11 : 05	28 成年女子 500m準々決勝	4	各組 1・2 位
11 : 05～11 : 15	29 成年男子 500m準々決勝	4	各組 1・2 位
11 : 15～11 : 15			
11 : 15～11 : 25	30 少年女子 500m準々決勝	4	各組 1・2 位
11 : 25～11 : 35	31 少年男子 500m準々決勝	4	各組 1・2 位
11 : 35～11 : 50	整 氷 (15分)		
11 : 50～11 : 55	32 成年女子 500m準決勝	2	各組 1・2 位が A 決勝、3・4 位が B 決勝
11 : 55～12 : 00	33 成年男子 500m準決勝	2	各組 1・2 位が A 決勝、3・4 位が B 決勝
12 : 00～12 : 05	34 少年女子 500m準決勝	2	各組 1・2 位が A 決勝、3・4 位が B 決勝
12 : 05～12 : 10	35 少年男子 500m準決勝	2	各組 1・2 位が A 決勝、3・4 位が B 決勝
12 : 10～12 : 20	公式練習		成年女子、成年男子リレーのみの出場選手(10分間)
12 : 20～12 : 30	整 氷 (10分)		●女3000mR 男5000mRオーダー締め切り(37番開始前まで)
12 : 30～12 : 33	37 成年女子 500m B 決勝	1	
12 : 33～12 : 36	38 成年女子 500m A 決勝	1	
12 : 36～12 : 39	39 成年男子 500m B 決勝	1	
12 : 39～12 : 42	40 成年男子 500m A 決勝	1	
12 : 42～12 : 45	41 少年女子 500m B 決勝	1	
12 : 45～12 : 48	42 少年女子 500m A 決勝	1	
12 : 48～12 : 51	43 少年男子 500m B 決勝	1	
12 : 51～12 : 54	44 少年男子 500m A 決勝	1	
12 : 54～13 : 14	整 氷 (20分)		
13 : 14 13 : 21	45 成年女子 3000mリレー B 決勝	1	
13 : 21～13 : 28	46 成年女子 3000mリレー A 決勝	1	
13 : 28～13 : 36	47 成年男子 5000mリレー B 決勝	1	
13 : 36～13 : 44	48 成年男子 5000mリレー A 決勝	1	
※競技開始時間 以降の時間につ いては競技進行 状況により変更 があります。	競技終了後 少年男女・成年男女500mの表彰 成年男女リレーの表彰		

ショートトラック競技入賞者

成年男子500m

大会記録41秒791 坂爪 里士(愛知県)2018年第73回大会(甲府)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	菊 池 哲 平	長 野 県	43.419	
2	横 山 大 希	愛 知 県	43.537	
3	河 合 健 朗	栃 木 県	43.614	
4	村 竹 啓 恒	岩 手 県	43.864	
5	田 平 修 大	福 岡 県	44.211	
6	丸 山 凜太郎	群 馬 県	44.278	
7	吉 田 啓 人	兵 庫 県	44.490	
8	齋 藤 駿	神奈川県	44.655	

成年女子500m

大会記録44秒813 酒井 裕唯(東京都)2013年第68回大会(江戸川)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	山 浦 美和子	長 野 県	45.706	
2	菊 地 萌 水	富 山 県	45.764	
3	横 山 世 奈	愛 知 県	45.880	
4	吉 田 風 歩	埼 玉 県	46.022	
5	山 名 里 奈	兵 庫 県	47.264	
6	小 池 佑 奈	長 野 県	47.508	
7	松 山 雛 子	神奈川県	47.584	
8	田 中 冴 実	山 梨 県	47.800	

成年男子1000m

大会記録1分25秒697 岩下 聖(福井県)2018年第73回大会(甲府)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	菊 池 哲 平	長 野 県	1.34.313	
2	三 澤 夏 陽	愛 知 県	1.34.405	
3	安 田 圭 希	新 潟 県	1.34.535	
4	小 山 陸	兵 庫 県	2.01.314	
5	新 井 雄 貴	長 野 県	1.58.828	
6	高 岡 健 太	大 阪 府	1.58.855	

成年女子1000m

大会記録1分32秒201 酒井 裕唯(岐阜県)2012年第67回大会(名古屋)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	菊 地 萌 水	富 山 県	1.40.730	
2	山 名 里 奈	兵 庫 県	1.40.771	
3	小 池 佑 奈	長 野 県	1.41.804	
4	齋 藤 仁 美	神奈川県	1.41.872	
5	田 中 冴 実	山 梨 県	1.57.865	

成年男子5000mR

大会記録7分02秒218 大阪府(三澤・上村・豊福・慶永)2017年第72回大会(長野)

順位	都道府県名	タ イ ム	備考
1	長 野 県	8.06.603	
2	神 奈 川 県	8.06.791	
3	福 岡 県	8.12.627	
4	大 阪 府	7.58.827	
5	群 馬 県	7.58.963	
6	山 梨 県	8.17.728	

成年女子3000mR

大会記録4分22秒789 長野県(小池・山浦・水野・菊池)2018年第73回大会(甲府)

順位	都道府県名	タ イ ム	備考
1	長 野 県	4.40.706	
2	兵 庫 県	4.43.135	
3	大 阪 府	4.45.507	
4	山 梨 県	4.46.170	
5	京 都 府	5.08.623	
6	群 馬 県	5.10.441	
7	北 海 道	5.10.455	
8	福 岡 県	5.10.544	

少年男子500m

大会記録42秒079 小池 克典(長野県)2018年第73回大会(甲府)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	井 上 幹 皓	福 岡 県	43.155	
2	古 川 翼	神奈川県	43.314	
3	林 航 輝	長 野 県	43.816	
4	阿 部 恵 大	群 馬 県	43.881	
5	許 佑 赫	兵 庫 県	43.695	
6	越 智 大 翔	愛 媛 県	44.715	
7	三 好 瑛 久	兵 庫 県	45.407	
8	伊 藤 隼 人	山 梨 県	59.231	

少年女子500m

大会記録45秒795 渡邊 碧(東京都)2018年第73回大会(甲府)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	中 島 未 莉	岡 山 県	48.287	
2	上 田 ゆりあ	大 阪 府	48.397	
3	大 川 夏 美	群 馬 県	49.044	
4	谷 本 陽	広 島 県	52.314	
5	中 山 うらら	神奈川県	49.031	
6	古 川 舞	神奈川県	49.133	
7	梶 瀬 あかり	群 馬 県	49.225	
8	田 中 愛 子	兵 庫 県	49.291	

少年男子1000m

大会記録1分28秒682 渡邊 瑠(東京都)2014年第69回大会(日光)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	許 佑 赫	兵 庫 県	1.33.330	
2	垣 波 武 蔵	福 岡 県	1.33.585	
3	古 川 翼	神奈川県	1.34.448	
4	越 智 大 翔	愛 媛 県	1.39.654	
5	林 航 輝	長 野 県	1.39.723	
6	清 水 悠 太	群 馬 県	1.39.877	
7	北 原 伊 吹	長 野 県	1.41.701	

少年女子1000m

大会記録1分31秒953 黒川 輝衣(東京都)2017年第72回大会(長野)

順位	氏 名	都道府県名	タ イ ム	備考
1	中 島 未 莉	岡 山 県	1.46.876	
2	上 田 ゆりあ	大 阪 府	1.47.308	
3	梶 瀬 あかり	群 馬 県	1.47.525	
4	谷 本 陽	広 島 県	1.47.549	
5	大 川 夏 美	群 馬 県	1.50.328	
6	古 川 舞	神奈川県	1.50.486	
7	田 中 愛 子	兵 庫 県	1.50.547	
8	塩 川 結 菜	静 岡 県	1.50.808	

フィギュア競技日程

日時	1月28日(火)	日時	1月29日(水)	日時	1月30日(木)	日時	1月31日(金)	日時	2月1日(土)	
7		7		7	00	7	00	7	00	
8	都道府県別 公式練習			8	25		30		30	
		①福岡県			8	50		00		00
		②岡山県				05		00		00
9		③広島県・奈良県			9	30		30		30
		整氷				55		45		45
		④兵庫県			9	10		00		00
		⑤大阪府				10		00		00
10		⑥京都府			10	25		00		00
		整氷				40		00		00
		⑦滋賀県・静岡県			11	05		00		00
11		⑧愛知県			11	25		00		00
		⑨山梨県・神奈川県				40		00		00
		整氷			12	05		00		00
12		⑩東京都			12	25		00		00
		⑪千葉県・栃木県				40		00		00
13	⑫茨城県			13	05		00		00	
	整氷				20		00		00	
	⑬宮城県・埼玉県			14	05		00		00	
	⑭岩手県・青森県				20		00		00	
14	⑮北海道			14	05		00		00	
	整氷				20		00		00	
15				15	05		00		00	
16				16	05		00		00	
17				17	05		00		00	
18				18	05		00		00	
19				19	05		00		00	
20				20	05		00		00	
21				21	05		00		00	
				22	05		00		00	

		</							

フィギュア入賞都道府県

成年男子

順位	都道府県名	選 手 名	順位	選 手 名	順位	個人順位計	競技得点
1	大 阪 府	友 野 一 希	1	須 本 光 希	3	4	24.00
2	兵 庫 県	山 隈 太一朗	5	渡 邊 純 也	7	12	21.00
3	福 岡 県	中 野 紘 輔	6	山 田 耕 新	10	16	18.00
4	愛 知 県	日 野 龍 樹	4	山 本 恭 廉	14	18	15.00
5	北 海 道	中 村 優	2	鎌 田 詩 温	17	19	12.00
6	東 京 都	鎌 田 英 嗣	8	國 方 勇 樹	12	20	9.00
7	神 奈 川 県	小 林 諒 真	9	唐 川 常 人	16	25	6.00
8	埼 玉 県	小 林 建 斗	11	神 戸 巧 輝	20	31	3.00

成年女子

順位	都道府県名	選 手 名	順位	選 手 名	順位	個人順位計	競技得点
1	福 岡 県	竹 野 比 奈	3	竹 野 仁 奈	5	8	24.00
2	東 京 都	松 原 星	4	永 井 優 香	7	11	21.00
3	愛 知 県	横 井 ゆは菜	2	大 庭 雅	11	13	18.00
4	兵 庫 県	坂 本 花 織	1	籠 谷 歩 未	14	15	15.00
5	滋 賀 県	野 口 望々花	6	井 上 晴 絵	17	23	12.00
6	京 都 府	磯 邊 ひな乃	9	十 倉 日 和	19	28	9.00
7	神 奈 川 県	三 澤 日向子	13	鈴 木 星 佳	18	31	6.00
8	山 梨 県	河 西 萌 音	10	藤 本 梨 乃	25	35	3.00

少年男子

順位	都道府県名	選 手 名	順位	選 手 名	順位	個人順位計	競技得点
1	岡 山 県	三 宅 星 南	1	木 科 雄 登	3	4	24.00
2	兵 庫 県	片伊勢 武	4	吉 岡 希	8	12	21.00
3	京 都 府	森 口 澄 士	6	森 田 真沙也	15	21	18.00
4	埼 玉 県	大 島 光 翔	5	大 中 惟 吹	17	22	15.00
5	滋 賀 県	本田ルーカス剛史	2	小 林 隼	22	24	12.00
6	東 京 都	菊 地 竜 生	7	藤 城 柊 治	20	27	9.00
7	広 島 県	鈴 木 零 偉	12	三 島 悠 生	16	28	6.00
8	大 阪 府	國 中 敬 太	10	清 水 晴 陽	19	29	3.00

少年女子

順位	都道府県名	選 手 名	順位	選 手 名	順位	個人順位計	競技得点
1	愛 知 県	荒 木 菜 那	1	笠 掛 梨 乃	4	5	24.00
2	東 京 都	川 畑 和 愛	2	平 金 桐	6	8	21.00
3	岡 山 県	三 宅 咲 綺	5	片 山 緋奈子	11	16	18.00
4	千 葉 県	吉 岡 詩 果	3	三 枝 知香子	21	24	15.00
5	大 阪 府	岩 野 桃 亜	9	滝 野 莉 子	15	24	12.00
6	福 岡 県	江 川 マリア	7	鴨 井 彬莉彩	18	25	9.00
7	京 都 府	本 田 望 結	10	前 野 百 花	16	26	6.00
8	北 海 道	加 藤 花 怜	14	三 善 友 奈	17	31	3.00



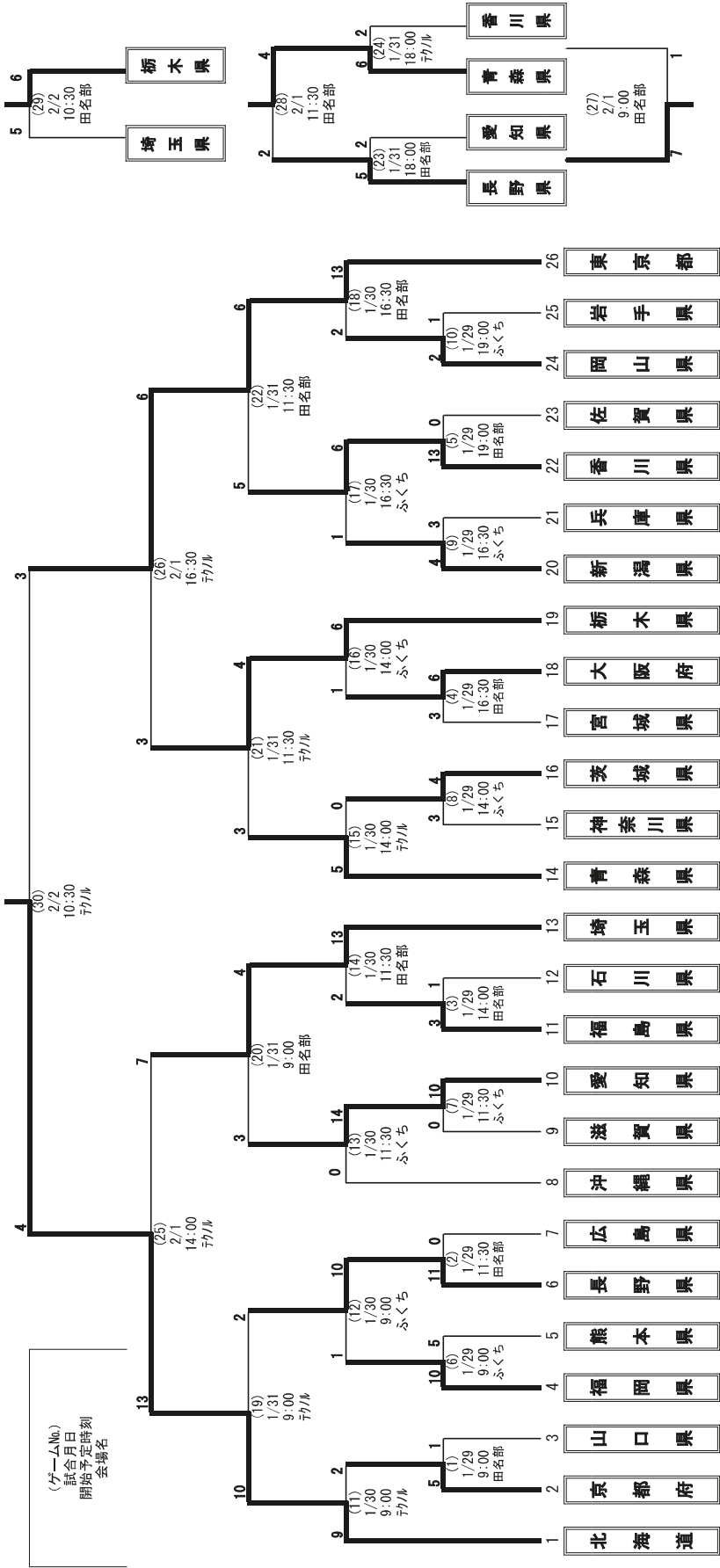
第75回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 総合成績一覧表

No.	種 別 順位得点 都道府県名	成 年 男 子		少 年 男 子		総合成績（天皇杯得点）			
		競技得点	順 位	競技得点	順 位	競技得点 合計	参加得点	合 計	順 位
1	北 海 道	40	1	40	1	80	10	90	1
2	青 森 県	20	5	20	5	40	10	50	4
3	岩 手 県						10	10	12
4	宮 城 県						10	10	12
5	秋 田 県						10	10	12
6	山 形 県						10	10	12
7	福 島 県						10	10	12
8	茨 城 県						10	10	12
9	栃 木 県	30	3	10	7	40	10	50	4
10	群 馬 県						10	10	12
11	埼 玉 県	25	4	35	2	60	10	70	3
12	千 葉 県						10	10	12
13	東 京 都	35	2	30	3	65	10	75	2
14	神 奈 川 県			25	4	25	10	35	6
15	山 梨 県						10	10	12
16	新 潟 県						10	10	12
17	長 野 県	15	6			15	10	25	7
18	富 山 県						10	10	12
19	石 川 県						10	10	12
20	福 井 県						10	10	12
21	静 岡 県						10	10	12
22	愛 知 県	10	7			10	10	20	9
23	三 重 県						10	10	12
24	岐 阜 県						10	10	12
25	滋 賀 県						10	10	12
26	京 都 府						10	10	12
27	大 阪 府			15	6	15	10	25	7
28	兵 庫 県						10	10	12
29	奈 良 県						10	10	12
30	和 歌 山 県						10	10	12
31	鳥 取 県						10	10	12
32	島 根 県						10	10	12
33	岡 山 県						10	10	12
34	広 島 県						10	10	12
35	山 口 県						10	10	12
36	香 川 県	5	8			5	10	15	10
37	徳 島 県						10	10	12
38	愛 媛 県						10	10	12
39	高 知 県						10	10	12
40	福 岡 県			5	8	5	10	15	10
41	佐 賀 県						10	10	12
42	長 崎 県						10	10	12
43	熊 本 県						10	10	12
44	大 分 県						10	10	12
45	宮 崎 県						10	10	12
46	鹿 児 島 県						10	10	12
47	沖 縄 県						10	10	12

アイスホッケー競技 最終結果

成年の部

優勝	北海道	第3位	栃木県	第6位	長野県
		第4位	埼玉県	第7位	愛知県
準優勝	東京都	第5位	青森県	第8位	香川県



試合会場		
テクノリル	テクルアイスバークハル	八戸市新井田西4丁目1-1
田名部	田名部記念アリーナ	八戸市河原木字蝦夷館4-3
ふくち	ふくちアイスアリーナ	三戸郡南部町苔米地字上根岸73-1

都道府県名		
ブロック	出場枠	出場枠
北海道	1	北海道
東北	3	岩手県、宮城県、福島県
関東	5	茨城県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
北信越・東海	4	新潟県、長野県、石川県、愛知県
ブロック		出場枠
近畿		4
中国・四国		4
九州		4
開催地		1
都道府県名		青森県
		滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県
		岡山県、広島県、山口県、香川県
		福岡県、佐賀県、熊本県、沖縄県

アイスホッケー競技 得点表

【成年の部】

【 1 回 戦 】

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(1)	京 都 府		0	2	3			5
	山 口 県		0	0	1			1

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(2)	長野県		5	2	4			11
	広島県		0	0	0			0

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(3)	福 島 県		1	1	1			3
	石 川 県		1	0	0			1

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(4)	宮 城 県		0	1	2			3
	大 阪 府		3	2	1			6

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(5)	香 川 県		3	5	5			13
	佐 賀 県		0	0	0			0

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(6)	福 岡 県		3	4	3			10
	熊 本 県		0	1	4			5

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(7)	滋 賀 県		0	0	0			0
	愛 知 県		3	4	3			10

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(8)	神奈川県		1	2	0	0	0	3
	茨 城 県		1	0	2	0	1	4

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(9)	新潟県		1	1	2			4
	兵庫県		3	0	0			3

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(10)	岡 山 県		0	0	2			2
	岩 手 県		0	1	0			1

【 2 回 戦 】

(11)	チーム	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	OVT	PSS	計
	北 海 道	5	3	1			9
	京 都 府	1	1	0			2

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(12)	福 岡 県		1	0	0			1
	長 野 県		5	4	1			10

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(13)	沖 縄 県		0	0	0			0
	愛 知 県		4	8	2			14

	ピリオド チーム	I	II	III	OVT	PSS	計
	福 島 県	1	0	1			2
(14)	埼 玉 県	1	7	5			14

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(15)	青 森 県		1	2	2			5
	茨 城 県		0	0	0			0

	ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム						
(16)	大 阪 府	0	1	0			1
	栃 木 県	1	3	2			6

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(17)	新 潟 県		0	0	1			1
	香 川 県		1	1	4			6

	ピリオド		I	II	III	OVT	PSS	計
	チーム							
(18)	岡 山 県		0	1	1			2
	東 京 都		5	4	4			13

【準々決勝戦】

(19)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	北海道	2	4	4			10
	長野県	1	1	0			2

(20)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	愛知県	1	2	0	0	0	3
	埼玉県	1	2	0	0	1	4

(21)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	青森県	1	1	1			3
	栃木県	2	0	2			4

(22)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	香川県	3	0	2	0		5
	東京都	1	2	2	1		6

【順位決定戦】

(23)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	長野県	2	2	1			5
	愛知県	2	0	0			2

(24)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	青森県	2	1	3			6
	香川県	0	1	1			2

【準決勝戦】

(25)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	北海道	3	7	3			13
	埼玉県	4	0	3			7

(26)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	栃木県	2	0	1			3
	東京都	1	3	2			6

【7・8位決定戦】

(27)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	愛知県	3	2	2			7
	香川県	0	1	0			1

【5・6位決定戦】

(28)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	長野県	0	2	0			2
	青森県	1	2	1			4

【3位決定戦】

(29)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	埼玉県	1	2	2	0	0	5
	栃木県	1	2	2	0	1	6

【決勝戦】

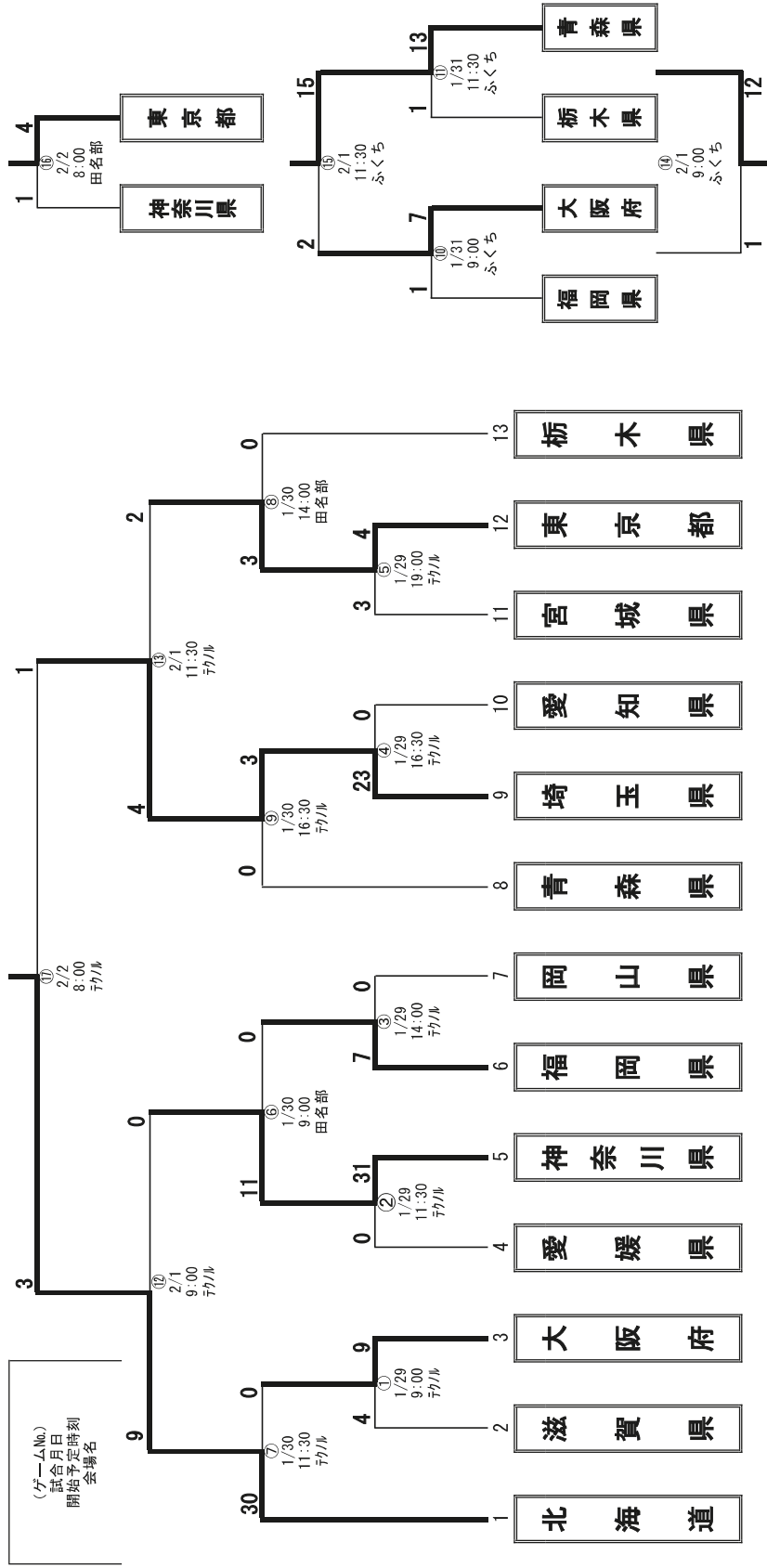
(30)	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	北海道	2	1	1			4
	東京都	1	1	1			3

アイスホッケー競技順位一覧表

順位	1	2	3	4	5	6	7	8
都道府県	北海道	東京都	栃木県	埼玉県	青森県	長野県	愛知県	香川県
競技得点	40	35	30	25	20	15	10	5

アイスホッケー競技

少年の部	優勝	北海道	東京都	大阪府
			第3位	第6位
			第4位	第7位
			第5位	第8位
	準優勝	埼玉県	奈良県	福岡県



試 合 場	
テクノル	テクノルアイスパーク八戸
田名都	田名都記念アリーナ
ふくち	ふくちアイスアリーナ
	三戸郡南部町 苔米地字上根岸 73-1

ブロック	出場枠	都道府県名	ブロック	出場枠	都道府県名
北海道	1	北海道	北信越・東海・近畿	3	愛知県、滋賀県、大阪府
東北	1	宮城県	中国・四国・九州	3	岡山県、愛媛県、福岡県
関東	4	栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県	開催地	1	青森県

アイスホッケー競技 得点表

【少年の部】

【 1 回 戦 】

①	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	滋 賀 県	1	2	1			4
	大 阪 府	0	2	7			9

②	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	愛 媛 県	0	0	0			0
	神 奈 川 県	12	9	10			31

③	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	福 岡 県	1	4	2			7
	岡 山 県	0	0	0			0

④	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	埼 玉 県	8	9	6			23
	愛 知 県	0	0	0			0

⑤	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	宮 城 県	0	1	2			3
	東 京 都	3	0	1			4

【 準々決勝戦 】

⑥	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	神 奈 川 県	4	2	5			11
	福 岡 県	0	0	0			0

⑦	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	北 海 道	10	15	5			30
	大 阪 府	0	0	0			0

⑧	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	東 京 都	1	2	0			3
	栃 木 県	0	0	0			0

⑨	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	青 森 県	0	0	0			0
	埼 玉 県	0	0	3			3

【 順位決定戦 】

⑩	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	福 岡 県	1	0	0			1
	大 阪 府	5	1	1			7

⑪	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	栃 木 県	0	0	1			1
	青 森 県	2	7	4			13

【 準決勝戦 】

⑫	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	北 海 道	0	5	4			9
	神 奈 川 県	0	0	0			0

⑬	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	埼 玉 県	1	3	0			4
	東 京 都	0	2	0			2

【 7・8位決定戦 】

⑭	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	福 岡 県	0	0	1			1
	栃 木 県	2	5	5			12

【 5・6位決定戦 】

⑮	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	大 阪 府	0	1	1			2
	青 森 県	3	5	7			15

【 3位決定戦 】

⑯	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	神 奈 川 県	1	0	0			1
	東 京 都	2	1	1			4

【 決 勝 戦 】

⑰	チーム \ ピリオド	I	II	III	OVT	PSS	計
	北 海 道	1	0	2			3
	埼 玉 県	1	0	0			1

アイスホッケー競技順位一覧表

順 位	1	2	3	4	5	6	7	8
都道府県	北海道	埼玉県	東京都	神奈川県	青森県	大阪府	栃木県	福岡県
競技得点	40	35	30	25	20	15	10	5



第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

招待者の範囲

大分類	中分類	小分類
県外	1 各都道府県	知事、議会議長
	2 次期開催県等	次期開催県の実行委員会事務局長、国体事務局長及び教育長 (1) 第75回本大会開催地（鹿児島県） (2) 第76回冬季大会開催地（愛知県、岐阜県） (3) 第74回冬季大会開催地（北海道）
	3 特別協力者	国体特別協力者
県内	1 報道関係	報道委員会委員、直接大会に協力した報道関係者
	2 県関係	スポーツ推進審議会委員
	3 市町村関係	市町村長、議会議長
	4 学校関係	大会協力学校長
	5 スポーツ団体関係	県中学校体育連盟会長、県高等学校体育連盟会長、 県スポーツ推進委員協議会会長、 会場地市町スポーツ推進委員協議会会長
	6 県・市町政功労者	県政及び会場地市町政に功績のあった者
	7 県・市町実行委員会	顧問、参与、監事、委員
	8 特別協力者	国体特別協力者

※上記から大会役員及び競技会役員を除く。

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

大会役員

(順不同・敬称略)

名 會 副 顧	譽 會	會長 會長 問	一俊	光雅	田藤	生藤	萩伊	泉	木	正	文	草	野	満	代	コー	ゼッター	ランド		
			明策	利裕	藤岡	遠森	鈴安	西川	大孝	地之	三猪	村谷	申千	吾春	ヨコ	佐々木	郁助	夫一		
			士夫	富竹	田妙	張平	安石	井村	孝惠	一朗	坂永	志堅	幸和	司彦	岡長	木崎	昭繁	久巳	志二	
			男子	行紀	木谷	宇中	高坂	元藤	信龍	一夫	永齊	本井	邦芳	治讓	茅牧	野羽	和賢	二人	新二	
			子裕	泰義	倉下	山設	佐松	崎池	直康	子弘	村若	月山	由柄	等美	鳥比	留間	英賢	康達	也章	
			信詞	貴彰	樂藤	内中	菊天	野永	浩好	吉人	丸末	柄久	重和	勝光	瀧川	北際	達照	雅勇	一夫	
			久雄	彰哲	村山	小前	湧宗	像里	寬豊	仁巳	佐南	間橋	清崇	文生	野和	藤越	雅信	利利	知美	
			浩司	正英	原松	末中	中袴	田形	壯登	也造	高藤	橋原	徹保	郎正	浪宮	越戸	勇利	和圭	夫人	
			也昇	秀茂	野下	眞栗	尾建	部藤	好彰	弘太郎	山市	野部	保和	巳彦	宮本	崎戸	利利	和圭	哲典	
			子弘	ゆり	原村	中井	建齋	口本	良孝	則尚	谷田	崎村	和	温卓	富永	澤井	和哲	典雅	寛司	
			弘行	正洋	岡田	浪坂	宮衣	笠中	英壯	一郎	岡高	念井	か	卓	園田	山邊	典雅	和治	孝基	
			文子	陽幸	門沢	城大	田平	藤本	博芳	淳崇	知確	井木	隆	弘	生奥	青木	和治	孝基	充英	
			男夫	一伸	形木	並宮	松駒	本形	芳	彦守	河赤	池田	隆和	義	青丹	貝羽	和治	孝基	英裕	
			一樹	秀誠	本	福山	老箕	月田	俊裕	治明	向城	本智	基	曉	木村	井井	和治	孝基	英裕	
			三晃	正喜	木	南森	中後	尾藤	文和	也祝	安岡	井谷	邦好	彦孝	林城	戸多	充英	英裕	光健	
			朗樹	秀恭	崎敷	分宮	寺松	尾田	具登	志夫	刈伊	藤原	健嘉	一朗	佐黒	川岡	光健	偉	民孝	
			輔之	通路	田澤	飯寺	山奈	良山	加	隆奈	堀山	部口	定純	男子	嶋亀	岡	光健	偉	民孝	
			佳孝	正周	山	青	大藤	原	誠	奈誠	山	立	純	訓	柳					

瀧津森長鈴大森石阿鈴井丸飯小麻福工夏山花川鶴山大寺越工豊杉有楠山田高茂神遠春	本島内島木川田井部木戸山泉川生士藤堀谷田崎田前藤川澤賀美本部橋里山藤	寛淳之保留久三彦作一一敬三也門洋直治康一文介悟貴知明也悦春司晴子行馨一也毅志昭德	大木和水小笠福山谷田河土越渡山春工蛭和高関安田畠鳴田菊山町菊田金小原佐安江戸	島村嶋野原田本本口本佐宗邊口山藤沢田橋藤部山海池田地中向田木達渡塚	理次延明直富正義英忠孝智祥豪兼正寛修晴定敬惠順憲多喜直公泰一悦高光	森郎寿久樹一博憲隆典雄昌樹義志光勝司一良美男一郎造太郎二子英宏啓力雄弘栄夫学	江滝成堀吉渡鴻杉川山仁神中中三反阿吉鹿洪吉齊青松櫛丸山青中鉄秋村高山藤増大橋	渡沢田村辺本勝田坂出村村園部田内谷俣藤水田引井本山沢永田井橋本江井沢本	聡達美幸義達平啓吉時法広絹哲悦ユキ知祐洋正佳紀昇剛陽国陽精	徳求晋也榮子男久治太二伸亨広道訓悦恵博一洋爾勝子裕也治子紀紀之士志子光子二	高田本達須大馬後大牧中村青甲玉齊木伊一岡谷熊田今小三柏野橋櫻谷山内齋岡澤蝦	橋部間増佐野場藤村野永岡木斐城藤明吹戸元川谷中橋木澤本庭村内野藤村内名	千匡正拓喜元潤秀明廣嗣章隆デ二飛和人一信富行政雄	鶴代行也夫裕郎斎章次樹政泰博一一人一人一滿博規三司樹男司久隆税栄久興武
--	------------------------------------	--	--	-----------------------------------	-----------------------------------	--	--	-------------------------------------	-------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------

委員長
委員
委員
副委員長

委員

三憲一力孝子浩隆咲弘子弘郎司生久祐司男輔史治徹子二郎則
敬光幸益敬美純優康伊裕信正大斗敬博哲陽耕遼宏
野本野田永本山岡田嶋本間喜崎口原藤中木中石田木友
大根菊小柴松山米市坂吉大山佐舟金田西衛山鈴田大川鈴野

誠二貴朗一郎文郎行生雄一治明修人博男博彦子三梢也太郎陽
野浩哲喜俊哲輝達悦聖義英明和篤雅贊健城澤
野木原丸藤菌木田橋原司野馬山藤石倉東口藤城澤
平鈴川菅松加中堂村岡原高杉庄高對鍵後丸山前川佐部結小

一登郎子一緒子夫聡行馨利二夫博昇弘次美正人介裕則輝実
政尚利有礼奈日出秀昌裕睦忠修亜好泰太寿克雄
部坂井橋田田本植山田山橋熊代下段倉富井井堀谷
名飯坂高三石辻根菊山植小山畠高藤網日中小保永川内洪河原木

子嘉子典久久二里哉孝和美宏之毅亮昭子悟樹俊介伸
純一基保克幸章友拓芳信正孝剛直敏眞理圭政雅雄
井戸田丘村山祝口崎泉藤田川内藤野藤信井川
今三松森谷桑小野野小森安西岸木佐東東伊越國横浅

(令和2年1月1日現在)

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

大会役員編成基準

団体名 役職名	公益財団法人 日 本 スポーツ協会	文部科学省	青 森 県	公益財団法人 青森県 スポーツ協会	実施競技団体	都 道 府 県	公益財団法人 日本アンチ・ ドーピング機構
名誉会長		大 臣					
会 長	会 長						
副 会 長	副会長 専務理事	スポーツ庁 長 官	知 事	会 長			
顧 問	名誉会長	副大臣	県選出衆参 両議院議員		公益財団法人 日本スケート 連盟会長 公益財団法人 日本アイス ホッケー連盟 会 長	体育（スポー ツ）協会会長	
	最高顧問	大臣政務官	県議会議長				
	顧 問	事務次官	教育長				
	理 事	文部科学審議 官	公安委員長				
	監 事	大臣官房長	市長会会長				
参 与	評議員	スポーツ庁 次長	町村会会長 市議会議長会 会長 町村議会議長 会会長 スポーツ推進 審議会会長				
		スポーツ庁 審議官	県議会議員	副会長			
		スポーツ庁ス ポーツ統括官	副知事				
		スポーツ庁 政策課長	教育委員				
		スポーツ庁 健康スポーツ 課長	会計管理者				
委 員 長		スポーツ庁 参事官（地域 振興担当）	関係部長				
			警察本部長				
			実行委員会 常任委員				
	国民体育大会 委員長						
	副委員長	事務局長	実行委員会 事務局長				
総務委員	国民体育大会 委員会委員		実行委員会 事務局次長	専務理事			
	国体推進部長 国体課長		スポーツ健康 課 長				
委 員	国体競技運営 部会委員 事務局担当者	スポーツ庁 担当官	実行委員会事 務局各部長				事務局長

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

スケート競技会役員

(順不同・敬称略)

名誉会長	小林 眞	小檜山 吉 紀		
会長	長 島 昭 久			
副会長	原 田 悦 雄	山 本 剛 志	荒 川 静 香	田名部 和 彦
顧問	米 内 正 明			
	壬 生 八十博	船 見 亮 悦	伊 藤 博 章	富 田 敦
	畠 山 五 郎	田名部 和 彦	竹 田 浩 久	赤 間 弘 記
	岩 谷 政 良	奥 山 誠 治	佐 藤 英 寿	井 上 忍
	星 野 仁	狩 野 浩 志	田 口 勝 也	松 井 勝
	長 島 昭 久	宇 垣 静 子	堀 内 光 一郎	梶 木 太
	林 泰 章	中 川 忠 昭	下 沢 佳 充	土 田 きみ子
	青 砥 忠 雄	神 田 真 秋	内 田 かなめ	水 野 正 敏
	谷 口 剛	田 中 英 之	森 本 靖 一郎	高 原 利 雄
	水 田 静 雄	山 下 直 也	岩 本 章 嗣	森 山 健 一
	小 嶋 光 信	大 中 恒 男	河 井 美 和子	西 京 子
	園 田 壽 明	金 子 公 子	竹 尾 祐 幸	松 尾 和 子
	鎌 形 和 生	横 田 尚 哉	三 宅 文 子	坂 元 士 郎
	玉 川 文 修	室 龍		
参 与	夏 坂 修 則	山之内 悠 龍	間 盛 仁 之	高 橋 正 人
	中 村 益 則	吉 田 洸 龍	高 橋 貴 之	田名部 裕 美
	久 保 しょう	久 保 百 恵	岡 田 英 哉	日 當 正 男
	高山 元 延	三 浦 博 司	上 条 幸 哉	苔米地 あつ子
	田 端 文 明	工 藤 悠 平	藤 川 優 里	小屋敷 孝 行
	森 園 秀 一	豊 田 美 好	松 橋 知 世	寺 地 則 之
	冷水 保 洋	伊 藤 圓 子	山 名 文 淳 一	立 花 敬 博
	坂 本 美 幸	五 戸 定 博	吉 田 卓 也	太 田 光 義
	小比類 孝 子	田 嶋 孝 安	佐々木 正 義	下 山 明 彦
	遠 藤 泰 盛 男	瀬 崎 雅 弘	澤 口 洋 子	加 澤 雅 彦
	西 村 盛 一	堀 光 彌 一	春 日 喜 一郎	森 庭 文 武
	馬 場 騎 真知雄	山 本 育 子	堤 輪 節 肇	大 沢 めぐみ
	築 瀬 宏 一	油 川 靖 透	武 立 花 悦 雄	黒 野 祐 子
	本 江 政 一	相 沢 平 行	米 田 悦 昇 覚	大 坪 秀 一
	田名部 京 徳	中 村 勝 亮	原 田 剛 志	石 亀 純 也
	磯 嶋 美 久	佐々木 るり子	山 本 敏 徳	伊 藤 徹 潤
	上 野 統 優	佐々木 徹 二	関 部 容 寛	澤 田 悟 雄
	山 本 常 修 一	田面木 恭	別 部 四 樓	川 端 忠 雄
	高山 内	橋 本	佐々木	武 山

委員長
委員
副委員長

畑工柳目天河原堤河原木伊酒堀田宮堀三小笠坂小武十千野田田	中藤谷澤野木東井内名永江浦原本向山内葉澤部所	捷俊伸好喜一実仁哉子彦明顕隆修克力靖苗誠靖一	郎夫透一人実仁哉子彦明顕隆修克力靖苗誠靖一	瀧畠木岡内堀阿湯清宇藤管戸岡尾金新昆嶋西早	澤山村沼野内部田水垣井田沼崎浜山脇澤狩	克行富士宏主光鉄宏静康金宏光康奈賀洋寿嘉	次雄夫洲税一郎雄淳保子男宏作洲男光緒子三明悦	河原木森小向川野小佐新上竹佐々堤河村松小笠原西田吉	浩裕男力史二子稔彦太郎美二一郎美子久訓嘉雄弘三	木上澤岡濱大寺北畠長仁三村南橋荒加西小山	村上田内沼宏勉寛悟浩夫雄典直利孝伸子聡治郎良子	三善和興洲雅欣睦和恭光匡義裕幸睦	男四郎興洲勉寛悟浩夫雄典直利孝伸子聡治郎良子
------------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	----------------------	------------------------	---------------------------	-------------------------	----------------------	-------------------------	------------------	------------------------

(令和2年1月1日現在)

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会

スケート競技会役員編成基準

団体名 役職名	八戸市 三沢市	公益財団法人 日本スケート 連盟	青森県スケート 連盟	八戸市体育協会	各都道府県 スケート連盟	公益財団法人日本 アンチ・ドーピング 機構
名誉会長	市長					
会長		会長				
副会長	実行委員会 事務局長	副会長	会長	会長		
顧問	議会議長 教育長	顧問			会長	
参 与	議会議員 教育委員 副市長 会計管理者 関係部長 実行委員会 常任委員	役員の中で特に 必要と認めた者	顧 問 参 与 副会長	名誉顧問 顧 問 副会長		
委 員 長		専務理事				
副委員長	実行委員会 事務局次長		理事長			
委 員	実行委員会 事務局各部長	理 事	理 事	理事長 専務理事 常務理事		事務局担当者

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

アイスホッケー競技会役員

(順不同・敬称略)

名誉会長	小林眞	工藤祐直			
副会長	水野明久	大越孝彌	榛澤務	細谷康次	
顧問	原田悦雄	大米内正明	伊藤博章	高橋力也	
	橋本昭一	夏堀文孝一	谷上憲淳	猪野信	
	壬生弘次	橋本昭一	佐藤憲保	堀口卓司郎	
	石川雄策	荒井進文	佐々木康雄	内田悦嗣	
	今嶋一生	亀山幸太	長田眞充	杉本憲繁	
	大細谷次夫	藤木上浩太郎	下沢佳春	竹沢祥一	
	宮下富修	石黒正彦	中川正実	渡辺文喜	
	伊藤永峯	岡崎幸生	福西嘉博	佐々木史郎	
	橋本徹繁	木下嘉一郎	大本多高子	中田宗治	
	園山欣貞	逢坂幸三	押川礼生	上田貢太郎	
	宮川正誠	南里洋誠一郎	間盛仁之	桑原正彦	
	井原修則	黒之内悠龍	玉川盛貴	砂川隆禧	
参	夏坂益	吉田洸百恵	高橋英哉	高橋正人	
	中村しょう	久保博司	岡上幸里	田名部裕美	
	久山元延	三浦悠平	藤川優知	日當あつ子	
	高田文明一	工藤美子	松橋文世	苫米地孝行	
	田園保洋	伊藤圓定	山名淳一	寺地敬一	
	冷水美愛	五戸啓吾	吉保利樹	沼畑俊嘉	
	坂本典男	松田文雄	久野耕太郎	夏山賢司	
	坂本憲司	滝中館稔	西工藤正孝	根市勲	
	八木又彦	川守庭文	築境久孝	油川育俊	
	馬場節子	大山田和祐	田名部政宏	佐藤平悦	
	西館た昭	野嶋美徳	中々木勝弘	原田昇雄	
	佐々坪秀一	磯上野統久	佐々木匡省	渡辺入忠	
	大石純悦	石橋正誠	田名部忠男	金賀沢清	
	石工一	吉田誠夫	時田裕	戸賀沢一男	

委員長
委員
副委員長

上澤宮河原木足佐長山小笠鈴高田小大北本河箱小笠西田吉	田内尾村立藤南之内原木島部山間村田畑成	善和博功深哲光敏健良公貴克圭英和幸	四興一実一雪生彰則宏一雄一広哲士彦介嘉雄弘三	郎興一実一雪生彰則宏一雄一広哲士彦介嘉雄弘三	柳目夏中石末服菊龜夏石栃石岡西上高下加西小山	谷澤堀嶋井吉部池本堀藤木橋田村橋谷藤村柴崎	透伸典正直昌巖好健壽榮幸一大一直幸一睦	木岡高北鈴山小山田志佐大澤池駒種三接千野田所	村沼橋村川木口田島村木保口田津市浦待葉澤部所	富士宏昇太道叔泰幹俊克正誠吉英正紀靖一	夫洲士槇郎夫彦二壽昌男介男司勉章学誠美子高史	森百佐高芳龜我中工松坂小田大金丸嶋西早	山東木橋野本滿村藤尾本西部前浜谷脇澤狩	貞英史昇和武猛博久史智拓洋善洋寿嘉	男二郎士俊克志男孝由直人之視子一三明悦
----------------------------	---------------------	-------------------	------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	---------------------	------------------------	------------------------	---------------------	------------------------	---------------------	---------------------	-------------------	---------------------

(令和2年1月1日現在)

第75回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会

アイスホッケー競技会役員編成基準

団体名 役職名	八戸市 南部町	公益財団法人日本 アイスホッケー 連 盟	青森県 アイスホッケー 連 盟	八戸市体育協会	各都道府県 アイスホッケー 連 盟	公益財団法人日本 アンチ・ドーピング 機 構
名誉会長	市 長 町 長					
会 長		会 長				
副 会 長	実行委員会 事務局長	副会長	会 長	会 長		
顧 問	議会議長 教育長	顧 問			会 長	
参 与	議会議員 教育委員 副市長 副町長 会計管理者 関係部長 実行委員会 常任委員	役員の中で特に 必要と認めた者	名誉会長 顧 問 参 与 副会長	名誉顧問 顧 問 副会長		
委 員 長		専務理事				
副委員長	実行委員会 事務局次長		理事長			
委 員	実行委員会 事務局各部長	理 事	理 事	理事長 専務理事 常務理事		事務局担当者

スピードスケート競技役員

(順不同、敬称略)

イベントコーディネーター	濱 野 勉	橋 本 恭 二		
レ フ ェ リ ー	小 向 力	戸 田 金 作		
アシスタントレフェリー	平 田 政 之	足 立 利 通		
ス タ ー タ ー	畠 山 邦 雄	細 井 里 司	鈴 木 利 英	三 浦 光 直
アシスタントスターター	畠 山 邦 雄	細 井 里 司	鈴 木 利 英	陣 場 勇 太
チーフ・フィニッシュラインジャッジ	松 沢 光 彦			
フィニッシュラインジャッジ	吉 田 勝	矢 島 友 喜	星 野 雅 信	江刈内 喜 章
	原 成 剛	佐々木 則 次	川 口 正 悟	妻 神 弘 明
フォトフィニッシュジャッジ	鈴 木 正 樹	菊 池 敬	江 渡 光 夫	佐々木 聖 明
チーフ・タイムキーパー	木 村 三 男			
オートマチックタイムキーパー	村 山 幸 貴	村 崎 匡 利		
アシスタント・チーフタイムキーパー	小 嶋 浩 悦			
マニュアルタイムキーパー	渡 辺 敏 彦	阿 部 良	浅 坂 進	寺 下 勝 正
	石 岡 守	中 嶋 祥 大	藤ヶ森 誠 司	袴 田 憲 司
チーフ・ラップスコアラール	畑 中 捷 郎			
ラ ッ プ ス コ ア ラ ー	林 徹 哉	遠 藤 幸 太 郎	岡 田 英	
チーフ・トラックジャッジ	高 橋 成 豪			
ト ラ ッ ク ジ ャ ッ ジ	駿 河 信 也	大 橋 通 康	上 田 勝 人	佐々木 幸 雄
(コーナージャッジ)	金 浜 康 光	大 西 友 則	池 田 晋 一 郎	赤 坂 遼
	村 山 翔 威	山 日 誠 一		
責 任 先 頭 判 定 主 任	中 田 敏 彦			
責 任 先 頭 判 定 員	高 村 高 夫	佐々木 通 喜	高 山 浩 之	横 山 孝 夫
責 任 先 頭 表 示 員	曾 我 健 二	松 倉 弘 明	小笠原 修	西 舘 誠 夫
リレーゾーン監察員	曾 我 健 二	佐々木 通 喜	高 山 浩 之	横 山 孝 夫
	江刈内 喜 章	中 田 敏 彦		
リレーゾーン管理員	高 村 高 夫	中 島 進	渡 辺 敏 彦	阿 部 良
記 録 員 長	仁 科 恭 典			
記 録 員	杉 本 健 一	笹 原 幸 雄	木 村 清 隆	原 初 美
ア ナ ウ ン サ ー	管 宏	太 田 慶 子		
召 集 主 任	高 山 敏 昌			
召 集 員	原 千 賀 子	小 芝 直 彦	高 山 環 奈	
総 務 主 任	岡 沼 宏 洲			
総 務 員	松 橋 均	瀧 澤 克 次	中 島 進	田名部 和 彦
整 氷 技 術 員	エスプロモ株式会社			
総 合 成 績 計 算 員	柴 田 政 秀	太 田 世 主 志		
バ ッ ジ テ ス ト 員	橋 本 伸			
気 象 観 測	武 山 忠 雄	小 向 猛 彦		
表 彰 主 任	佐々木 四 樓			
表 彰 担 当	蛭 子 公 夫	村 山 通 久		

ショートトラック競技役員

(順不同、敬称略)

イベントコーディネーター	石 見 嘉 友
レ フ ェ リ ー	新 田 俊 彦
アシスタントレフェリー	畑 則 好 堀 江 倫 顕 岩 下 清 人
ス タ ー タ ー	細 岡 明 寿 鎗 木 文 夫
コンペチターズスチュワード	小 倉 聡 岩 澤 嗣 夫
ヒートボックススチュワード	三本木 建 雄 小 倉 明 子
フォトフィニッシュジャッジ	鷹左右 誠 菊 池 敬
チーフ・フィニッシュラインジャッジ	黒 田 幹 也
フィニッシュラインジャッジ	藤ヶ森 誠 司 下 村 将 嘉 木 村 佳 憲
チーフ・タイムキーパー	河原木 浩
タ イ ム キ ー パ ー	袴 田 優 樹 村 上 一 柳 町 享 大 塚 優 樹
オートマチックタイムキーパー	白 取 鐵 男
ラ ッ プ ス コ ア ラ ー	大 杉 康 幹 澤 田 可 和
ラ ッ プ レ コ ー ダ ー	佐々木 幸 雄
ア ナ ウ ン サ ー	永 岡 英 之
トラックステュワード	松 橋 浩 幸 西 谷 成 昭 小 山 莉 奈 上 原 茂 人 新 海 晴 奈 小 口 絵 理
V T R カ メ ラ マ ン	山 田 琢 也
記 録 長	大 橋 規 亨
記 録 員	北 村 長 一 高 山 孝 子 妻 神 博 明
総 務 員	南 館 義 孝 村 崎 匡 利 堤 喜一郎
製 氷 技 術 員	三沢アイスアリーナ職員
バ ッ ジ テ ス ト 委 員	南 館 義 孝
表 彰 担 当	南 館 義 孝 村 崎 匡 利 堤 喜一郎
競 技 補 助 員	三沢スケート協会

フィギュア競技役員

(順不同、敬称略)

競 技 委 員 長	伊 東 秀 仁						
競 技 副 委 員 長	阿 部 鉄 雄	山 崎 弘 雄					
技 術 代 表	鈴 木 民 生						
副 技 術 代 表	新 山 奈緒子						
レ フ ェ リ ー	久保田 雅 子	西 京 子					
ジ ャ ッ ジ	富 樫 惣 一	安 藤 美和子	高 橋 眞喜子	岡 庭 美 枝			
	京 田 猛	昌 子 裕	竹 内 明 美	船 橋 美 結			
	鶴 田 渚	武 田 佳 織					
テクニカル・コントローラー	安 藤 陽 子	新 田 学					
テクニカル・スペシャリスト	河 井 雅 子	吉 田 周 生	川 合 眞 一	松 橋 由香子			
データ・リプレイオペレーター	伊 澤 晃	野 口 沙 里	飯 田 裕 貴				
総 務 係	麻 本 智 幸						
進 行 係	柿 本 和 枝						
放 送 係	村 山 満利子	田名部 賀 子	東 淳 子				
音 楽 係	昆 賀 子	藤 田 優 子	小 島 久美子	鳴 海 久美子			
計 時 係	伊 藤 房 子	太 田 遥 貴	木 村 英 美	植 村 政 子			
審 判 係	荒 谷 裕 子	赤 坂 まゆみ					
選 手 ・ 受 付 係	坂 本 佳 子	本 田 敦 子	松 田 訓	磯 島 康 総			
記 録 ・ 広 報 係	坂 本 明 美	木 村 真 人	乗 上 尚 子				
表 彰 係	麻 本 智 幸	畠 山 行 雄	本 田 敦 子	乗 上 正 樹			
整 氷 ・ 会 場 係	小 坂 春 代	伊 山 文 敏	松 井 紅 美	後 村 恵			

アイスホッケー競技役員

(敬称略・順不同)

[illegible]

	橘 一 馬 秋 山 哲 哉 中 里 文 江 田 村 美 穂
	西 谷 柊 平
(オフィシャル5班)	獅子内 勉 佐々木 真 一 大 崎 俊 夫 田 邊 肇
	花 田 肇 磯 島 康 総 中 野 悟 澤 邊 宏 之
	関 口 孝 寿 相 模 将 喜 畑 内 康 徳 木 村 祐 輔
	福 澤 紗 紀 上 村 圭 吾 鈴 木 一 真 佐々木 孝 之
	上 野 航
(オフィシャル6班)	古 舘 圭二郎 中 村 和 男 佐々木 慎太郎 田 村 智 一
	佐々木 大 輔 中 田 宏 一 大 嶋 恵 太 松 橋 和 希
	吉 田 一 真 田 村 和 也 沖 澤 拡 相 馬 祐 希
	大 渡 泰 嘉
整 氷 技 術 員	エスプロモ株式会社 田名部記念アリーナ運営委員会
	一般財団法人南部町健康増進公社
競 技 補 助 員	青森県立八戸高等学校 青森県立八戸西高等学校
	青森県立八戸工業高等学校 青森県立八戸商業高等学校
	八戸学院光星高等学校 八戸工業大学第一高等学校
	南部町アイスホッケー協会



第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・

No	区分 都道府県	本 部 役 員							スピード					
		団 長	副 団 長	総 監 督	総 務	顧 問	ド ク タ ー ト レ ー ナ ー	計	監 督	成 年		少 年		計
										男子	女子	男子	女子	
1	北海道	1		2	4		1	8	4	8	8	8	8	36
2	青森県	1	1	1	1		1	5	(1) 2	8	7	6	4	27
3	岩手県	1	1	1	4	3	(1) 3	13	4	4	6	8	4	26
4	宮城県	1	2	1	1			5	(1) 3	3	2	3	2	13
5	秋田県	1	2	1	1	3	1	9	2			1	1	4
6	山形県	1	1	1	4		1	8	3	6	5	7	5	26
7	福島県	1	1	2	4			8	2	5	5	1	4	17
8	茨城県	1	2	1	1	4	1	10	2		2	2	5	11
9	栃木県	1	1	1	2	5		10	2	4		2	1	9
10	群馬県	1	1	1	2	4	1	10	4	8	6	8	8	34
11	埼玉県	1	2	1	1	1		6	(1) 2	7	4		2	15
12	千葉県	1		1	3	1	1	7	1	5	1			7
13	東京都	1	1	1	2	5	2	12	1	1				2
14	神奈川県	1	2	1			1	5	2	5	6		4	17
15	山梨県	1	1	1	3		2	8	4	8	5	5	7	29
16	新潟県	1	3	1	2	4		11						0
17	長野県	1	2	1	17	9	2	32	4	8	8	8	8	36
18	富山県	1		1	1	2		5	1	1				2
19	石川県	1		1	2	5	1	10						0
20	福井県	1	1	1	2	2		7	3	2	1			6
21	静岡県	1	1	1	1	3	1	8	1				1	2
22	愛知県	1	2	1	3		1	8	1	2				3
23	三重県	1	1		2		1	5	(1) 1	4		1		6
24	岐阜県	1	1	1	1	4		8	3	4	1	7	4	19
25	滋賀県	1	1	1			1	4	1	1				2
26	京都府	1	1	1	3		1	7	1	1				2
27	大阪府	1	1	1	3	1		7						0
28	兵庫県	1	5	1	2		1	10						0
29	奈良県							0						0
30	和歌山県							0						0
31	鳥取県							0						0
32	島根県	1			1		1	3						0
33	岡山県	1		1	6		2	10						0
34	広島県	1		1	3	2		7						0
35	山口県	1	1	1	1		1	5						0
36	香川県	1		1	2		1	5						0
37	徳島県	1			2		2	5	1	1				2
38	愛媛県	1			2			3	1		1			2
39	高知県							0						0
40	福岡県	1	1	1	1	4	1	9						0
41	佐賀県	1			3		1	5						0
42	長崎県							0						0
43	熊本県	1			2		1	4						0
44	大分県	1	1	1	2			5						0
45	宮崎県							0						0
46	鹿児島県	1			2			3	1	1				2
47	沖縄県	1		1	1			3						0
合 計		41	40	36	100	62	(1) 34	313	(4) 57	97	68	67	68	357

※1 和歌山県、鳥取県、高知県、長崎県、宮崎県は不参加。

※2 () 内のドクターは総務兼務のため、カウントしない。また、監督数は専任のみとし、() 内の選手兼監督はカウントしない。

アイスホッケー競技会 参加人員一覧表

選手・監督																合計	視察員	総計
ショートトラック						フィギュア					アイスホッケー							
監督	成年		少年		計	監督	成年		少年		計	監督	成年男子	少年男子	計			
	男子	女子	男子	女子			男子	女子	男子	女子								
2	1	4	1	1	9	3	2	2		2	9	2	16	16	34	96		96
1		1			2	1			2	2	5	2	16	16	34	73		73
1	1				2	1		2	2		5	1	16		17	63	3	66
					0	1				2	3	2	16	16	34	55		55
					0						0				0	13		13
					0						0				0	34		34
					0						0	1	16		17	42	3	45
					0	3	2	2	2	2	11	(1)	16		16	48		48
1	1		2	2	6	2		2		2	6	2	16	16	34	65		65
1	5	4	2	2	14						0				0	58		58
1		1			2	3	2		2	2	9	2	16	16	34	66	3	69
					0	2		2	2	2	8				0	22	3	25
2	1		1		4	4	2	2	2	2	12	2	16	16	34	64	3	67
(1) 1	5	3	2	2	13	3	2	2	2		9	2	16	16	34	78	3	81
(1) 1	4	4	1	1	11	1		2			3				0	51		51
1	1				2						0	1	16		17	30		30
2	5	5	2	2	16						0	1	16		17	101		101
1		1			2						0				0	9		9
1	1				2						0	1	16		17	29	3	32
1			1		2						0				0	15	3	18
1				2	3	1				2	3				0	16		16
2	5	2		1	10	2	2	2	2	2	10	2	16	14	32	63	20	83
					0						0				0	11		11
					0						0				0	27	2	29
1	5		1	2	9	3	2	2	2		9	2	16	16	34	58		58
2	5	4			11	4	2	2	2	2	12	1	16		17	49	3	52
2	5	5	2	1	15	4	2	2	2	2	12	2	16	16	34	68		68
4	5	4	2	2	17	4	2	2	2	2	12	1	16		17	56	3	59
1	1				2	1		2			3				0	5		5
					0						0				0	0		0
					0						0				0	0		0
1	1		1		3						0				0	6		6
1		1		2	4	4	2	2	2	2	12	2	16	7	25	51		51
3	1	2	1	2	9	2			2	2	6	1	16		17	39		39
					0						0	1	16		17	22		22
					0						0	1	16		17	22		22
					0						0				0	7		7
1			1		2						0	1		9	10	17		17
					0						0				0	0		0
(1) 3	5	5	2	1	16	4	2	2	2	2	12	2	16	12	30	67	3	70
1	1				2						0	1	15		16	23		23
					0						0				0	0		0
2	3	1	1	1	8						0	1	16		17	29		29
1	1				2						0				0	7		7
					0						0				0	0		0
					0						0				0	5	3	8
					0						0	1	16		17	20		20
(3) 43	63	47	23	24	200	53	24	32	30	32	171	(1) 38	415	186	639	1680	58	1738

大会参加者数

1 本部役員及び監督・選手別 参加人数

(単位：人)

区 分	第75回	第74回	第73回		第72回	第71回
	氷都新時代！ 八戸国体	イランカラッテ くしろさっぽろ 国体	富士の国 やまなし国体 (スケート)	氷闘！かながわ ・よこはま国体 (アイスホッケー)	ながの 銀嶺国体	希望郷 いわて国体
本部役員	313	317	281	178	324	321
監督・選手	1,367	1,428	761	643	1,375	1,355
合 計	1,680	1,745	1,042	821	1,699	1,676

2 競技種目別 参加人数

(単位：都道府県、人)

競 技	第75回		第74回		第73回				第72回		第71回	
	氷都新時代！ 八戸国体		イランカラッテ くしろさっぽろ 国体		富士の国 やまなし国体 (スケート)		氷闘！かながわ ・よこはま国体 (アイスホッケー)		ながの 銀嶺国体		希望郷 いわて国体	
	参加都道 府県数	監督・選手	参加都道 府県数	監督・選手	参加都道 府県数	監督・選手	参加都道 府県数	監督・選手	参加都道 府県数	監督・選手	参加都道 府県数	監督・選手
スケート	39	728	41	779	42	761	—	—	41	719	42	705
スピード	27	357	27	369	27	370	—	—	26	348	25	351
ショートトラック	29	200	36	243	36	225	—	—	32	207	32	194
フィギュア	21	171	21	167	21	166	—	—	21	164	22	160
アイスホッケー	27	639	27	649	—	—	27	643	26	656	27	650
合 計	42	1,367	43	1,428	42	761	27	643	44	1,375	44	1,355

3 役 員

(単位：人)

競 技 会		区 分		役 員 数
大会役員				394
スケート競技会	競技会役員			230
	競技役員	スピード		81
		ショートトラック		41
		フィギュア		55
	計			407
アイスホッケー競技会	競技会役員			226
	競技役員	アイスホッケー		150
	計			376
合 計				1,177

4 報道員・視察員

(単位：人)

区 分	人 数
報道員及びこれに準ずる者	162
視察員	58

5 式典参加者

(単位：人)

区 分	監督・選手	大会関係者	事務局・補助員	観覧者	合 計
開始式	218	233	447	900	1,798
表彰式	57	64	50	60	231

6 競 技 会

(単位：人)

競技会	競技	監督・選手	競技役員	観覧者	合 計
スケート競技会	スピード	357	81	10,500	10,938
	ショートトラック	200	41	740	981
	フィギュア	171	55	3,200	3,426
	計	728	177	14,440	15,345
アイスホッケー競技会	アイスホッケー	639	150	11,870	12,659
合 計		1,367	327	26,310	28,004

7 諸会議出席者

(単位：人)

会 議 名	出席者数
全国代表者会議	114
全国報道員会議	74
監督会議・スピード	92
監督会議・ショートトラック	56
監督会議・フィギュア	49
監督会議・アイスホッケー	100

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

開催基本方針

基本方針

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会を開催するに当たり、美しい自然及び歴史的な文化遺産や郷土の伝統文化に恵まれた青森県の魅力を全国に発信するとともに、全国各地から集う人々に希望と感動を与える、温もりのある大会を目指す。

また、この大会の開催を契機に、より一層の冬季スポーツの普及・発展と生涯スポーツの振興を図り、健康で喜びに満ち溢れた活力のある青森県の実現に資するものとする。

実施目標

1. 青森県、会場地、関係機関及びスポーツ団体との緊密な連携のもとに、大会の準備・運営に万全を期す。
2. 本県における冬季スポーツ競技力のより一層の向上を図るとともに、県民に冬季スポーツを普及し、将来にわたり県民の健康増進に寄与する。
3. 本県を訪れる方々を温かい心で迎え、交流の輪を広げるとともに、美しい自然及び歴史的な文化遺産や郷土の伝統文化に恵まれた青森県を広く全国に紹介する。

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

青 森 県 実 行 委 員 会

(順不同・敬称略)

会 副	会	長	三 村 申 吾	柏 木 司	小 林 眞	小 檜 山 吉 紀
			青 山 祐 治	和 嶋 延 寿	佐々木 郁 夫	田名部 和 彦
顧 参	問 与	長	橋 本 昭 一	江 渡 聡 徳	高 橋 千鶴子	津 島 淳
			大 島 理 森	滝 沢 求 造	田名部 匡 代	清 水 悦 郎
常 任 委 員	員	員	森 内 之保留	田 中 順 定 男	齊 藤 爾 恵 一	清 谷 哲 一
			和 田 寛 司 一	山 田 知 明	畠 山 敬 一	田 中 満 一
委 員	員	員	熊 谷 雄 勝	大 崎 光 司	小比類卷 正 規	夏 堀 浩 一
			松 田 弘 教 樹	豊 川 好 廉 晴	町 田 直 子	中 沢 洋 子
委 員	員	員	重 澤 正 孝 武	杉 澤 瀬 眞 宏	壬 生 八十博	船 見 亮 節
			野 堀 文 武 のぞみ	築 本 江 久 孝	油 川 育 子 恵	武 立 花 館 た 匡
委 員	員	員	大 庭 文 彦 清 久	境 橋 本 藤 勝 一	佐々木 四 夫	西 田名部 昇 士
			黒 山 田 入 忠 克 隆	工 山 本 政 一 也	河 小 向 悦 弘 進	高 橋 本 剛 曉
委 員	員	員	谷 地 村 主 伸 紀 久 興 浩 力 士 修 行 明 一 宏 覚 之 税 弘 志 喜 男	田名部 橋 田 邦 延 久 俊 三 誠 正 元 正 圓 透 一 子 郎 一 裕 誠 卓 哉	小 原 佐 沖 佐 江 戸 工 米 佐 森 山 之 坂 伊 磯 石 富 佐 千 佐 石	宮 古 村 克 陽 子 馨 雄 男 善 知 美 博 雄 弘 久 志 也 昭 彦 己

監

事

山 内 隆
夏 堀 文 孝
白 石 哲 志
高 木 伸 也
白 石 鉄 右衛門
米内山 裕
目 澤 仲 一

塚 原 隆 市
福 岡 信 康
附 田 眞 輔
鈴 木 吾 朗
小比類 卷 健
坂 頂 昭 治
在 家 秀 則

類 家 德 昌
一 戸 利 則
倉 田 任 康
安 達 清 幸
三 浦 富 浩
小 泉 男

相 場 博
齋 藤 信 哉
天 間 勝 則
松 本 誠 順
熊 谷 俊 二
佐々木 昭

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

青森県実行委員会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会（以下「実行委員会」という。）という。

(事務所)

第2条 実行委員会の事務所を八戸市まちづくり文化スポーツ部国体室内に置く。

(目 的)

第3条 実行委員会は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）を開催するために必要な準備及び大会の運営に関する事業を行うことを目的とする。

(事 業)

第4条 実行委員会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省及び関係競技団体並びにその他関係機関・団体との連絡調整に関すること。
- (2) 競技及び式典の企画運営に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、大会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

第2章 組 織

(委 員)

第5条 実行委員会は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する委員をもって構成する。

- (1) 県及び会場地市町並びに関係機関の役職員（特別職を含む）
- (2) 体育団体、競技団体及び関係団体の代表者又は役職員
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 前各号に掲げる者のほか、大会開催に関係のある者

(役 員)

第6条 実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 若干名
- (3) 常任委員 若干名
- (4) 監 事 若干名

(役員の選任)

第7条 会長は、青森県知事をもって充てる。

2 副会長及び常任委員は委員のうちから会長が委嘱する。

3 監事は会長が委嘱する。

(役員の職務)

第8条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、会長があらかじめ定めた順序により、その職務を

代理する。

3 常任委員は、常任委員会において必要な事項を審議する。

4 監事は、財務を監査する。

(顧問及び参与)

第9条 実行委員会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、重要な会務について会長の諮問に応ずる。

4 参与は、会務について助言する。

(任期)

第10条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから実行委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員等が、就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合においては、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 前項の規定は、顧問及び参与の任期について準用する。

第3章 会 議

(会議の種類)

第11条 実行委員会に、次の会議を置く。

(1) 総 会

(2) 常任委員会

(総 会)

第12条 総会は、会長、副会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が召集し、会長がその議長となり、次の事項を審議し、決定する。

(1) 会則の制定及び改廃に関すること。

(2) 大会運営の基本方針に関すること。

(3) 事業計画に関すること。

(4) 予算及び決算に関すること。

(5) その他重要な事項に関すること。

3 総会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(常任委員会)

第13条 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって構成する。

2 常任委員会は、必要に応じて会長が招集し、次の各号に掲げる事項を審議する。

(1) 総会を召集するいとまがない場合で、かつ、緊急を要する事項に関すること。

(2) その他、会長が必要と認めた事項に関すること。

3 会長は、前項の規定により常任委員会が決定した事項について、これを総会に報告しなければならない。

4 前条第3項の規定は、常任委員会の議事について準用する。

第4章 会長の専決処分

(専決処分)

第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）の権限に属する事項について、総会等を招集するいとまがないときは、これを専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第15条 実行委員会の事務を処理するため事務局を置く。

- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会 計

(経 費)

第16条 実行委員会の経費は、負担金、補助金、助成金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第17条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日までとする。

第7章 補 則

(委 任)

第18条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

附 則

- 1 この会則は、平成30年7月19日から施行し、大会に関する一切の責務を完了したときをもってその効力を失う。
- 2 第17条の規定にかかわらず、実行委員会設立当初の会計年度は、平成30年7月19日から平成31年3月31日までとする。

附 則

この会則は、令和元年6月10日から施行する。

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

青森県実行委員会事務局規程

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規程は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会会則第15条第2項の規定に基づき、事務局の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

第2章 組 織

(事務局)

第2条 事務局は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会に関する事務を行う。

(職 員)

第3条 事務局に次の職員を置く。

- (1) 事 務 局 長 1 名
- (2) 事務局次長 若干名
- (3) 部 長 若干名
- (4) 班 長 若干名
- (5) 係 長 若干名
- (6) 係 員 若干名

2 前項に定めるもののほか、必要があると認めるときは、副部長、副班長、副係長を置くことができる。

3 事務局長は会長が委嘱し、事務局次長、部長、副部長、班長、副班長、係長、副係長、係員は事務局長が委嘱する。

4 事務局長は、国民体育大会に関する専門的な知識、経験を有する者を専門監として委嘱することができる。

5 事務局長は、臨時若しくは補助的業務に従事する者を事務局に臨時職員として任用することができる。

(職 務)

第4条 事務局長は、会長の命を受け事務局の事務を総理する。

2 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故があるときは、その職務を代理するとともに、事務局の事務を総括する。

3 部長は、事務局次長を補佐し、事務局次長に事故があるときは、その職務を代理するとともに、部の事務を総括する。

4 班長は、上司の命を受け班の事務を掌握する。

5 係長は、上司の命を受け所管事務を掌理し、係員を指揮監督する。

6 係員は、上司の命を受け所管事務に従事する。

(参 与)

第5条 事務局に参与を置くことができる。

2 参与は、事務局長が委嘱する。

3 参与は、事務局の局務について助言する。

(部の設置)

第6条 事務局に次の部を置く。

- (1) 企画総務部
- (2) 式典部
- (3) スケート競技部
- (4) アイスホッケー競技部

第3章 会 議

(部長会議)

第7条 事務局に、事務局長、事務局次長及び部長をもって構成する部長会議を置く。

- 2 部長会議は、必要に応じ事務局長が召集し、事務局長が議長となり、事務局運営上の連絡調整その他必要事項について審議する。
- 3 部長会議には、必要に応じ関係者を出席させることができる。

第4章 決 裁

(代 決)

第8条 事務局長が不在のときは、事務局次長がその事務の代決を行い、事務局次長が不在のときは、企画総務部長がその事務の代決を行い、企画総務部長が不在のときは、企画総務班長がその事務の代決を行い、企画総務班長が不在のときは、総務係長がその事務の代決を行う。

- 2 代決しようとする事務が、重要もしくは異例のもの又は疑義のあるものであるときは、前項の規定にかかわらず代決することができない。

(専 決)

第9条 事務局長、事務局次長、企画総務部長、企画総務班長及び総務係長は、別表1に掲げる事項を専決することができる。

(専決事項の代決)

第10条 事務局長の専決事項について、事務局長が不在のときは事務局次長がその事項を代決する。

- 2 事務局次長の専決事項について、事務局次長が不在のときは企画総務部長がその事項を代決する。
- 3 企画総務部長の専決事項について、企画総務部長が不在のときは企画総務班長がその事項を代決する。
- 4 企画総務班長の専決事項について、企画総務班長が不在のときは総務係長がその事項を代決する。

第5章 文書及び公印

(文書記号及び番号)

第11条 発送文書には、文書記号及び文書番号を付けるものとする。

- 2 文書記号は、「国青実第 号」とする。
- 3 文書番号は、企画総務部に備え付ける文書処理簿により処理する。ただし、軽易な文書については、番号を省略することができる。

(公 印)

第12条 事務局で使用する公印の種類及び寸法は、別表2に掲げるとおりとする。

第6章 財 務

(予 算)

第13条 事務局長は、予算案を作成し、総会に付議する手続きをとらなければならない。

(決 算)

第14条 財務担当者は、事業完了後2か月以内に収支決算書を作成し、事務局長に提出しなければならない。

2 事務局長は、前項の決算書の提出を受けたときは、監事の審査を経て、総会に付議する手続きをとらなければならない。

(旅 費)

第15条 事務局職員等に支給する旅費は、別に定めるもののほか、開催地の旅費支給規程による。

第7章 補 則

(その他)

第16条 この規程に定めるもののほか、事務局の運営に関して必要な事項は、事務局長が別に定める。

附 則

この規程は、平成30年7月19日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年6月10日から施行する。

別表1（第9条関係）

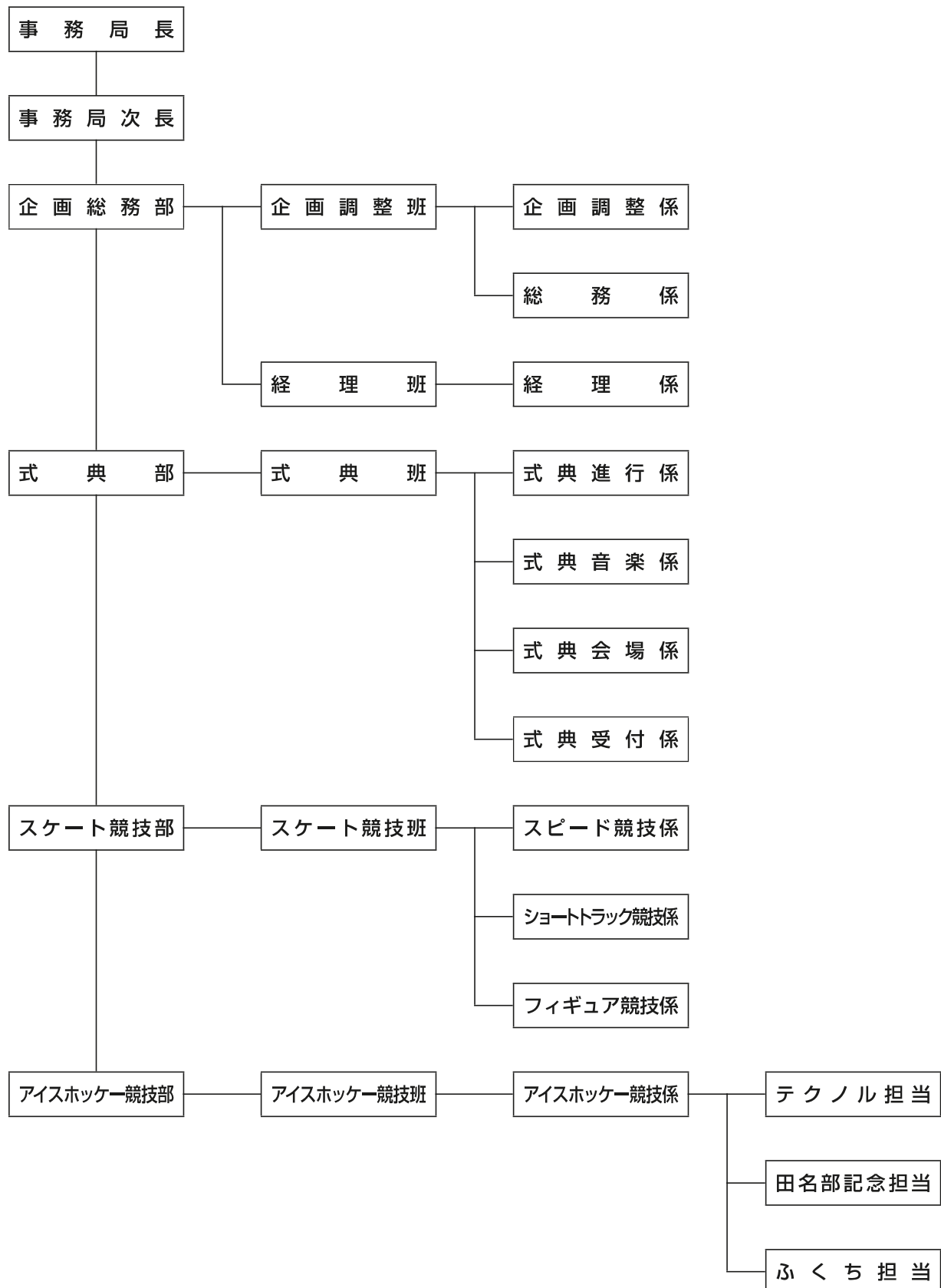
専 決 者	専 決 事 項
事 務 局 長	1. 予算の執行に関すること。 2. 1件の金額が1,000万円以上の支出負担行為をすること。 3. 前号に規定するもののほか、会長名をもってする比較的重要な事項に関すること。
事 務 局 次 長	1. 事務局次長及び部長の旅行命令に関すること。 2. 1件の金額が1,000万円未満の支出負担行為をすること。 3. 前各号に規定するもののほか、会長名をもってする軽易な事項に関すること。
企画総務部長	1. 班長以下の旅行命令に関すること。 2. 1件の金額が500万円未満の支出負担行為をすること。 3. 前各号に規定するもののほか、事務局長名をもってする軽易な事項に関すること。
企画総務班長	1. 係長の旅行命令に関すること。 2. 1件の金額が300万円未満の支出負担行為をすること。
総 務 係 長	1. 係員の旅行命令に関すること。 2. 1件の金額が100万円未満の支出負担行為をすること。 3. 支出の命令に関すること。

別表2（第12条関係）

名 称	書 体	寸 法
第75回国体青森県実行委員会会長印	てん書	方 25mm
第75回国体青森県実行委員会事務局長印	てん書	方 21mm
第75回国体青森県実行委員会事務局長印（銀行印）	てん書	方 21mm

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

青森県実行委員会事務局組織図



第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

八 戸 市 実 行 委 員 会

(順不同・敬称略)

会	長	田名部 政 一						
副	長	小 向 力	高 橋 昇 士					
顧	問	壬 生 八十博						
参	与	高 山 元 延	日 當 正 男					
委	員	中 村 行 宏	原 田 悦 雄	佐々木 勝 弘	野 田 祐 子			
		石 亀 純 悦	上 野 統 久	前 田 晃	下 村 晃 一			
		山 田 泰 子	三 浦 順 哉	江 戸 隆	松 本 弘			
		高屋敷 宣 之	高 橋 学	加 賀 精 二	福 田 千鶴子			
監	事	坂 本 浩 一	保 坂 高 弘					

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会

三 沢 市 実 行 委 員 会

(順不同・敬称略)

会	長	小檜山 吉 紀						
副	長	米 田 光一郎	冨 田 敦	佐々木 仁				
顧	問	佐々木 郁 夫	田名部 和 彦	船 見 亮 悦	小比類卷 正 規			
委	員	久保田 隆 裕	クリストファー W. ストルーヴィ					
		沖 澤 繁 弥	門 上 馨	竹 林 秋 雄	相 場 博			
		鈴 木 吾 朗	坂 田 優	小 向 力	堤 喜一郎			
		鈴 木 敏 宏	佐 藤 修	齋 藤 郁 子	對 馬 祐 之			
		蝦 名 隆 至	鈴 木 武 美	山 内 修 一	佐々木 亮			
		山 本 剛 志	伊 藤 徹 也	山 本 優	田面木 るり子			
		関 敏 徳	澤 田 潤	高 橋 常 幸	山 崎 徹			
		別 部 容 寛						
監	事	小比類卷 京 一	川 端 悟					

第75回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会

南 部 町 実 行 委 員 会

(順不同・敬称略)

会	長	佐々木 俊 昭						
副	長	高 橋 力 也	工 藤 忠 善	西 村 幸 作				
委	員	永 田 幸太郎	庭 田 陽 子	小田原 勉	中 居 弘 幸			
		佐々木 充 澄	高 森 直 樹	夏 堀 善 信	中 野 薫			
		夏 堀 典 雄	久保田 敏 彦	中 里 司	松 橋 悟			
		福 田 勉	岩 間 雅 之	松 原 浩 紀	佐々木 高 弘			
監	事	四 戸 清 栄	風 間 正 勝					

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

八戸市実行委員会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会八戸市実行委員会（以下「実行委員会」という。）という。

(事務所)

第2条 実行委員会の事務所を八戸市まちづくり文化スポーツ部国体室内に置く。

(目 的)

第3条 実行委員会は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）を開催するために必要な準備及び大会の運営に関する事業を行うことを目的とする。

(事 業)

第4条 実行委員会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会（以下「青森県実行委員会」という。）その他関係機関・団体との連絡調整に関すること。
- (2) 報道広報、競技運営、宿泊、医療救護、歓迎案内及び輸送交通に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、大会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

第2章 組 織

(委 員)

第5条 実行委員会は、八戸市及び関係機関・団体等のうちから会長が委嘱する委員をもって構成する。

(役 員)

第6条 実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監 事 若干名

(役員の選任)

第7条 会長は、八戸市まちづくり文化スポーツ部を担当する副市長をもって充てる。

2 副会長は委員のうちから会長が委嘱する。

3 監事は会長が委嘱する。

(役員の職務)

第8条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、会長があらかじめ定めた順序により、その職務を代理する。

3 監事は、財務を監査する。

(顧問及び参与)

第9条 実行委員会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、重要な会務について会長の諮問に応ずる。

4 参与は、会務について助言する。

(任 期)

第10条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから実行委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員等が、就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合においては、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 前項の規定は、顧問及び参与の任期について準用する。

第3章 会 議

(総 会)

第11条 総会は、会長、副会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が召集し、会長がその議長となり、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 会則の制定及び改廃に関すること。
- (2) 事業推進の基本方針に関すること。
- (3) 事業計画に関すること。
- (4) 予算及び決算に関すること。
- (5) その他重要な事項に関すること。

3 総会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第4章 会長の専決処分

(専決処分)

第12条 会長は、総会の権限に属する事項について、総会を招集するいとまがないときは、これを専決処分することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第13条 実行委員会の事務を処理するため事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会 計

(経 費)

第14条 実行委員会の経費は、青森県実行委員会交付金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第15条 実行委員会の会計年度は、施行の日から始まり、翌年3月31日までとする。

第7章 補 則

(委 任)

第16条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

附 則

この会則は、令和元年7月25日から施行し、大会に関する一切の責務を完了したときをもってその効力を失う。

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

八戸市実行委員会事務局規程

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規程は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会八戸市実行委員会会則第13条第2項の規定に基づき、事務局の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

第2章 組 織

(事務局)

第2条 事務局は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会八戸市実行委員会（以下「実行委員会」という。）に関する事務を行う。

(職 員)

第3条 事務局に次の職員を置く。

- (1) 事 務 局 長 1 名
- (2) 事務局次長 若干名
- (3) 部 長 若干名
- (4) 班 長 若干名
- (5) 班 員 若干名

2 前項に定めるもののほか、必要があると認めるときは、副部長、副班長を置くことができる。

3 事務局長は会長が委嘱し、事務局次長、部長、副部長、班長、副班長、班員は事務局長が委嘱する。

(職 務)

第4条 事務局長は、会長の命を受け事務局の事務を総理する。

2 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故があるときは、その職務を代理するとともに、事務局の事務を総括する。

3 部長は、事務局次長を補佐し、事務局次長に事故があるときは、その職務を代理するとともに、部の事務を総括する。

4 班長は、上司の命を受け班の事務を掌握する。

5 班員は、上司の命を受け所管事務に従事する。

(部及び班の設置)

第5条 事務局に大会支援部を置く。

2 前項の大会支援部に次の班を置く。

- (1) 総務班
- (2) 経理班
- (3) 報道広報班
- (4) 競技運営班
- (5) 案内班
- (6) 歓迎業務班
- (7) 宿泊輸送班

(8) 医療救護班

第3章 会 議

(事務局会議)

第6条 事務局に、事務局長、事務局次長、大会支援部長及び班長をもって構成する事務局会議を置く。

2 事務局会議は、必要に応じ事務局長が召集し、事務局長が議長となり、事務局運営上の連絡調整その他必要事項について審議する。

3 事務局会議には、必要に応じ関係者を出席させることができる。

第4章 決 裁

(代 決)

第7条 事務局長が不在のときは、事務局次長がその事務の代決を行い、事務局次長が不在のときは、大会支援部長がその事務の代決を行い、大会支援部長が不在のときは、総務班長がその事務を代決する。

2 代決しようとする事務が、重要もしくは異例のもの又は疑義のあるものであるときは、前項の規定にかかわらず代決することができない。

(専 決)

第8条 事務局長、事務局次長、大会支援部長及び総務班長は、別表1に掲げる事項を専決することができる。

(専決事項の代決)

第9条 事務局長の専決事項について、事務局長が不在のときは事務局次長がその事項を代決する。

2 事務局次長の専決事項について、事務局次長が不在のときは大会支援部長がその事項を代決する。

3 大会支援部長の専決事項について、大会支援部長が不在のときは総務班長がその事項を代決する。

第5章 文書及び公印

(文書記号及び番号)

第10条 発送文書には、文書記号及び文書番号を付けるものとする。

2 文書記号は、「国八実第 号」とする。

3 文書番号は、総務班に備え付ける文書処理簿により処理する。ただし、軽易な文書については、番号を省略することができる。

(公 印)

第11条 事務局で使用する公印の種類及び寸法は、別表2に掲げるとおりとする。

第6章 財 務

(財 務)

第12条 現金、物品の出納及びその他の会計事務は、大会支援部総務班が行う。

(予 算)

第13条 事務局長は、予算案を作成し、総会に付議する手続きをとらなければならない。

(決 算)

第14条 財務担当者は、事業完了後2か月以内又は当該年度の3月31日のいずれか早い日までに収支決算書を作成し、事務局長に提出しなければならない。

2 事務局長は、前項の決算書の提出を受けたときは、監事の審査を経て、総会に付議する手続きをとらなければならない。

(旅 費)

第15条 事務局職員等に支給する旅費は、別に定めるもののほか、八戸市の旅費支給規程による。

第7章 補 則

(その他)

第16条 この規程に定めるもののほか、事務局の運営に関して必要な事項は、事務局長が別に定める。

附 則

この規程は、令和元年7月25日から施行する。

別表1（第8条関係）

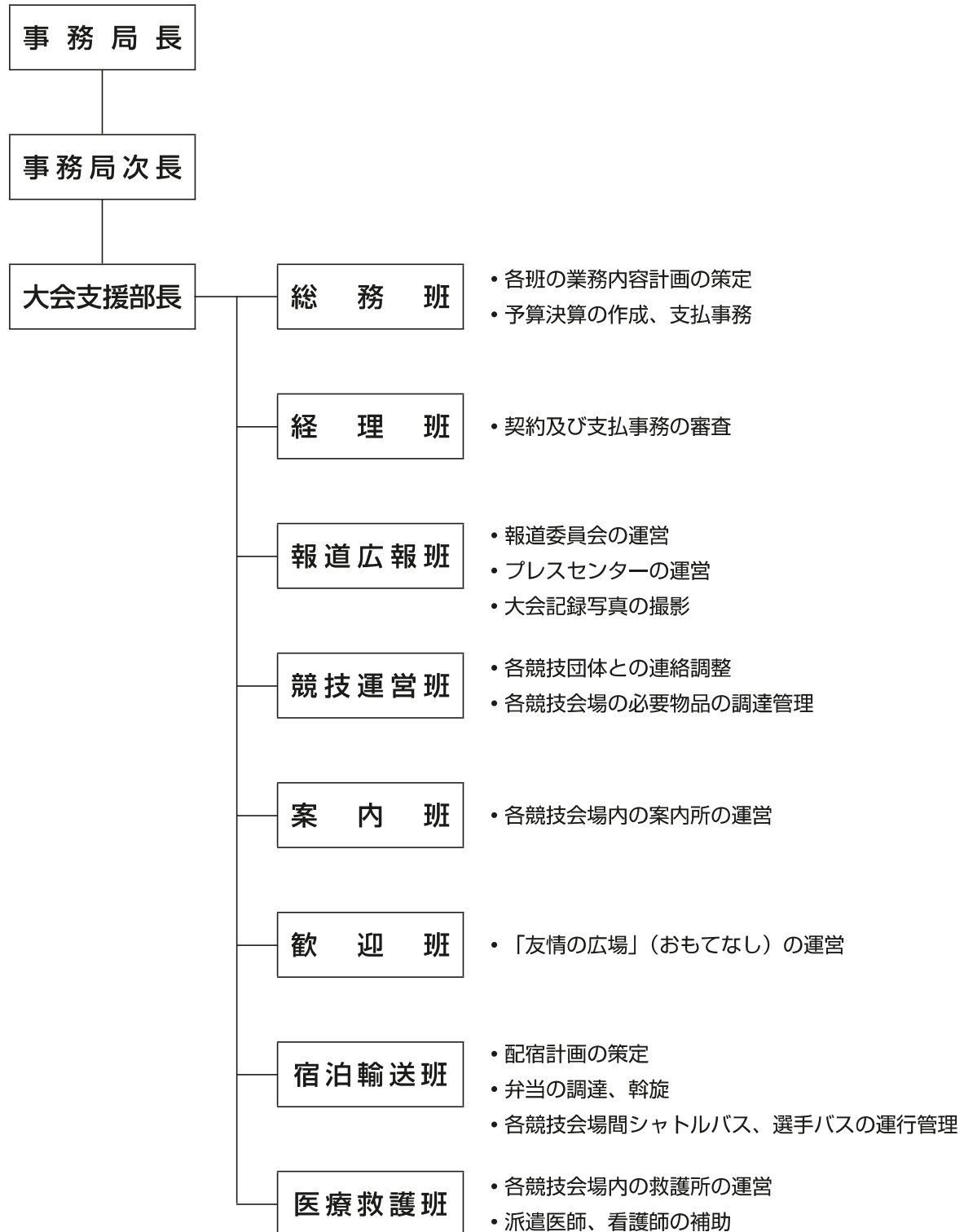
専 決 者	専 決 事 項
事 務 局 長	1. 予算の執行に関すること。 2. 1件の金額が1,000万円以上の支出負担行為をすること。 3. 事務局次長及び大会支援部長の旅行命令に関すること。 4. 前号に規定するもののほか、会長名をもってする比較的重要な事項に関すること。
事 務 局 次 長	1. 1件の金額が500万円以上1,000万円未満の支出負担行為をすること。 2. 大会支援部長以下の旅行命令に関すること。 3. 前各号に規定するもののほか、会長名をもってする軽易な事項に関すること。
大会支援部長	1. 1件の金額が100万円以上500万円未満の支出負担行為をすること。 2. 班長以下の旅行命令に関すること。 3. 前各号に規定するもののほか、事務局長名をもってする軽易な事項に関すること。
総 務 班 長	1. 1件の金額が100万円未満の支出負担行為をすること。 2. 支出の命令に関すること。 3. 班員の旅行命令に関すること。

別表2（第11条関係）

名 称	書 体	寸 法
第75回国体八戸市実行委員会会長印	てん書	方 24mm
第75回国体八戸市実行委員会事務局長印	てん書	方 24mm
第75回国体八戸市実行委員会事務局長印（銀行印）	てん書	方 24mm

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

八戸市実行委員会事務局組織図



第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

標章等使用取扱規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）の開催にあたり、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「JSPO」という。）が「公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会関係標章の使用に関する規程」（平成23年6月24日制定）に定める標章及び第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会が定めるスローガンを使用する場合の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(定 義)

第2条 この規程において「標章」とは、次の各号に掲げるものをいう。

- (1) JSPO が定める国民体育大会マーク（図形）
- (2) 「国民体育大会」、「国体」、「NATIONAL SPORTS FESTIVAL」及びこれらの表示を平仮名、片仮名又はローマ字の文字に変更するものであって、同一の称呼及び観念を生ずるもの
- (3) 「氷都新時代！八戸国体」のほか、「国民体育大会」、「国体」、「NATIONAL SPORTS FESTIVAL」を含む結合語又は造語

2 この規程において「スローガン」とは、「銀盤に きたる新風 いま永都に」をいう。

(使用許可権限の行使)

第3条 前条第1項各号に規定する標章については、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会（以下「実行委員会」という。）がJSPOから委任を受けた使用許可権限を行使する。

2 前条第2項に規定するスローガンについては、実行委員会が使用許可権限を有し、自ら行使する。

(公共目的による使用)

第4条 標章及びスローガン（以下「標章等」という。）の使用について、その内容が次の各号のいずれかに該当する場合は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会会長（以下「会長」という。）は公共目的と認め、無償で使用させることができる。

- (1) 資料又は無償で交付される記念品等についての使用であって、スポーツ活動又は大会の開催に寄与すると認められる場合
- (2) 出版物についての使用であって、スポーツの歴史や記録などスポーツ及び大会に関する啓発内容を掲載すると認められる場合
- (3) 一般へのスポーツ又は大会に対する理解や普及を図るため、その普及資料等を展示するものと認められる場合
- (4) 実行委員会からの広報啓発活動への協力依頼に基づき使用する場合
- (5) その他会長がスポーツ活動及び大会開催に寄与すると認める場合

(公共目的による使用の申請及び報告)

第5条 標章等を公共目的により使用しようとする者は、あらかじめ「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等公共目的使用許可申請書」（別記第1号様式）を会長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、これを省略することができる。

- (1) 実行委員会が使用する場合
- (2) 国、地方公共団体、公益財団法人青森県スポーツ協会、青森県内各市町村体育・スポーツ協会及び青森県内各競技団体が使用する場合

- (3) 大会においてイベント事業を実施する団体が使用する場合
- (4) 保育所又は学校教育法（昭和22年法律第26号）に掲げる学校が使用する場合
- (5) 報道機関が報道又は広報の目的で使用する場合
- (6) その他会長が特に認めた場合

2 前項の規定により許可を得た者及び第1号から第4号及び第6号のいずれかに該当する者が標章等を公共目的により使用したときは、使用期間終了後30日以内に「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等使用報告書」（別記第2号様式）を会長に提出しなければならない。

（公共目的による使用の許可）

第6条 会長は、前条の規定による許可申請があった場合は、その内容が次の各号のいずれかに該当する場合を除き、許可するものとする。

- (1) スポーツ及び大会の品位を傷つけ、又は正しい理解の妨げになる場合
- (2) 標章等を正しい使用方法に従って使用しない場合
- (3) 自己の商標や意匠とするなど、独占的に使用し、又は使用のおそれのある場合
- (4) 法令、公序良俗に反する、又は反するおそれのある場合
- (5) 特定の個人、政党、宗教団体を支援し、又は公認しているような誤解を与え、又は与えるおそれのある場合
- (6) 使用目的が明らかでない場合
- (7) 大会協賛企業の協賛権利を侵害するおそれがある場合
- (8) その他会長が不適当と認めた場合

2 前項の規定による許可は、許可番号を付した上で「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等公共目的使用許可書」（別記第3号様式）をもって行うものとする。

（商業目的による使用）

第7条 「氷都新時代！八戸国体」及びスローガンを商品、景品、広告宣伝等に使用する場合は、商業目的と認め、有償で使用できるものとする。

（商業目的による使用の申請及び報告）

第8条 商業目的により「氷都新時代！八戸国体」及びスローガンを使用しようとする者は、あらかじめ「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等商業目的使用許可申請書」（別記第4号様式）を会長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定により許可を受けて「氷都新時代！八戸国体」及びスローガンを使用した者は、使用期間終了後30日以内に「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等使用報告書」（別記第2号様式）を会長に提出しなければならない。

（商業目的による使用の許可）

第9条 会長は、前条の規定による許可申請があった場合は、その内容が第6条第1項各号のいずれかに該当する場合を除き、「氷都新時代！八戸国体」及びスローガンの商業目的による使用を許可するものとする。

2 前項の規定による許可は、許可番号を付した上で「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等商業目的使用許可書」（別記第5号様式）をもって行うものとする。

3 会長は、第1項の規定による許可に際し、条件を付することができる。

（商業目的による使用に係る使用料）

第10条 「氷都新時代！八戸国体」及びスローガンの商業目的による使用の許可を受けた者は、別表に定めるところにより算定した額を使用料として実行委員会に納付しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、会長は使用料を免除することができる。

- (1) 第5条第1項第1号から第4号までに規定する団体が使用する場合
- (2) その他会長が特別な事情により必要があると認めた場合

- 2 前項の規定により使用料の免除を受けようとする者は、第8条に規定する許可申請の際に、「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等使用料免除申請書」(別記第6号様式)を会長に提出しなければならない。
- 3 第1項の規定に基づく使用料は、前条第2項に規定する通知の日から起算して、30日以内(振込期限の日が金融機関の休業日の場合はその翌日)に会長が送付する納入通知書により指定期日までに振り込むものとする。
- 4 実行委員会は、収納した使用料を開催準備の経費に充てるものとする。
- 5 納入された使用料は返還しない。

(使用上の遵守事項)

第11条 標章及びスローガンを使用する者(以下「使用者」という。)は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可された用途にのみ使用し、許可条件に従うこと。
- (2) 使用权を第三者に譲渡し、又は転貸しないこと。
- (3) 定められた色、形等を正しく使用し、規格外の展開など応用使用はしないこと。
- (4) 原則として、標章等を使用する物件に許可番号を付記すること。ただし、その形状等から許可番号を付記することが困難な場合はこの限りではない。
- (5) 標章等を使用する物件の完成見本を速やかに会長に提出すること。ただし、完成見本の提出が困難なものについては、その写真の提出をもって代えることができるものとする。
- (6) 使用許可された物件について、商標又は意匠登録の出願をしないこと。
- (7) 当該物件の使用にあたっては、事故等が発生しないよう万全の配慮を行うこと。事故、苦情等が発生した場合は、誠意をもって必要な措置を講じた上、直ちに会長に報告すること。なお、当該物件を原因とする事故に対しては、実行委員会は一切の責任を負わない。

(許可内容の変更)

第12条 使用者が、許可された内容について変更しようとする場合は、あらかじめ「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等使用内容変更申請書」(別記第7号様式)を会長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 会長は、使用を許可した内容の変更を許可するときは、「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等使用内容変更許可書」(別記第8号様式)により、当該使用者に通知するものとする。
- 3 第1項の申請については、第4条から前条までの規定を準用する。

(実地調査等)

第13条 会長は、使用者に対し、使用状況について実地調査を行い、又はその使用状況を証する書類の提出を求めることができる。

(違反に対する処置)

第14条 会長は、標章等の使用がこの規程又は許可内容に違反していると認められる場合は、使用状況の変更を求めるほか、当該許可を取り消し、当該許可に係る物件の回収を命ずることができる。

- 2 前項の規定による許可の取り消しは、「第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に係る標章等使用許可取消書」(別記第9号様式)をもって行うものとする。
- 3 第1項の規定により許可を取り消された者は、当該許可に係る物件を使用してはならない。
- 4 第1項の規定により当該許可に係る物件の回収を命ぜられた者は、速やかに当該許可に係る物件を回収しなければならない。
- 5 会長は、許可を得ずに標章等を使用している者又は使用しようとしている者に対して、その標章等の使用停止及び使用に係る物件の回収を求める等適切な措置を取ることができる。

6 実行委員会は、前各項の規定による許可の取消し等により使用者等に生じた損害について、一切の責任を負わないものとする。

(経費等の負担)

第15条 実行委員会は、この規程による使用許可の申請に要した費用、実施に係る経費及び役務を負担しない。

2 実行委員会は、標章等の使用に係る損失補償等の一切の責任を負わないものとする。

(補 則)

第16条 この規程に定めるもののほか、標章等の使用の取扱いについて必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規程は、平成31年1月29日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年7月5日から施行する。

別表（第10条関係）

1 販売を目的とするもの（商品）	小売価格（消費税等賦課前）×3%×製造個数
2 販売以外を目的とするもの (1) 景品、有償貸出 (2) 広告宣伝	製造価格×3%×製造個数 使用する媒体の広告料×3% ただし、自社媒体での展開や自社で配布するなど、媒体費用が発生しない場合は協議により決定
3 その他営利を目的とするもの	協議により決定

宿 泊 要 項

1 目 的

この要項は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）に参加する選手・監督、都道府県本部役員、大会役員、競技会役員、競技役員、視察員及び報道員（以下「大会参加者」という。）の宿泊業務に関して必要な事項を定めるものとする。

2 基本方針

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会並びに第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会八戸市実行委員会は、合同で第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会配宿センター（以下「配宿センター」という。）を設置し、相互に十分な連絡調整を行い、関係する機関及び団体の協力を得て、大会参加者の宿泊について万全を期するものとする。

3 業務の実施

配宿センターは、競技団体、旅館組合等関係団体及び宿泊施設等と連絡調整の上、大会参加者の宿舎の選定、確保及び配宿等に関する業務に当たるとともに、これに関する紛議が発生した場合は、調停及び斡旋を行うものとする。

4 宿舎の選定及び確保

宿舎の選定及び確保については、次により行うものとする。

- (1) 大会参加者の宿舎は、原則として会場地市内の宿泊施設（旅館業法（昭和23年法律第138号）の許可を受けて営業を行うホテル・旅館及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用するものとする。
- (2) 会場地市内の宿泊施設で大会参加者の収容が困難な場合は、近隣の市町村の宿泊施設を利用するものとする。
- (3) 風紀、衛生及び防災上支障があると認められる宿泊施設は利用しないものとする。

5 配 宿

大会参加者の配宿に当たっては、次の事項に留意するものとする。

- (1) 選手・監督の宿舎は、競技会場までの交通状況等並びに都道府県別、競技別、競技種目別及び男女別等を可能な限り考慮して配宿するとともに、原則として都道府県本部役員、競技会役員及び競技役員とは別にする。
- (2) 競技会役員及び競技役員については、できる限り同一又は近隣の宿舎に配宿する。
- (3) 1人の宿泊に要する広さは、3.3㎡（2畳）以上とする。
- (4) 指定された宿舎の変更は、原則として認めない。任意に変更したことによって生じた全ての紛議及び損失は、任意に変更した者がその責を負うものとする。

6 宿泊料金等

大会参加者の宿泊料金等は、次のとおりとする。

- (1) 宿泊及び素泊まり
 - ア 宿泊とは、入宿日の15時から、出発日の10時までの客室の使用をいうものとし、原則として1泊2食とする。
 - イ 素泊まりとは、食事を伴わない宿泊をいうものとする。

(2) 宿 泊 料 金

宿泊料金は次のとおりとする。ただし、大会役員等が定員未満での利用などを希望する場合は、この料金を超えることがある。

区 分	消費税	宿 泊 料 金		備 考
		1 泊 2 食	素泊まり	
営業施設	税 抜	6,000円～12,000円	4,200円～8,400円	通常のサービス・奉仕料及び暖房料を含む。
	税込（8％）	6,480円～12,960円	4,536円～9,072円	
	税込（10％）	6,600円～13,200円	4,620円～9,240円	

〔注〕「1 泊 2 食」宿泊料金は500円刻み（税抜）とする。

「素泊まり」料金は「1 泊 2 食」料金の70％相当とする。

(3) 入 湯 税

入湯税については外税とし、宿泊料金とは別に支払うものとする。

(4) 欠 食 控 除

欠食控除の適用は、夕食の場合は当日の9時までに、朝食の場合は前日の18時までに宿舎に申し出た場合に限り行うものとし、次のとおりとする。ただし、夕食の場合、競技の進行状況により当該時間までに申し出ることが困難な場合は、宿舎と協議して決定する。

ア 夕食を欠食した場合の宿泊料金は、「1 泊 2 食」料金の80％相当とする。

イ 朝食を欠食した場合の宿泊料金は、「1 泊 2 食」料金の90％相当とする。

区 分	消費税	夕食を欠食した場合	朝食を欠食した場合
営業施設	税 抜	4,800円～ 9,600円	5,400円～10,800円
	税込（8％）	5,184円～10,368円	5,832円～11,664円
	税込（10％）	5,280円～10,560円	5,940円～11,880円

(5) 休 憩 料 金

入宿日の15時以前及び出発日の10時以降に客室を使用する場合の休憩料金は、各宿舎の規定に基づくものとする。

(6) 入 浴 料

宿泊者が宿舎からの要請により公衆浴場等を利用したときの入浴料は、当該宿舎が負担するものとする。

(7) 宿泊料金等の精算

宿泊料金等は、原則として各都道府県体育・スポーツ協会が、配宿センターに対して入宿前に事前振込することとし、宿泊責任者（宿泊申込代表者が宿泊者の中から定めた者。以下同じ。）が、各宿舎において宿泊者数の確認を行った上で、必要に応じて大会終了後、配宿センターから各都道府県体育・スポーツ協会に差額を精算するものとする。

なお、振込手数料については、振込者が負担するものとする。

(8) 宿泊取消料

ア 大会参加の取りやめ等、やむを得ない理由により宿泊を取消した場合の宿泊取消料は次のとおりとする。

宿泊取消しの申出区分	宿泊取消料	備 考
宿泊予定日の6日前まで	不 要	素泊まり又は欠食で申し込んだ場合は、その料金を宿泊料金（税抜）とする。
宿泊予定日の5日前から 宿泊予定日前日まで	宿泊料金（税抜）の20%	
宿泊予定日当日	宿泊料金（税抜）の50%	
旅行開始後又は無連絡	宿泊料金（税抜）の全額	

[注] 荒天等により、交通機関が不通となり宿舎への到着が困難な状況が生じた場合は、宿舎と協議して取消料を決定する。

イ 選手・監督が、競技敗退後又は荒天等により競技会期短縮の決定後において宿泊を取消しする場合は、アの定めに関わらず、特例として次のとおりとする。

なお、この特例は選手・監督以外には適用しない。

宿泊取消しの申出区分	宿泊取消料	備 考
敗退日当日又は競技会期短縮決定日当日の宿泊の取消し	宿泊料金（税抜）の50%	素泊まり又は欠食で申し込んだ場合は、その料金（税抜）を宿泊料金（税抜）とする。
敗退日翌日以降又は競技会期短縮決定日翌日以降の宿泊の取消し	不 要	

ウ 宿泊申込み後、変更・取消しの申出がないまま宿泊をしなかった場合の取消料は、ア及びイの定めに関わらず、宿泊料金（税抜）の全額とする。

エ アからウまでの宿泊取消料には、消費税に相当する金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）を加算するものとする。

オ 宿泊取消料は、宿泊責任者又は本人が配宿センターの指定する方法により支払うものとする。

また、宿泊責任者又は本人が宿泊取消料を支払うことができない場合は、宿泊申込代表者が最終責任を負うものとする。

(9) 宿泊料金等の適用期間

宿泊料金等の適用期間は、2020年1月25日(土)15時から2020年2月3日(月)10時までとする。

7 宿泊の申込み

(1) 宿泊の申し込みは、別に定める宿泊業務実施要領（以下「実施要領」という。）により、宿泊申込代表者がインターネット、FAX又は郵送で配宿センターに行うものとする。

なお、効力の発生は、インターネットについては受信時、FAX又は郵送については到達した日時とする。

また、選手・監督、都道府県本部役員にあっては、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会実施要項（以下「大会実施要項」という。）に定める人員を超える宿泊申込は認めないものとする。

- (2) 宿泊申込は、実施要領の申込期限以降は受け付けず、申込期限までに宿泊申込みがなかった場合は、大会実施要項の定めにより、大会への参加を認めないものとする。

8 宿泊の変更及び取り消し

- (1) 大会参加者の宿泊決定後の宿泊取消しについては、限られた宿泊施設を有効活用し配宿を行うことから、大会への参加取消し等の特別な事情のない限り認めないものとする。
- なお、不適切な対応が生じた場合は、日本スポーツ協会国民体育大会委員会において報告する。
- (2) 入宿前の変更及び取消しについては、実施要領の様式により、宿泊申込代表者がインターネット又は F A X で速やかに配宿センターに行うものとする。
- なお、効力の発生は、インターネットについては受信時、F A X については到達した日時とする。
- (3) 入宿後にあっては、宿泊責任者が直接当該宿舎へ速やかに申し出るものとし、その効力の発生は、当該申出のあった日時とする。

9 食 事

- (1) 大会参加者に提供する食事は、衛生的で栄養バランスがよく、地元産食材が活用され、郷土色豊かなものとなるよう配慮した献立とし、関係者の協力を得て提供するものとする。
- (2) 昼食については、原則として自由調達とするが、斡旋を希望する場合は、配宿センターが定める弁当申込方法により申込みものとする。
- なお、昼食（弁当）料金は次のとおりとする。

区 分	消費税	料 金
昼食弁当 (お茶を含む)	税 抜	850円以内
	税込（8%）	918円以内
	税込（10%）	935円以内

10 アイスホッケー競技の用具保管場所

アイスホッケー競技の用具は、宿舎の指示に従い、指示された場所に保管するものとする。

11 そ の 他

この要項に定めるもののほか、宿泊業務の実施に関して必要な事項は、実施要領に定めるものとする。

配宿業務・弁当業務の実績

1 配宿業務

【全 体】

(単位:人)

参 加 区 分	1月25日(土)	1月26日(日)	1月27日(月)	1月28日(火)	1月29日(水)	1月30日(木)	1月31日(金)	2月1日(土)	2月2日(日)	合 計
選 手 ・ 監 督	6	7	453	1,128	1,241	1,098	996	844	122	5,895
都 道 府 県 本 部 役 員	1	2	43	239	247	217	203	195	51	1,198
招 待 者	0	0	2	28	12	7	4	5	1	59
大会役員・競技会役員	0	0	0	7	4	4	4	1	0	20
競 技 役 員	0	0	10	62	85	86	102	80	1	426
視 察 員	0	0	3	35	37	39	39	31	3	187
報 道 員	0	0	0	2	6	8	6	6	3	31
合 計	7	9	511	1,501	1,632	1,459	1,354	1,162	181	7,816

【選手内訳】

(単位:人)

競 技	種 別	1月25日(土)	1月26日(日)	1月27日(月)	1月28日(火)	1月29日(水)	1月30日(木)	1月31日(金)	2月1日(土)	2月2日(日)	合 計
ス ピ ー ド	成年男子	6	6	39	87	91	93	92	88	27	529
ス ピ ー ド	成年女子	0	0	29	61	65	66	66	64	9	360
ス ピ ー ド	少年男子	0	1	40	67	67	66	65	62	13	381
ス ピ ー ド	少年女子	0	0	32	69	69	68	67	65	11	381
	小計	6	7	140	284	292	293	290	279	60	1,651
フ イ ギ ュ ア	成年男子	0	0	0	0	22	22	22	0	0	66
フ イ ギ ュ ア	成年女子	0	0	0	0	8	30	30	0	0	68
フ イ ギ ュ ア	少年男子	0	0	11	30	52	44	25	0	0	162
フ イ ギ ュ ア	少年女子	0	0	12	33	33	16	3	0	0	97
	小計	0	0	23	63	115	112	80	0	0	393
ショートトラック	成年男子	0	0	0	0	0	23	54	55	12	144
ショートトラック	成年女子	0	0	0	0	0	23	42	42	9	116
ショートトラック	少年男子	0	0	0	0	0	15	24	24	8	71
ショートトラック	少年女子	0	0	0	0	0	15	23	23	8	69
	小計	0	0	0	0	0	76	143	144	37	400
アイスホッケー	成年男子	0	0	148	374	407	229	128	113	0	1,399
アイスホッケー	少年男子	0	0	64	166	169	134	120	102	0	755
	小計	0	0	212	540	576	363	248	215	0	2,154
合 計		6	7	375	887	983	844	761	638	97	4,598

2 弁当調達・配布業務

【幹 旋 弁 当】

(単位:個)

配 布 会 場		1月25日(土)	1月26日(日)	1月27日(月)	1月28日(火)	1月29日(水)	1月30日(木)	1月31日(金)	2月1日(土)	2月2日(日)	合 計
YS アリーナ八戸	昼	—	—	17	71	154	202	181	177	128	930
	夜	—	—	0	1	0	0	1	1	1	4
	小計	—	—	17	72	154	202	182	178	129	934
テクノ アイスパーク八戸	昼	—	—	0	14	33	55	42	24	27	195
	夜	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	—	—	0	14	33	55	42	24	27	195
田名部記念 アリーナ	昼	—	—	0	21	41	2	19	18	0	101
	夜	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	—	—	0	21	41	2	19	18	0	101
三 沢 アイスアリーナ	昼	—	—	0	0	0	0	0	72	69	141
	夜	—	—	0	0	0	0	0	86	0	86
	小計	—	—	0	0	0	0	0	158	69	227
ふくち アイスアリーナ	昼	—	—	0	35	59	55	0	0	0	149
	夜	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	—	—	0	35	59	55	0	0	0	149
合 計		—	—	17	142	287	314	243	378	225	1,606

【支給弁当】

(単位:個)

配 布 会 場		1月25日(土)	1月26日(日)	1月27日(月)	1月28日(火)	1月29日(水)	1月30日(木)	1月31日(金)	2月1日(土)	2月2日(日)	合 計
YS アリーナ八戸	昼	—	—	25	475	496	141	141	139	159	1,576
	夜	—	—	24	24	37	37	37	37	16	212
	小計	—	—	49	499	533	178	178	176	175	1,788
テクノ アイスパーク八戸	昼	—	—	0	45	64	64	64	61	86	384
	夜	—	—	0	0	74	74	71	75	0	294
	小計	—	—	0	45	138	138	135	136	86	678
田名部記念 アリーナ	昼	—	—	0	0	61	61	56	52	62	292
	夜	—	—	0	0	60	60	55	10	0	185
	小計	—	—	0	0	121	121	111	62	62	477
三 沢 アイスアリーナ	昼	—	—	30	56	128	127	146	186	118	791
	夜	—	—	20	56	86	94	80	122	0	458
	小計	—	—	50	112	214	221	226	308	118	1,249
ふくち アイスアリーナ	昼	—	—	0	0	74	74	74	74	0	296
	夜	—	—	0	0	68	68	0	0	0	136
	小計	—	—	0	0	142	142	74	74	0	432
合 計		—	—	99	656	1,148	800	724	756	441	4,624

輸 送 交 通 要 項

1 目 的

この要項は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）に参加する選手・監督、都道府県本部役員、大会役員、競技会役員、競技役員、視察員、報道員（以下「大会参加者」という。）及び一般観覧者等の輸送交通について、輸送の万全と交通の安全を図り、大会の円滑な運営を期するため、必要な事項を定めるものとする。

2 基本方針

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会（以下「青森県実行委員会」という。）並びに第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会八戸市実行委員会（以下「八戸市実行委員会」という。）は、大会参加者及び一般観覧者等の輸送交通について、関係機関及び団体等の協力を得て、安全で正確な輸送を図るものとする。

3 輸送対策

(1) 全 国 輸 送

大会参加者は、自由集合及び自由解散とする。ただし、必要に応じて、関係機関等の協力等を得て、輸送力の確保に努める。

(2) 会場地における輸送

ア 大会参加者

(ア) 開始式・表彰式

近距離を除き、青森県実行委員会又は八戸市実行委員会がシャトルバス等による計画輸送を行う。

(イ) 大会期間中

各競技会場への輸送は、青森県実行委員会又は八戸市実行委員会が必要に応じてシャトルバス運行等の措置を講じる。

(ウ) 各 種 会 議

全国代表者会議、全国報道員会議及び監督会議等は、原則として自由集合及び自由解散とする。

イ 一般観覧者

原則として公共交通機関を利用する。ただし、会場周辺の公共交通機関の状況や最寄り駅から会場までの距離等を勘案し、必要に応じて青森県実行委員会又は八戸市実行委員会がシャトルバス運行等の措置を講じる。

ウ そ の 他

大会参加者及び一般観覧者が公共交通機関を利用する場合は、所定の料金を支払うものとする。

4 案内所の設置

青森県実行委員会及び八戸市実行委員会は、輸送交通の案内のため必要に応じて案内所を設置する。

5 交通安全対策

(1) 交 通 規 制

ア 開始式・表彰式会場及び各競技会場に通じる道路及び会場周辺の道路においては、必要に応じて交通規制等を行う。

イ 大会関係車両についても、交通規制に従い、安全運転の励行に努める。

(2) 自家用車の利用

ア 大会参加者の自家用車での来場は、できる限り自粛に努めること。

イ 大会参加者が、大会期間中、やむを得ず自家用車を利用する場合は、各会場周辺において通行を規制する場合があるため、青森県実行委員会又は八戸市実行委員会と連絡調整を行うものとする。

ウ 輸送交通の万全を図るため、スタッドレスタイヤやタイヤチェーン等を装着又は携行し、路面凍結時や積雪時のスリップ等による交通事故、移動不能による交通渋滞を防止すること。

(3) 駐 車 場

ア 大会関係車両は、指定された駐車場を利用すること。

イ 各駐車場においては、駐車収容能力に限度があるため、係員による駐車箇所の指定及び誘導等の指示に従うこと。

6 そ の 他

この要項に定めるもののほか、輸送交通の実施に関して必要な事項は、別に定めるものとする。

輸 送 交 通 の 実 績

1 会場間シャトルバス

(単位：台)

路 線		1月28日(火)	1月29日(水)	1月30日(木)	1月31日(金)	2月1日(土)	2月2日(日)	合 計
YS アリーナ八戸⇔テクノ アイスパーク八戸	往路	—	10	8	6	8	6	38
	復路	—	10	8	6	8	4	36
	小計	—	20	16	12	16	10	74
YS アリーナ八戸⇔田名部記 念アリーナ	往路	—	10	8	6	4	6	34
	復路	—	10	8	6	4	4	32
	小計	—	20	16	12	8	10	66
YS アリーナ八戸⇔ふくちア イスアリーナ	往路	—	10	8	4	4	—	26
	復路	—	10	8	4	4	—	26
	小計	—	20	16	8	8	—	52
YS アリーナ八戸⇔三沢アイ スアリーナ	往路	13	12	15	14	15	9	78
	復路	13	12	16	16	19	12	88
	小計	26	24	31	30	34	21	166
三沢市内循環（三沢駅⇔三沢 アイスアリーナ）	往路	8	7	10	14	15	9	63
	復路	7	7	8	13	14	7	56
	小計	15	14	18	27	29	16	119
アイスホッケー選手輸送 （宿舍⇔競技会場）	往復	11	11	12	6	8	4	52
	小計	11	11	12	6	8	4	52
合 計		52	109	109	95	103	61	529

2 式典バス

(単位：台)

路 線		1月28日(火)	1月29日(水)	1月30日(木)	1月31日(金)	2月1日(土)	2月2日(日)	合 計
開始式シャトルバス (三沢⇔YSアリーナ八戸)	往路	—	1	—	—	—	—	1
	復路	—	1	—	—	—	—	1
	小計	—	2	—	—	—	—	2
表彰式シャトルバス (YS アリーナ八戸⇔八戸駅)	往路	—	—	—	—	—	3	3
	小計	—	—	—	—	—	3	3
学生輸送バス (YS アリーナ八戸⇔各高校)	往路	3	3	—	—	—	—	6
	小計	3	3	—	—	—	—	6
合 計		3	5	0	0	0	3	11

医 療 救 護 要 項

1 目 的

この要項は、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）に参加する選手・監督、都道府県本部役員、大会役員、競技会役員、競技役員、視察員、報道員及び一般観覧者等における医療救護に万全を期するため、必要な事項を定めるものとする。

2 基本方針

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会（以下「青森県実行委員会」という。）並びに第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会八戸市実行委員会（以下「八戸市実行委員会」という。）は、医療機関及び関係団体等の協力を得て、医療救護業務を遂行するものとする。

3 医療救護対策

(1) 救護本部及び救護所の設置

- ア 医療救護業務を統括するために救護本部を設置する。
- イ 開始式・表彰式会場には、必要に応じて救護所を設置する。
- ウ 各競技会場には、大会期間中、救護所を設置する。
- エ 救護所は、医師、看護師又は保健師、アスレティックトレーナー、救護係員等により必要に応じた編成を行う。
- オ 救護所では、応急措置を行うものとし、状況に応じて医療機関に移送する。

(2) 医薬品、救急自動車等の配備

- ア 救護所には、応急措置の万全を期すため、医薬品、医療器具、A E D（自動体外式除細動器）、その他必要な物品を備える。なお、ドーピング禁止物質を含む薬を配備しない。
- イ 救護所には、別途関係機関と協議の上、必要に応じて救急自動車を配備する。

(3) 宿舎等における医療救護

- ア 宿泊する旅館・ホテル等で負傷や発病し、医療機関で受診する場合は、宿舎に申し出た上、監督又は引率責任者若しくは関係者が医療機関へ連絡すること。
- イ 練習中等で救護関係者がいない場所で負傷や発病した場合は、競技会場等の係員に申し出ること。

4 医療費の負担

救護本部及び救護所の設置並びに救急自動車の配備等に要した経費を除き、医療費は全て受診者が負担する。

5 業務の分担

- (1) 医療救護業務の統括は、青森県実行委員会が担当する。
- (2) 大会の開始式・表彰式会場、競技会場及び宿舎における医療救護は、青森県実行委員会と八戸市実行委員会が連携し担当する。

6 そ の 他

この要項に定めるもののほか、医療救護の実施に関して必要な事項は、別に定めるものとする。

医 療 救 護 実 績

会場名		式典・スピードスケート会場				ショートトラック・フィギュア会場				アイスホッケー会場														合 計
		YSアリーナ八戸				三沢アイスアリーナ				テクノアイスパーク八戸				田名部記念アリーナ				ふくちアイスアリーナ						
参加者区分 傷病名		選手・監督	役員	その他	計	選手・監督	役員	その他	計	選手・監督	役員	その他	計	選手・監督	役員	その他	計	選手・監督	役員	その他	計	合 計		
胃腸障害	男				0				0				0				0				0	0		
	女				0				0				0				0				0	0		
感 冒	男				0				0				0				0				0	0		
	女				0				0				0				0				0	0		
貧 血	男				0				0				0				0				0	0		
	女				0				0				0				0				0	0		
頭 痛	男				0				0				0				0				0	0		
	女			1	1				0				0				0				0	1		
内 科 系 そ の 他	男	2			2	(1) 1			(1) 1				0	(1) 1			(1) 1				0	(2) 4		
	女				0				0				0				0				0	0		
外 傷	男	6			6				0				0				0				0	6		
	女	3			3				0				0				0				0	3		
骨折脱臼	男			1	1				0	(1) 1	(1) 1		(2) 2	(1) 1			(1) 1	(1) 1			(1) 1	(4) 5		
	女				0				0				0				0				0	0		
筋腱断裂	男				0				0				0				0				0	0		
	女				0				0				0				0				0	0		
打撲捻挫	男				0				0	(1) 1			(1) 1				0	3			3	(1) 4		
	女				0				0				0			1	1				0	1		
眼病耳病	男				0				0				0				0				0	0		
	女				0				0				0				0				0	0		
外 科 系 そ の 他	男				0				0				0				0				0	0		
	女				0				0				0				0				0	0		
合 計	男	8	0	1	9	(1) 1	0	0	(1) 1	(2) 2	(1) 1	0	(3) 3	(2) 2	0	0	(2) 2	(1) 4	0	0	(1) 4	(7) 19		
	女	3	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5		
	計	11	0	2	13	(1) 1	0	0	(1) 1	(2) 2	(1) 1	0	(3) 3	(2) 2	0	1	(2) 3	(1) 4	0	0	(1) 4	(7) 24		

() は、取扱患者のうち医療機関へ移送したもの。

開催経過概要

平成29年（2017年）

- 7月21日 （公財）日本体育協会国体推進部長及び国体課長代理が八戸市まちづくり文化スポーツ観光部を訪問し、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催を打診。
- 10月19日 （公財）日本体育協会国体推進部長が三沢市と南部町を訪問し、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催を打診。
- 10月27日 （公財）日本体育協会副会長及びスポーツ庁競技スポーツ課長補佐が来県し、青森県、（公財）青森県体育協会、青森県教育委員会に対し、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催について、（公財）日本体育協会会長及び文部科学大臣連名の「開催要請書」を手渡し、正式に開催を要請。
- 12月27日 （公財）日本体育協会国民体育大会委員会委員長が、八戸市長・三沢市長・南部町長に対し、県知事へ開催を要請した旨を報告するとともに、大会会場地としての協力を要請。

平成30年（2018年）

- 1月9日 青森県教育庁担当部署が、八戸市、三沢市、南部町、青森県スケート連盟及び青森県アイスホッケー連盟に対し、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の受入れについて意見を徴取するとともに、開催意向を調査。
- 1月15日 開催市町及び関係競技団体から、開催を希望する旨を確認し、八戸市、三沢市及び南部町に「開催内諾書」の提出を依頼。1月25日までに全ての市町から「開催内諾書」を受領。
- 2月16日 青森県、（公財）青森県体育協会及び青森県教育委員会連名により、第75回国民体育大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の「開催内諾書」を（公財）日本体育協会会長及び文部科学大臣に提出。
- 2月22日 （公財）日本体育協会副会長が来県し、青森県、（公財）青森県体育協会、青森県教育委員会に対し、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催について、（公財）日本体育協会会長及び文部科学大臣連名の「開催決定書」を手渡し、正式に開催が決定。
- 3月2日 （公財）日本体育協会が平成29年度第4回国民体育大会委員会において、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会を青森県で開催することを報告。
- 4月1日 八戸市まちづくり文化スポーツ部に国体室を設置。
- 4月25日 第1回国体関係者会議を開催。
- 5月21日 八戸市議会定例総務協議会において、青森県実行委員会の設立を報告。
- 5月29日 第2回国体関係者会議を開催。
- 6月12日 青森県教育委員会教育長が、第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会組織会設立発起人への就任を依頼。
- 6月25日 第3回国体関係者会議を開催。
- 6月26日 八戸市ホームページ内に国体に関するページを開設。
- 7月2日 第1回会場市町（八戸市・三沢市・南部町）会議を開催。
- 7月19日 第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会青森県実行委員会組織会及び第1回総会を開催。（テーマを「氷都新時代！八戸国体」に決定したほか、事業計画案、予算案及び事務局規程を承認）
- 7月20日 大会スローガン、シンボルマークの募集を開始。（～9月3日）
- 8月2日 八戸市内のバス事業者へ国体への協力を依頼。
- 8月17日 八戸市小学校長会、中学校長会へ国体への協力を依頼。
- 8月23日 第4回国体関係者会議を開催。

- 8月30日 (公財)日本スポーツ協会平成30年度第2回国民体育大会委員会において、会期及び会場、テーマを承認。
- 9月21日 スローガン審査会を開催し、30点の応募の中から「銀盤に きたる新風 いま氷都（ここ）に」を、また、シンボルマーク審査会を開催し、45点の応募の中から採用作品候補2点を選定。
- 9月27日 青森県立名久井農業高等学校へ式典用飾花の提供を依頼。
- 10月11日 八戸ホテル協議会へ国体への協力を依頼。
シンボルマークシート審査会を開催し、採用作品1点を選定。
- 10月19日 八戸市議会定例総務協議会において、スローガン及びシンボルマークの青森県実行委員会（案）を報告。
- 11月1日 大会ポスターデザインの募集を開始。（～31年1月28日）
- 11月12日 第2回会場市町（八戸市・三沢市・南部町）会議を開催。
- 11月21日 宿泊・弁当業務委託に係る企画提案の募集を開始。（～31年1月16日）
- 11月28日 スケート競技部・アイスホッケー競技部委属状交付式及び第1回会議を開催。
- 12月13日 (公財)日本スポーツ協会平成30年度第3回国民体育大会委員会において、スローガン、シンボルマークを承認。
- 12月14日 スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センターと国庫補助金、助成金に関する打合せ。
- 12月18日 八戸市旅館ホテル協同組合へ国体への協力を依頼。
- 12月21日 競技会場周辺の小学校、中学校へ競技観戦の協力を依頼。（～12月27日）

平成31年（2019年）

- 1月15日 (公財)日本スポーツ協会へ国民体育大会標章使用許可権（非営利目的）の委任に関する申請。
- 1月22日 宿泊・弁当業務委託に係る企画提案審査会を開催し、契約候補者及び次点者を決定。
- 1月28日 第74回釧路国体を視察。（～2月4日）
- 1月29日 各種SNSを活用した国体情報の提供を開始。
- 2月5日 (公財)日本スポーツ協会より国民体育大会標章使用許可権（非営利目的）の委任通知を受理。
- 2月8日 ポスターデザイン審査会を開催し、39点の応募の中から採用作品1点を選定。
- 2月21日 八戸市議会定例総務協議会において、ポスターデザインの青森県実行委員会（案）及び八戸市庁別館前広告塔看板の架替えを報告、国体開催PR看板を設置。
- 3月1日 (公財)日本スポーツ協会平成30年度第4回国民体育大会委員会において、ポスター図案を承認。
- 4月10日 第2回スケート競技部会議において、競技要項（案）を了承。
- 4月11日 第3回会場市町（八戸市・三沢市・南部町）会議を開催。
- 4月15日 八戸市中学校体育連盟に国体への協力を依頼。
八戸市体育協会に「友情の広場」（交流広場）の企画運営を依頼し、協議を開始。
- 4月18日 第2回アイスホッケー競技部会議において、競技要項（案）を了承。
- 4月19日 八戸、三沢市内のバス事業者4社、八戸市内高等学校保健体育協議会へ国体への協力を依頼。
- 4月22日 八戸市中学校長会に国体への協力を依頼。
- 4月24日 八戸商工会議所に国体への協力を依頼。

令和元年（2019年）

- 5月9日 式典部委属状交付式及び第1回会議を開催。
- 5月10日 青森県実行委員会平成30年度監査会を開催。
- 5月13日 報道機関各社へ国体への協力を依頼。（～17日）
- 5月14日 三八地区高等学校長協会へ国体への協力を依頼。
- 5月28日 (公財)日本アンチ・ドーピング機構による各競技会場のドーピング検査室の視察。
- 6月10日 スローガン・シンボルマーク・ポスターデザイン採用者表彰式及び青森県実行委員会第2回総会を開催。（30年度事業報告、決算報告のほか、令和元年度事業計画案、予算案を承認、日本スポーツ協会との協議事項を報告）

6月11日 (公財) 日本スポーツ協会ブランド推進部と国体企業協賛に関する協議。
 6月13日 (公財) 日本スポーツ協会令和元年度第1回国民体育大会委員会において、各種要項のほか中央役員数及び同所要経費基準を承認。
 6月18日 八戸商工会議所へ国体への協賛を依頼。
 日本旅行東北八戸支店と宿泊・弁当業務に係る協議を開始。
 7月2日 (公財) 日本スポーツ協会と企業協賛に関する契約を締結。
 7月5日 (公財) 日本スポーツ協会より、国民体育大会標章の営利・非営利目的使用許可権の委任通知。
 7月10日 (公財) 日本スポーツ協会へ、大会役員編成基準、スケート・アイスホッケー競技会役員編成基準案の文書協議及び招待者の範囲案の調整を依頼。
 7月18日 (公財) ミズノスポーツ振興財団からの寄附金受領、感謝状贈呈。
 第1回報道員来会調査を実施(～8月16日)。
 7月23日 第2回式典部会議を開催。
 (一社) 八戸市医師会へ国体への協力を依頼。
 7月25日 八戸市実行委員会設立総会の開催。(事業計画及び予算案を承認)
 7月29日 第3回アイスホッケー競技部会議を開催。
 8月8日 第1回式典部音楽係の打合せを実施。
 8月9日 (株) 日本旅行東北八戸支店ほか3社のJ Vと宿泊・弁当業務委託契約を締結。
 8月28日 国体ポスターの掲示開始。
 8月29日 (公財) 日本スポーツ協会令和元年度第2回国民体育大会委員会において、参加章の意匠を承認。
 9月2日 報道委員会設立に係る委員の推薦を報道各社へ依頼。
 9月10日 第3回式典部会議を開催。
 9月12日 八戸市及び三戸地方保健所へ、弁当製造業者への衛生管理指導を依頼。
 9月17日 八戸市内小・中学校69校へ、都道府県応援のぼり旗の作成を依頼。
 9月18日 第4回会場市町(八戸市・南部町) 会議を開催。
 9月19日 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部及び三沢市消防本部へ、宿泊施設の防災指導を依頼。
 10月3日 (一社) 八戸市医師会、三沢地区医師会、南部町医療センターへ、医師、看護師の派遣を依頼。
 10月4日 (公財) 日本アイスホッケー連盟に対し、競技役員の派遣を依頼。
 10月10日 報道委員会設立総会を開催。
 10月23日 報道員に準じる者について申請受付を開始。(～11月29日)
 11月7日 第1回式典部全体会議を開催。
 11月15日 弁当業務説明会及びサンプル試食会を開催。
 11月18日 宿泊業務説明会を開催。(～19日)
 11月20日 三沢市実行委員会設立総会を開催。
 11月27日 第3回スケート競技部(フィギュア部会) 会議を開催。
 11月28日 招待者、大会役員、各競技会役員への委属状等の発送、来会調査を実施。(～12月20日)
 11月29日 第3回スケート競技部(スピードスケート、ショートトラック部会) 会議を開催。
 12月2日 青森県薬剤師会とアンチ・ドーピング啓発活動に関する打合せ。
 スケート競技会競技役員へ委属状を発送。
 八戸市、三戸郡、上十三の各歯科医師会会長へ、緊急時の受入れ対応等を依頼。
 12月7日 青森県スポーツデンティストの会と医療救護に関する打合せ。
 12月11日 第4回スケート競技部(フィギュア部会) 会議を開催。
 12月12日 (公財) 日本スポーツ協会令和元年度第3回国民体育大会委員会において、大会準備状況を報告。
 12月13日 各都道府県体育・スポーツ協会へ、全国代表者会議及び各競技監督会議への出席者報告を依頼。
 12月15日 式典部音楽係第1回合同練習会を開催。
 12月17日 第4回式典部会議を開催。

- 12月20日 第2回報道委員会を開催。
第4回アイスホッケー競技部会議を開催。
南部町実行委員会設立総会を開催。
第5回会場市町（三沢市）会議を開催。
- 12月24日 青森県スケート連盟、青森県アイスホッケー連盟へ、選手代表宣誓者及び旗手の推薦依頼。
アイスホッケー競技に係る県外競技役員の委属状を発送。
- 12月26日 式典部会場係の打合せ。
- 12月27日 競技会場における売店出展者の募集を開始。（～1月15日）

令和2年（2020年）

- 1月6日 八戸市定例市長記者会見において、歓迎アトラクションの概要を報告。
- 1月7日 八戸市内高等学校へ、アイスホッケー競技補助員の派遣を依頼。
- 1月10日 アイスホッケー競技公式練習日の調整に係る来会調査を実施。（～1月16日）
八戸市内、三沢市内の公立医療機関及び各消防本部に対し、緊急時の受入れ及び搬送要請に対する協力を依頼。
- 1月11日 歓迎アトラクション練習会を開催。
ショートトラック及びスピードスケート競技の組合せ抽選会を開催。
- 1月14日 第3回報道委員会を開催。
- 1月16日 （公財）日本スポーツ協会による第75回冬季大会の概要に係る記者発表。
- 1月17日 八戸商工会議所からの寄贈品受領、感謝状贈呈式。
医療救護業務従事者説明会の開催。（～22日）
- 1月21日 八戸市議会定例総務協議会において、第75回冬季大会の概要を報告。
式典部第2回全体会議を開催。
- 1月24日 案内業務従事者説明会を開催。
- 1月26日 歓迎アトラクション及び式典部音楽係合同練習会を開催。
アイスホッケー競技部県内役員全体会議を開催。
- 1月28日 開始式総合リハーサルを開催。
全国代表者会議、全国報道員会議を開催。
フィギュア競技、アイスホッケー競技監督会議を開催。
主催者連絡会議を開催。
- 1月29日 歓迎アトラクション及び開始式を開催。
フィギュア競技（～2月1日）、アイスホッケー競技（～2月2日）開始。
スピードスケート競技監督会議を開催。
- 1月30日 スピードスケート競技開始。（～2月2日）
友情の広場開設。（～2月1日）
- 1月31日 ショートトラック競技監督会議を開催。
- 2月1日 ショートトラック競技開始。（～2日）
- 2月2日 表彰式総合リハーサルを開催。
表彰式を開催。
- 2月20日 八戸市議会定例総務協議会において、「氷都新時代！八戸国体」青森県選手団の成績等を報告。
- 2月27日 （公財）日本スポーツ協会より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第4回国民体育大会委員会の開催を中止する旨の通知。
- 3月 青森県実行委員会第3回総会、八戸市実行委員会第2回総会、三沢市実行委員会第2回総会、南部町実行委員会第2回総会を開催。
国体協力機関、団体等へあいさつ

